

3 調査結果

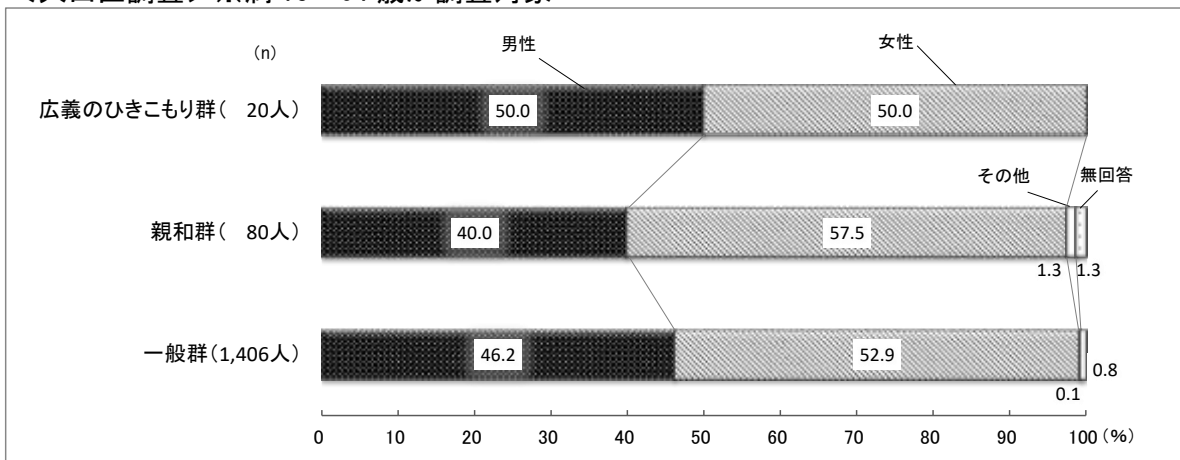
3-1 本人票

■ 基本属性

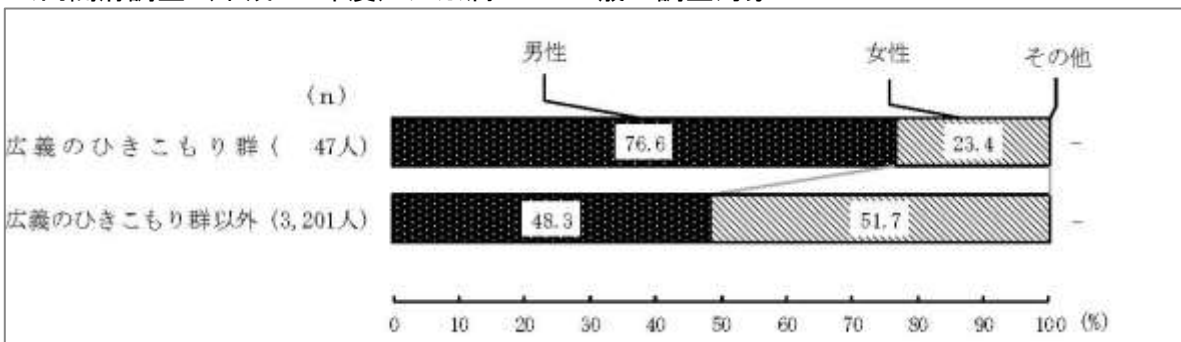
Q1 あなたの性別をお答えください。(単一回答)

- ・大田区のひきこもり群は「女性」と「男性」がいずれも 50.0%となっている。
- ・内閣府調査（平成 30・27 年度）のひきこもり群は「男性」の割合が高い。

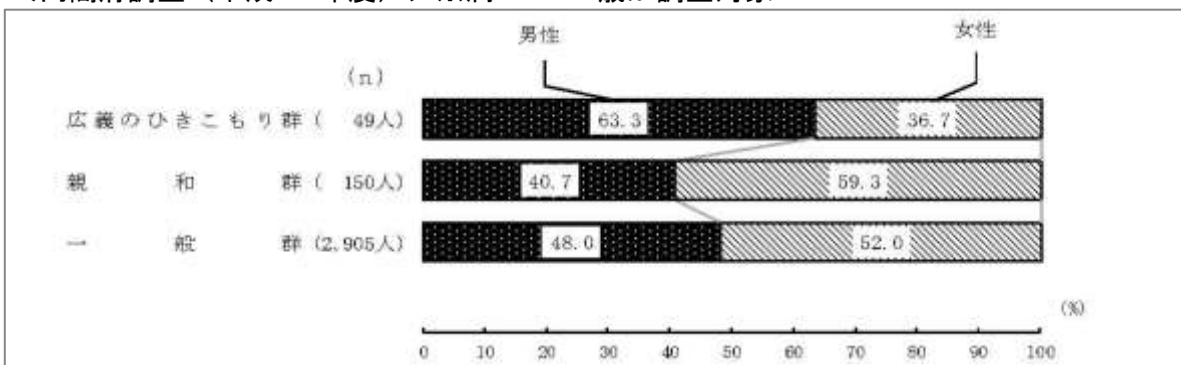
＜大田区調査＞※満 15～64 歳が調査対象



＜内閣府調査（平成 30 年度）＞※満 40～64 歳が調査対象



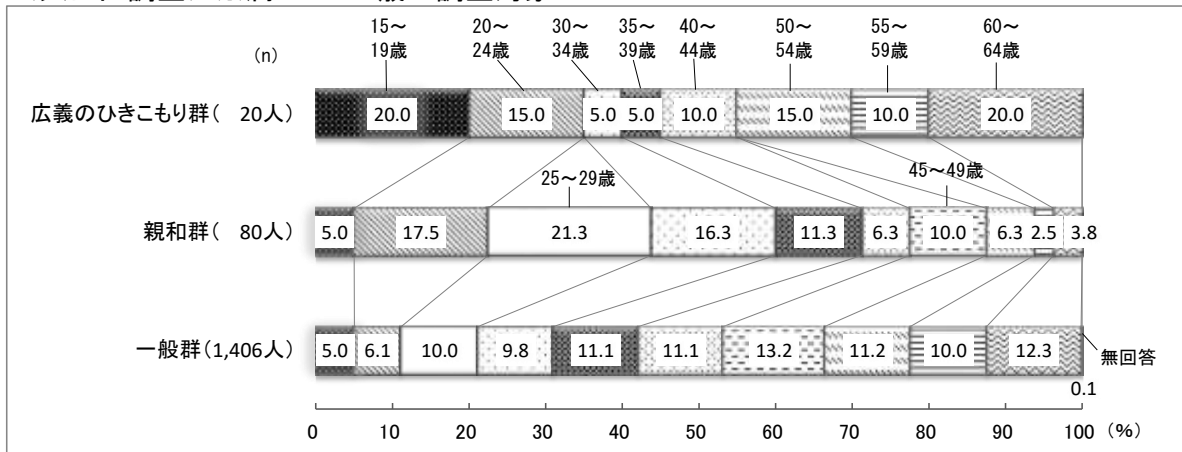
＜内閣府調査（平成 27 年度）＞※満 15～39 歳が調査対象



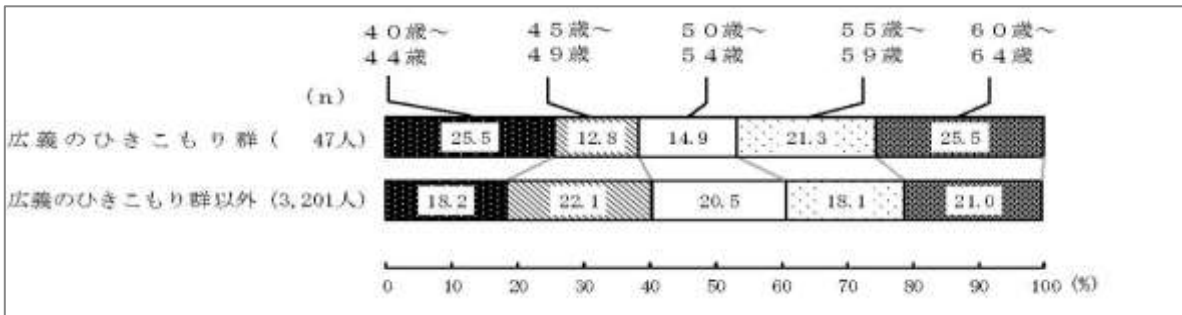
Q2 あなたの年齢をお答えください。(単一回答)

- ・大田区のひきこもり群は「15～19歳」「60～64歳」がそれぞれ20.0%、「20～24歳」「50～54歳」がそれぞれ15.0%となっている。
- ・内閣府調査(平成30年度)のひきこもり群は「40～44歳」「60～64歳」の割合が高く、内閣府調査(平成27年度)では「20～24歳」「25～29歳」の割合が高い。
- ・大田区では、15～20代前半の方が35.0%、50代～60代の方が45%を占めている。若年層と中高年層の割合が高い傾向にある。

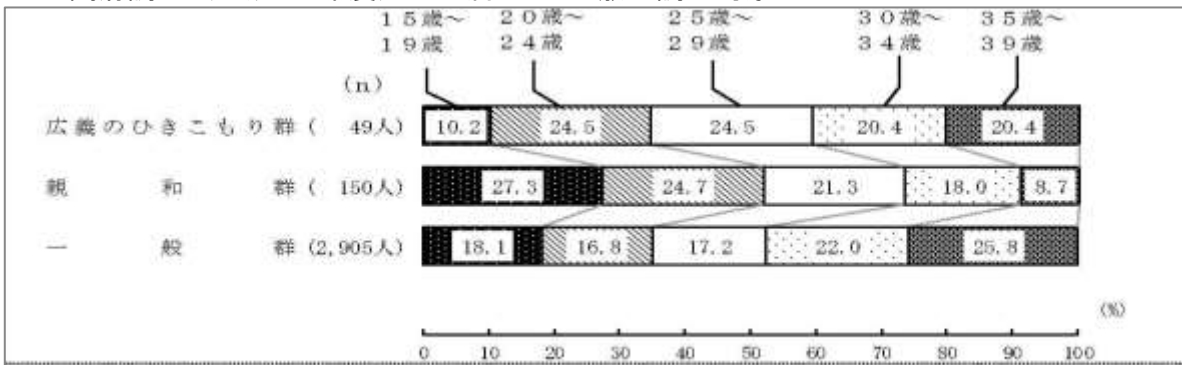
＜大田区調査＞※満15～64歳が調査対象



＜内閣府調査(平成30年度)＞※満40～64歳が調査対象



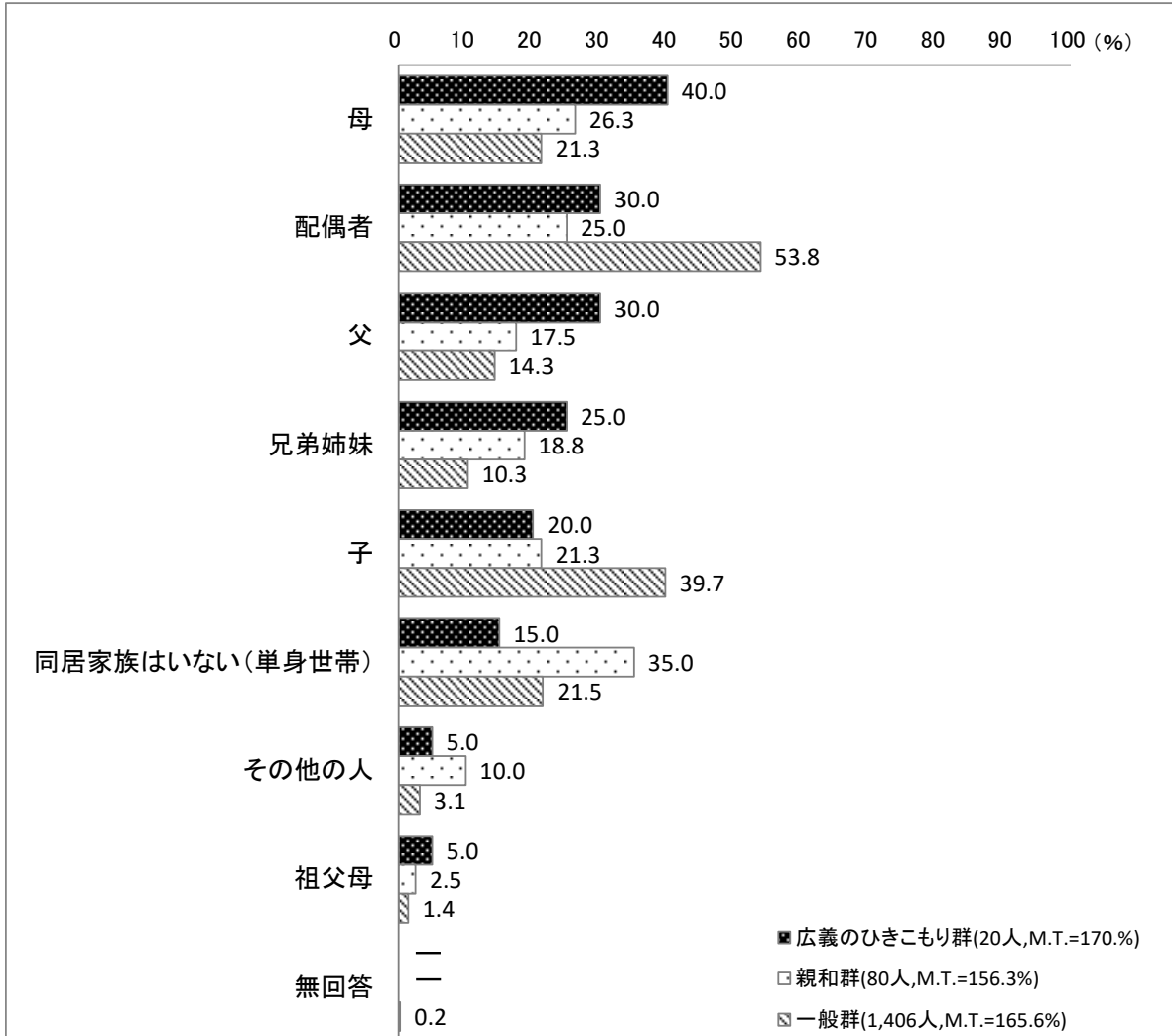
＜内閣府調査(平成27年度)＞※満15～39歳が調査対象



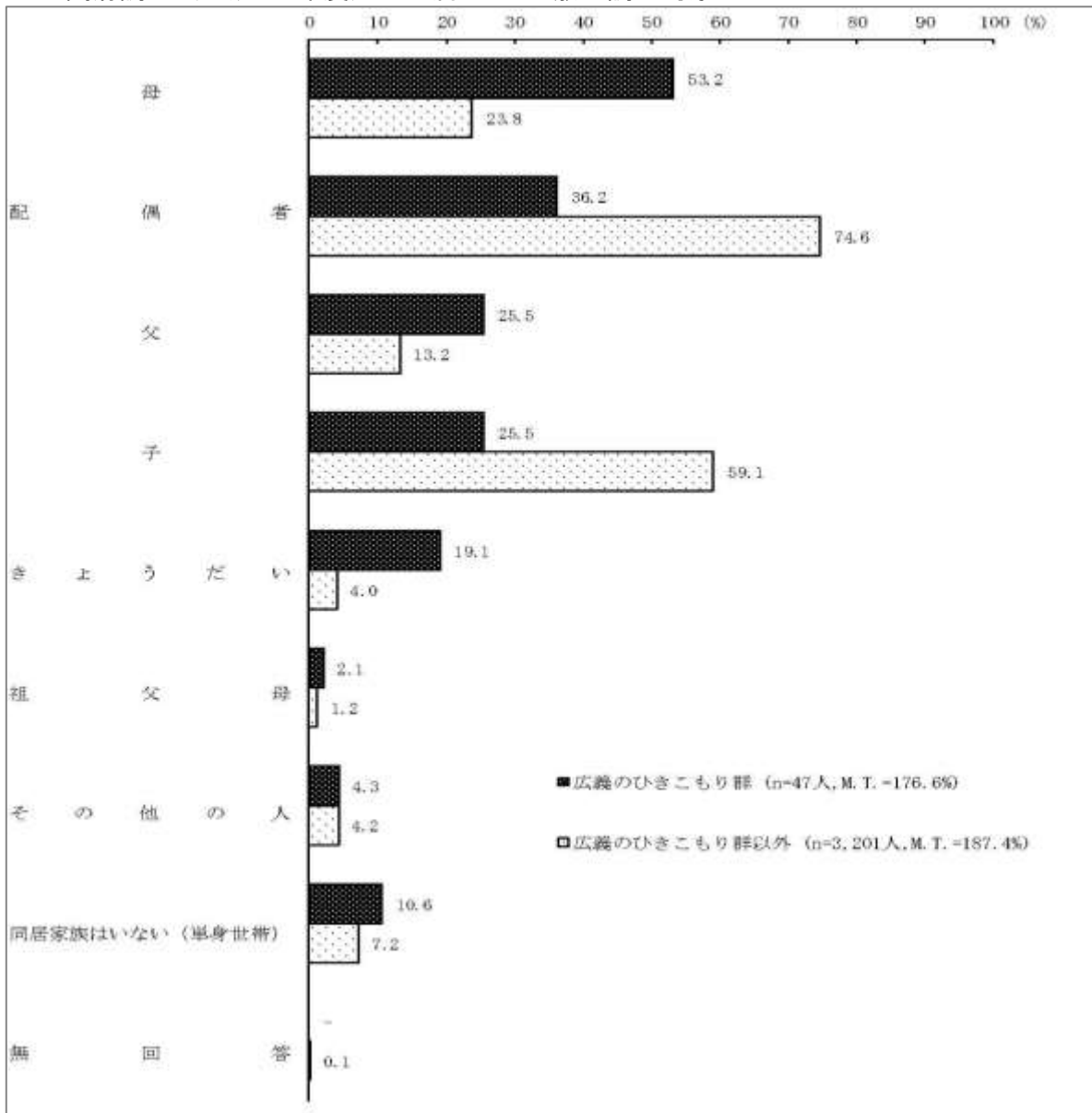
Q3 現在、あなたと同居している方に○をつけてください。(複数回答)

- ・大田区のひきこもり群は「母」が40.0%、「配偶者」「父」が30.0%となっている。
- ・内閣府調査(平成30・27年度)のひきこもり群は「母」の割合が高い。

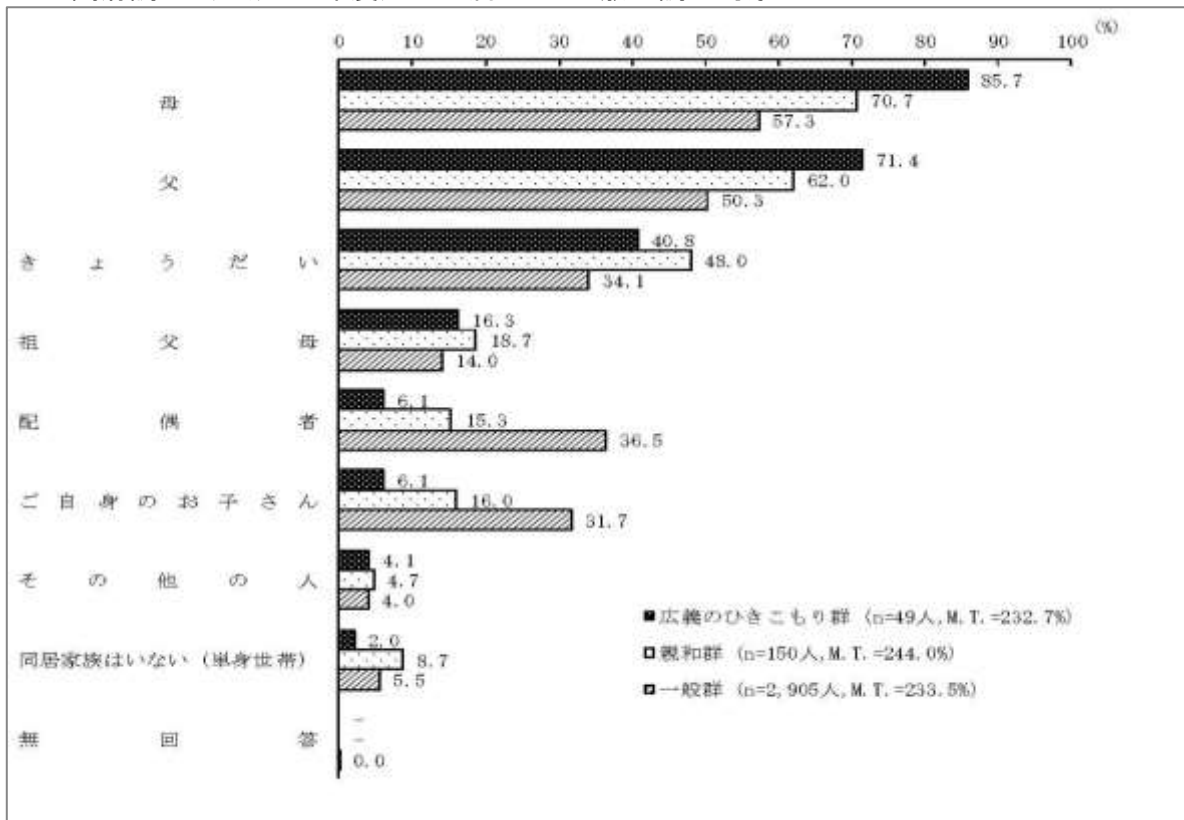
<大田区調査> ※満15~64歳が調査対象



<内閣府調査（平成 30 年度）> ※満 40～64 歳が調査対象



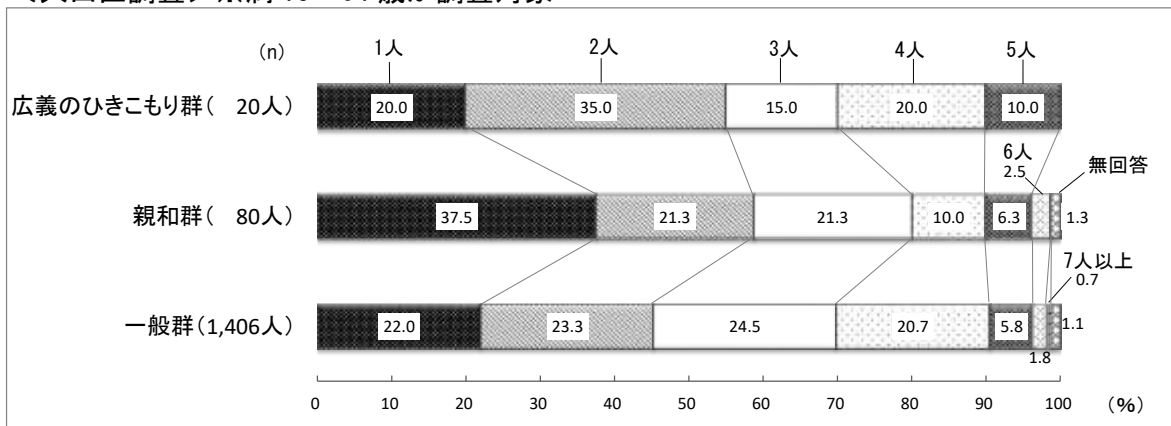
<内閣府調査（平成 27 年度）> ※満 15～39 歳が調査対象



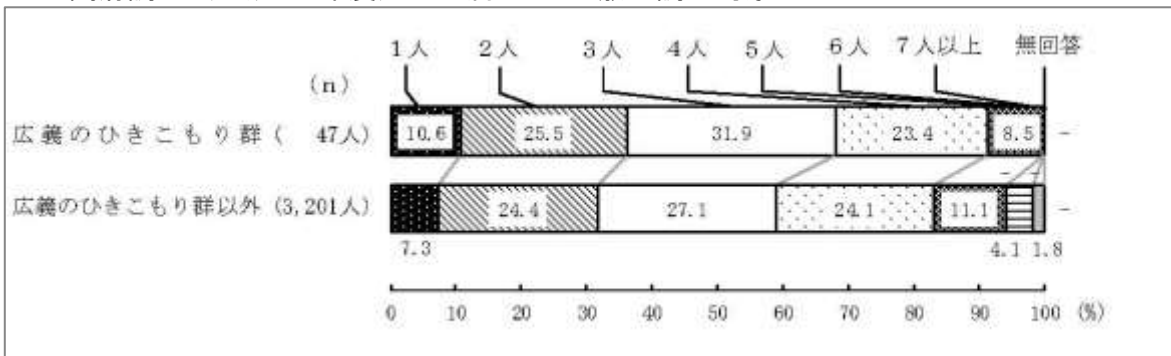
Q 4 現在、同居している人は合計で何人ですか。あなたも含めた人数を記入してください。(数字で具体的に)

- 大田区のひきこもり群は「2人」が35.0%、「1人」が20.0%となっている。
- 内閣府調査（平成30・27年度）のひきこもり群は「3人」の割合が高い。
- 大田区では、内閣府調査（平成30・27年度）と比べて「1人」または「2人」が5割以上を占めており、同居者が少ない傾向にある。

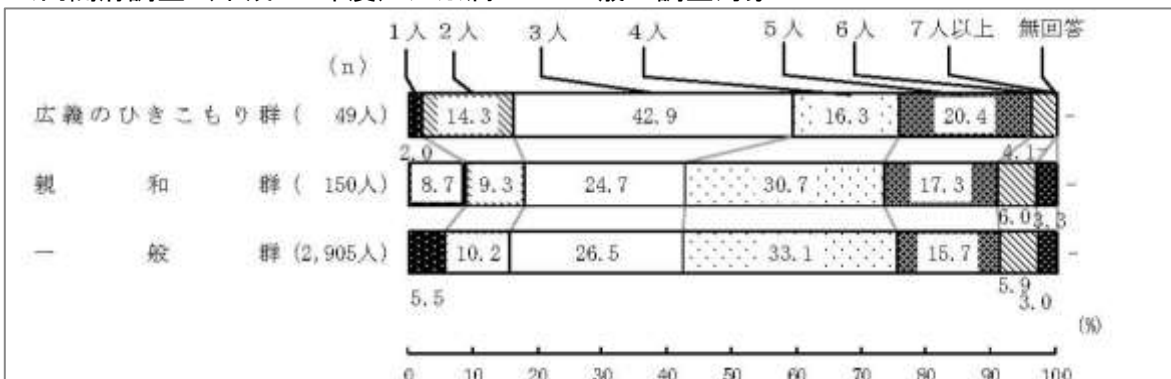
＜大田区調査＞※満15～64歳が調査対象



＜内閣府調査（平成30年度）＞※満40～64歳が調査対象



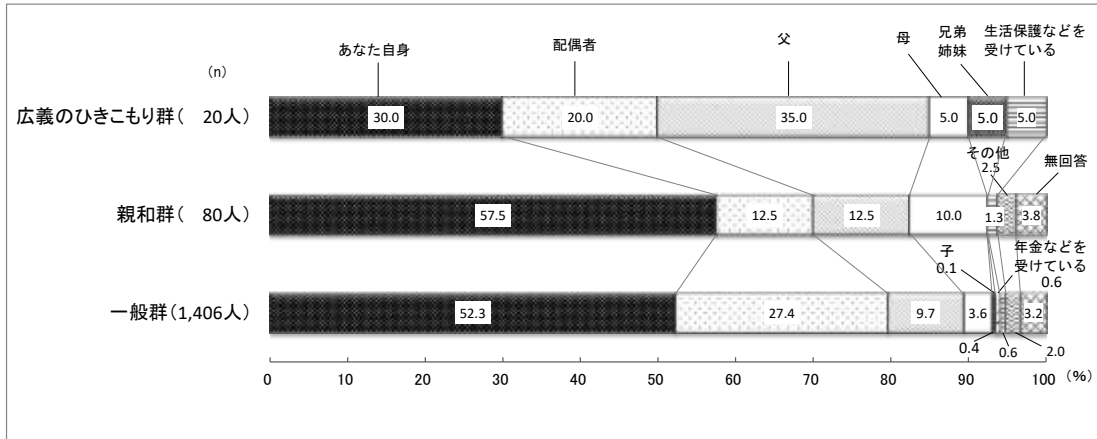
＜内閣府調査（平成27年度）＞※満15～39歳が調査対象



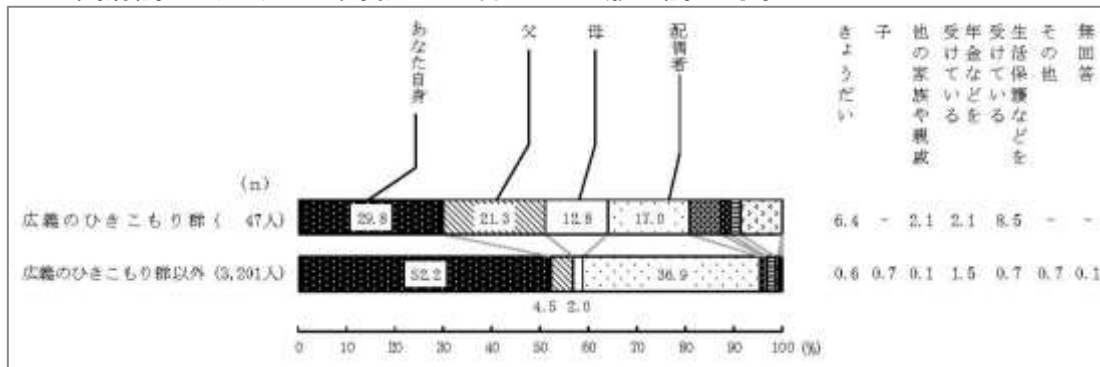
Q5 あなたの家の生計を立てているのは、主にどなたですか。生計を立てている方が複数いる場合は、もっとも多く家計を負担している人をお答えください。また、主に仕送りで生計を立てている方は、その仕送りを主にしてきている人をお答えください。(単一回答)

- ・大田区のひきこもり群は「父」が35.0%、「あなた自身」が30.0%となっている。
- ・内閣府調査（平成30年度）のひきこもり群は「あなた自身」の割合が高く、内閣府調査（平成27年度）では「父」の割合が高い。

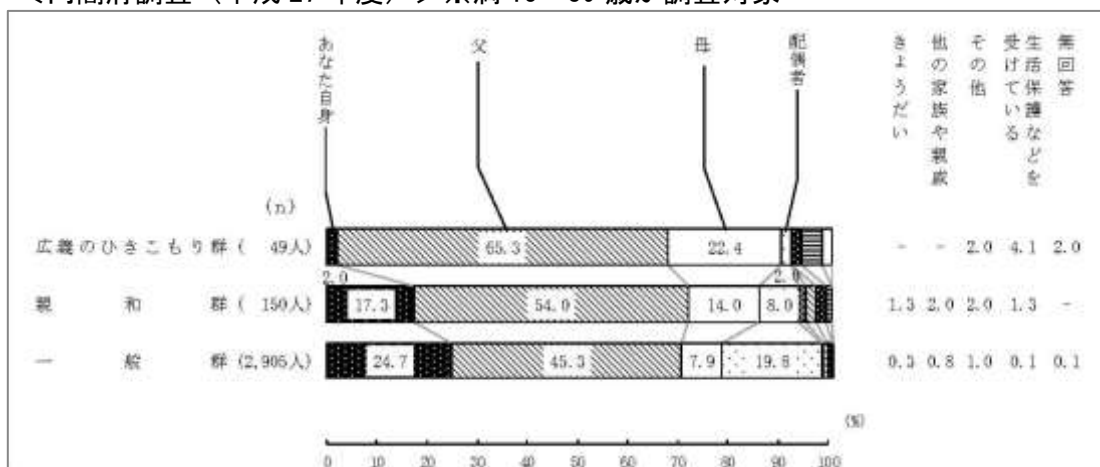
<大田区調査> ※満15~64歳が調査対象



<内閣府調査（平成30年度）> ※満40~64歳が調査対象



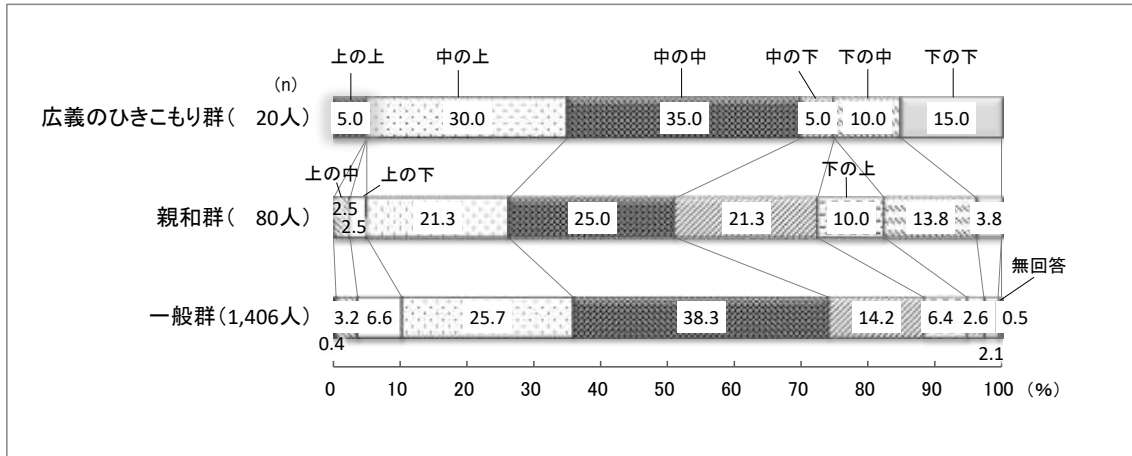
<内閣府調査（平成27年度）> ※満15~39歳が調査対象



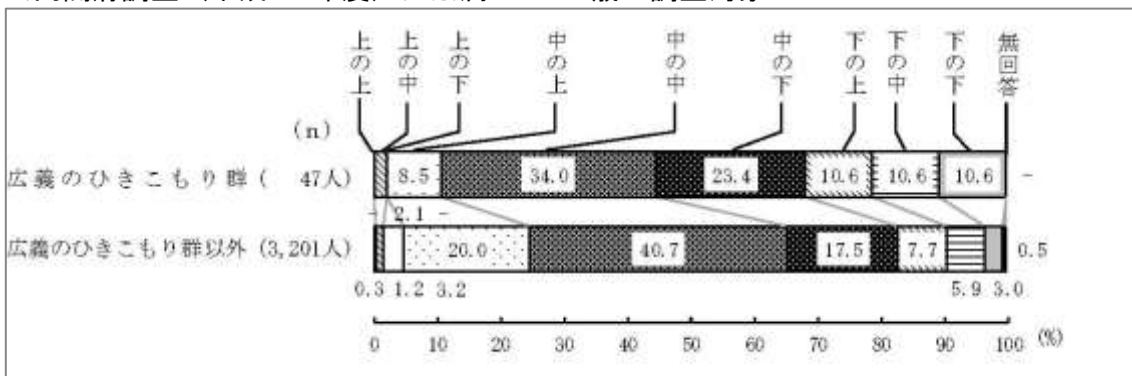
Q6 あなたの家の暮らし向き（衣・食・住・レジャーなどの物質的な生活水準）は、世間一般と比べてみて、上の上から下の下までのどれにあたると思われますか。あなたの実感でお答えください。（単一回答）

- ・大田区のひきこもり群は「中の中」が35.0%、「中の上」が30.0%となっている。
- ・内閣府調査（平成30・27年度）のひきこもり群は「中の中」の割合が高い。
- ・大田区では、内閣府調査（平成30・27年度）と比べて大きな差はみられない。

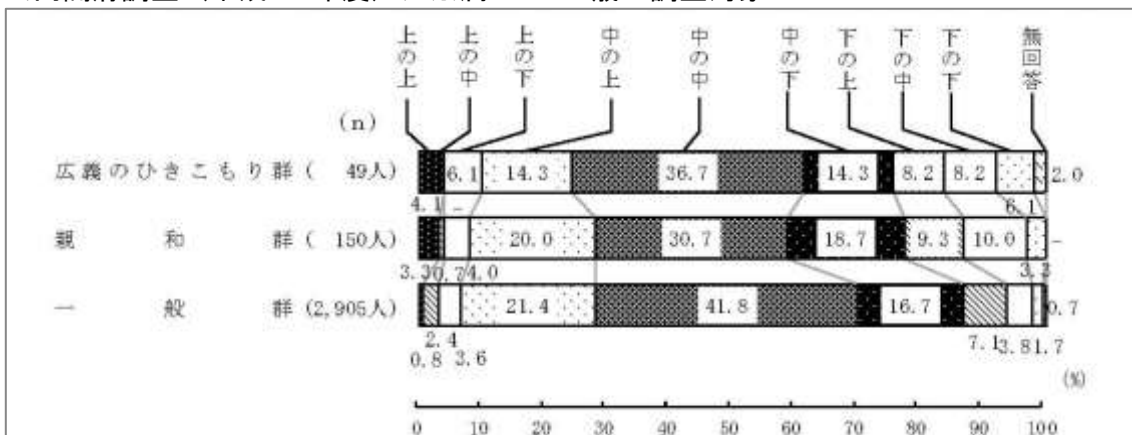
＜大田区調査＞※満15～64歳が調査対象



＜内閣府調査（平成30年度）＞※満40～64歳が調査対象



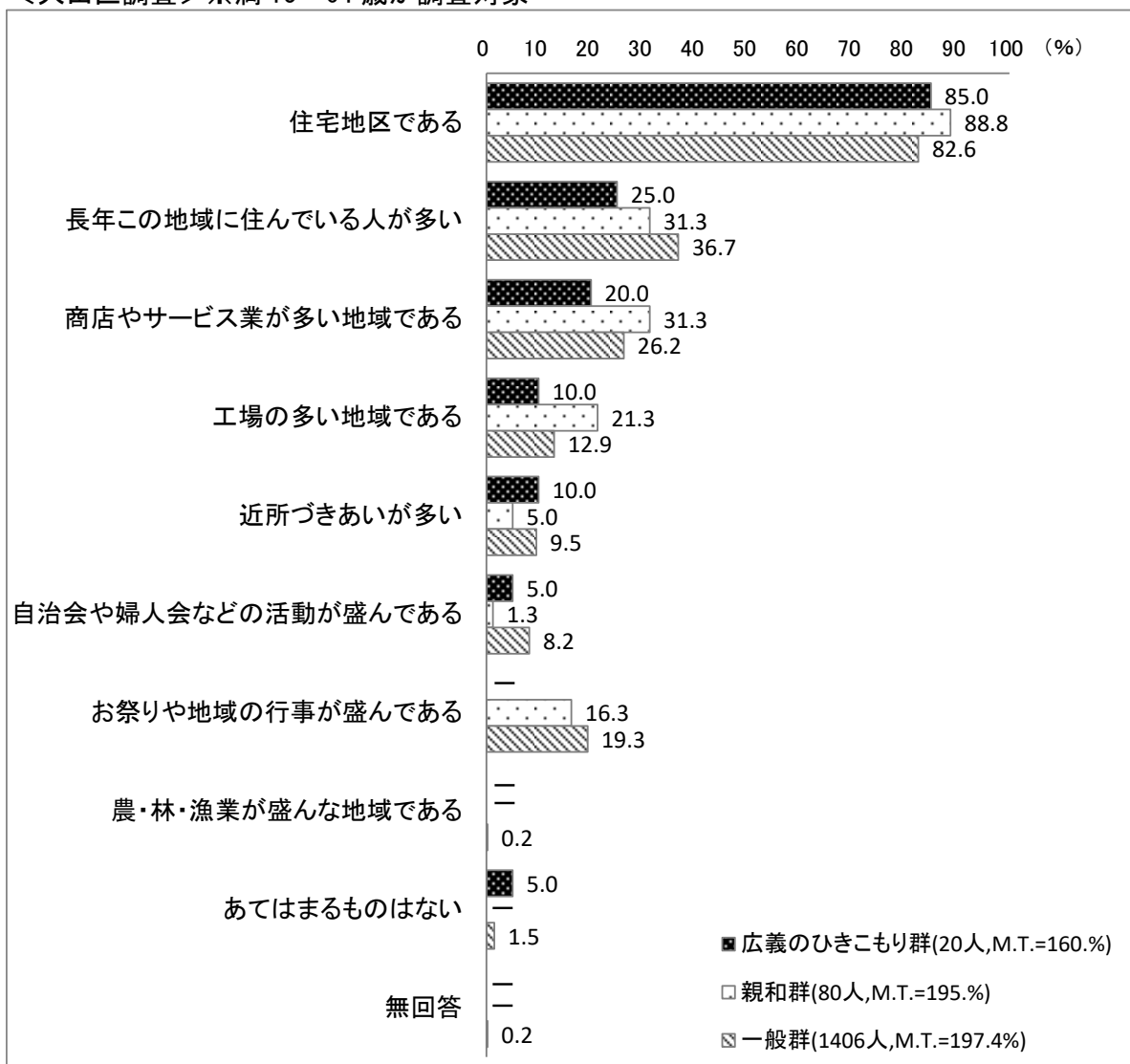
＜内閣府調査（平成27年度）＞※満15～39歳が調査対象



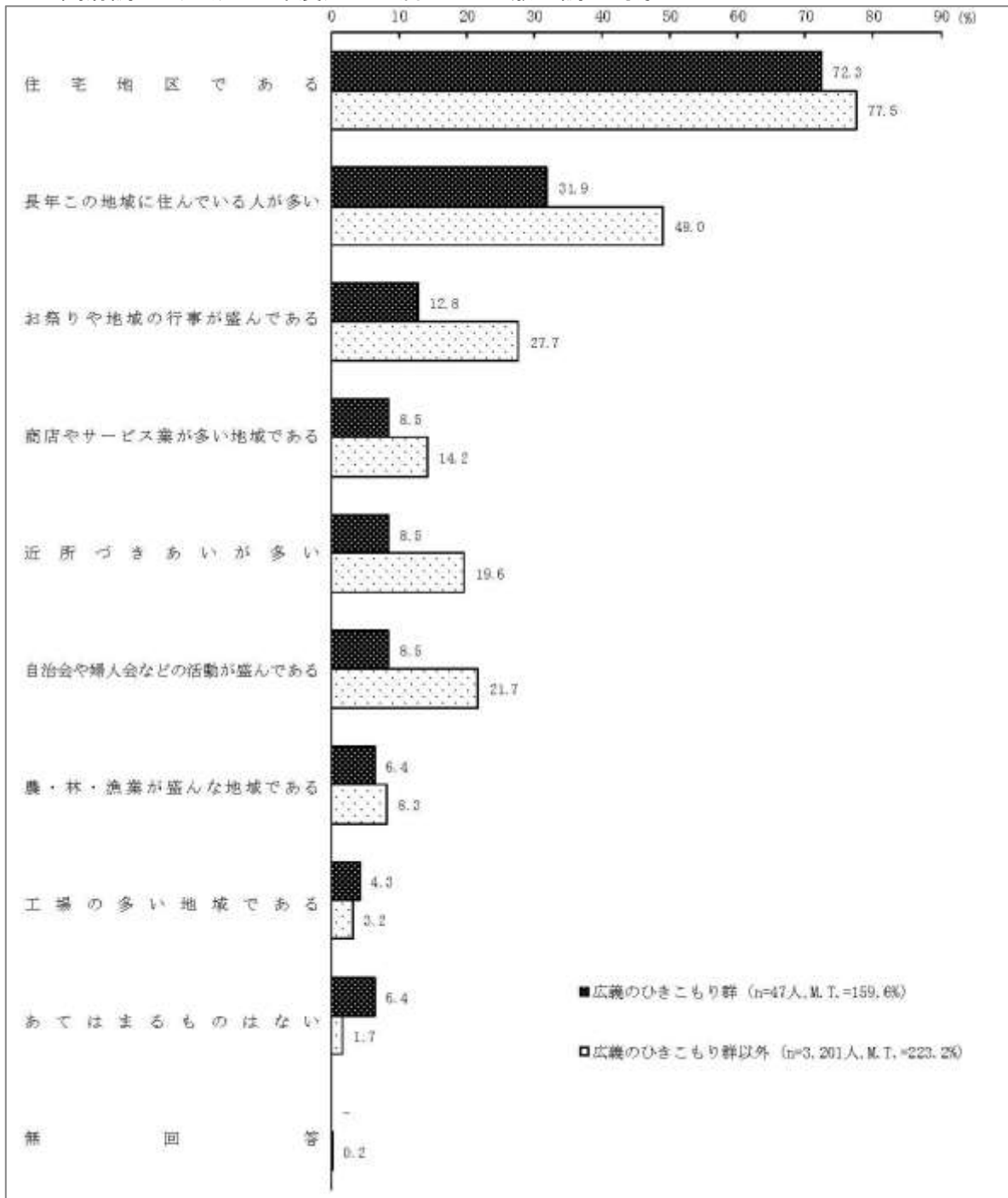
Q7 あなたがお住まいの地域に、あてはまるものすべてに○をつけてください。(複数回答)

- 大田区のひきこもり群は「住宅地区」が 85.0%、「長年この地域に住んでいる人が多い」が 25.0%となっている。
- 内閣府調査（平成 30・27 年度）のひきこもり群は「住宅地区」や「長年この地域に住んでいる人が多い」の割合が高い。
- 大田区では、内閣府調査（平成 30・27 年度）と同様の傾向にある。また、親和群や一般群と比べると「お祭りや地域の行事が盛ん」の回答がみられなかった。

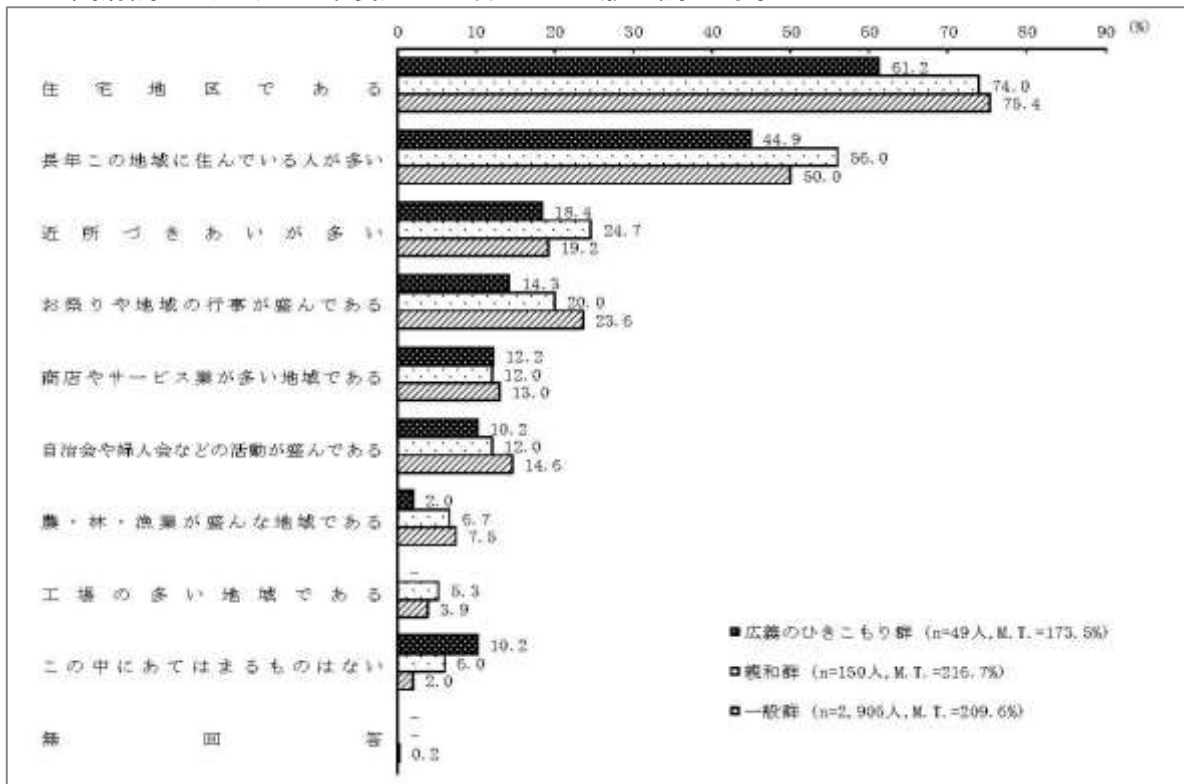
<大田区調査>※満 15～64 歳が調査対象



<内閣府調査（平成30年度）> ※満40～64歳が調査対象



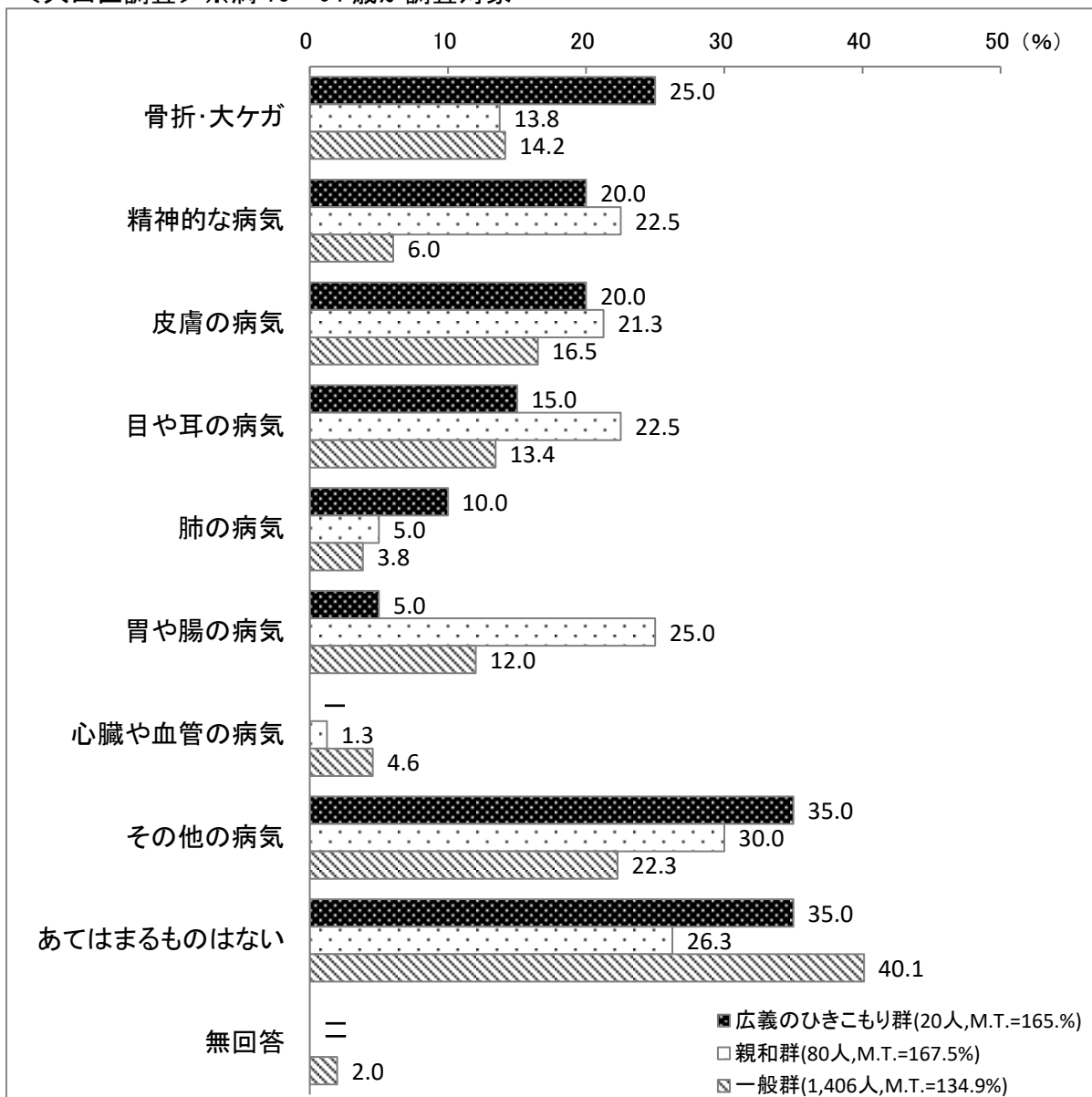
<内閣府調査（平成27年度）> ※満15～39歳が調査対象



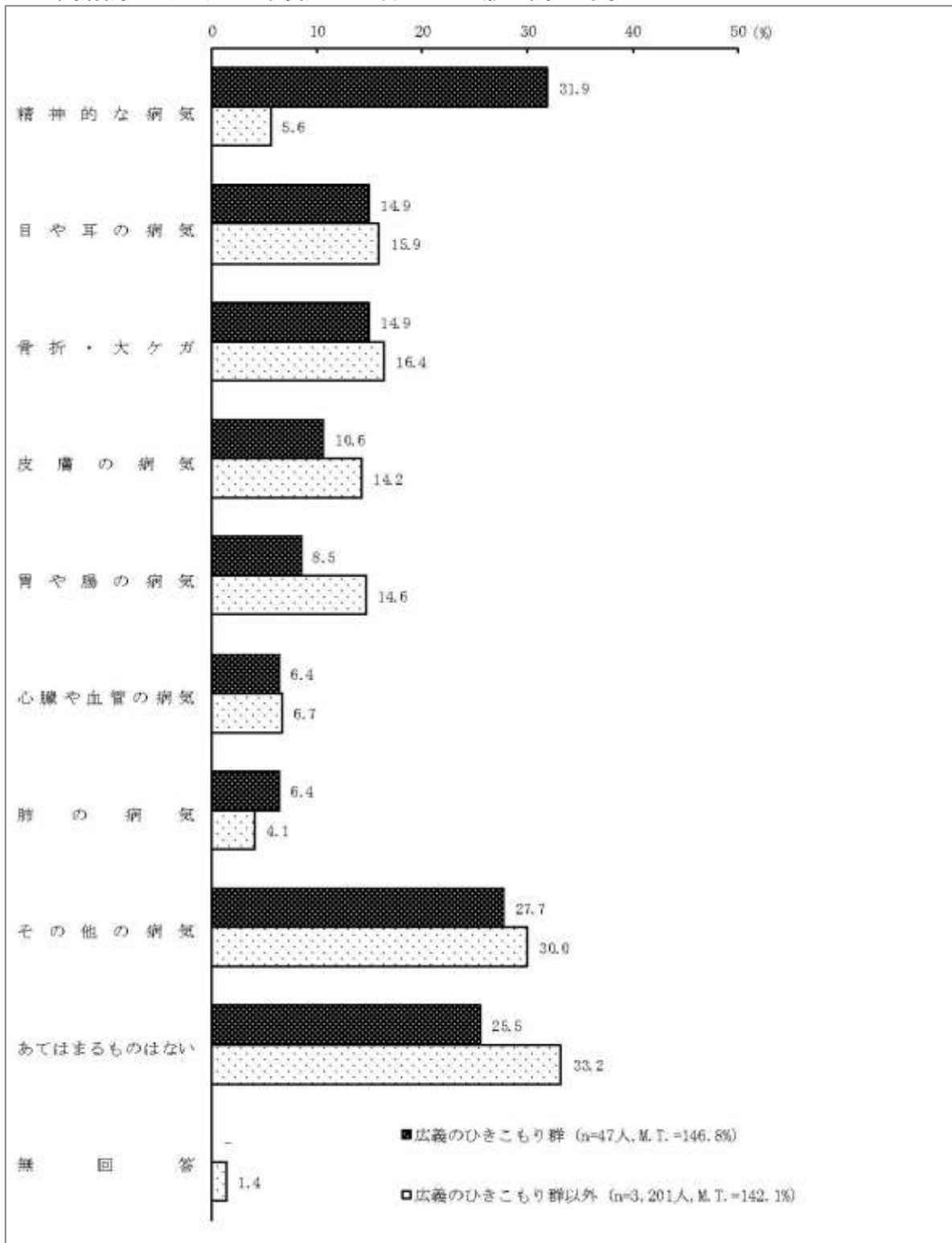
Q 8 これまでに、以下の病気やけがで通院や入院をしたことはありますか。通院・入院したことがある病気に○をつけてください。(複数回答)

- 大田区のひきこもり群は「骨折・大ケガ」が 25.0%、「精神的な病気」「皮膚の病気」がそれぞれ 20.0%となっている。
- 内閣府調査（平成 30 年度）のひきこもり群は「精神的な病気」が、内閣府調査（平成 27 年度）では「骨折・大ケガ」や「精神的な病気」の割合が高い。
- 大田区では、内閣府調査（平成 30 年度）と比べて「精神的な病気」の割合が低く、様々な病気に分散している。

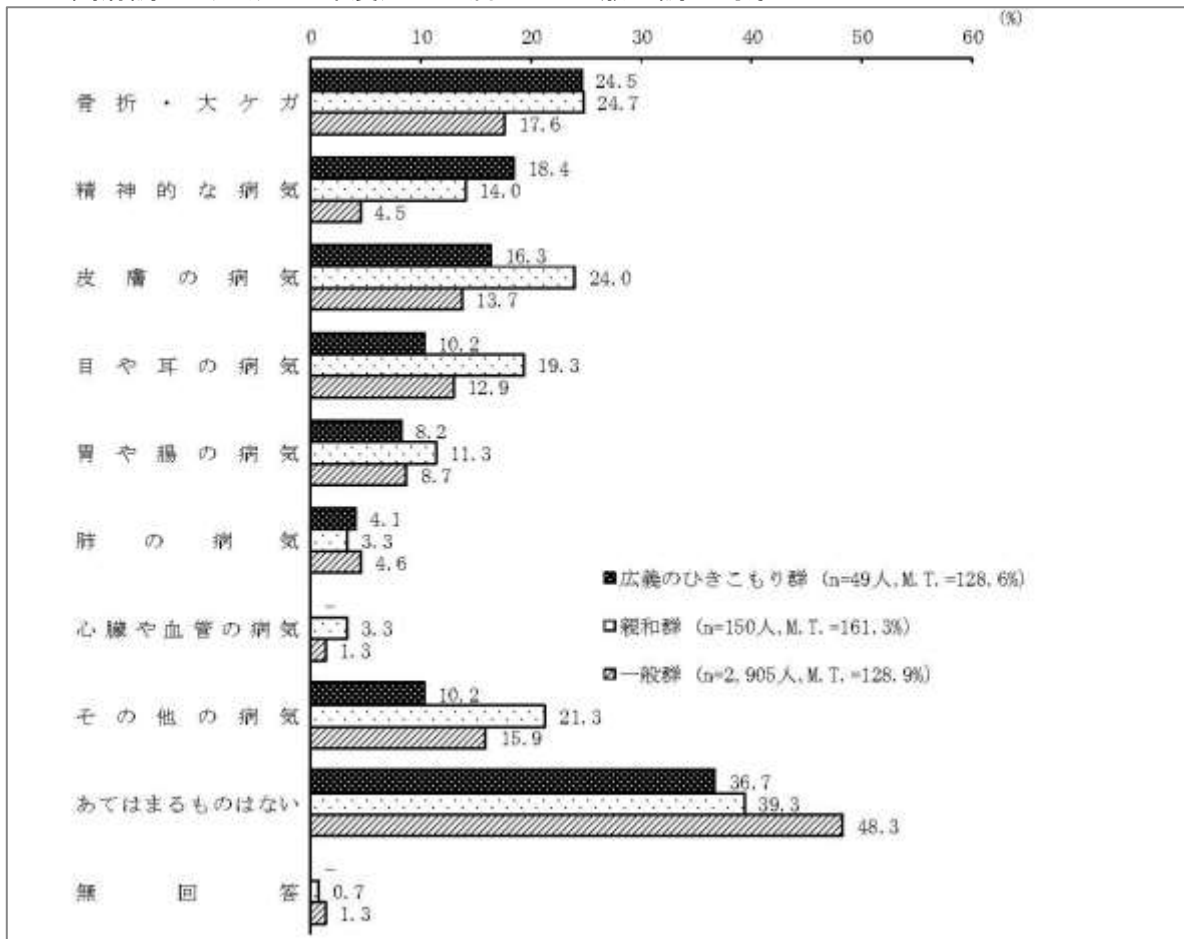
<大田区調査>※満 15～64 歳が調査対象



<内閣府調査（平成 30 年度）> ※満 40～64 歳が調査対象



<内閣府調査（平成 27 年度）> ※満 15～39 歳が調査対象

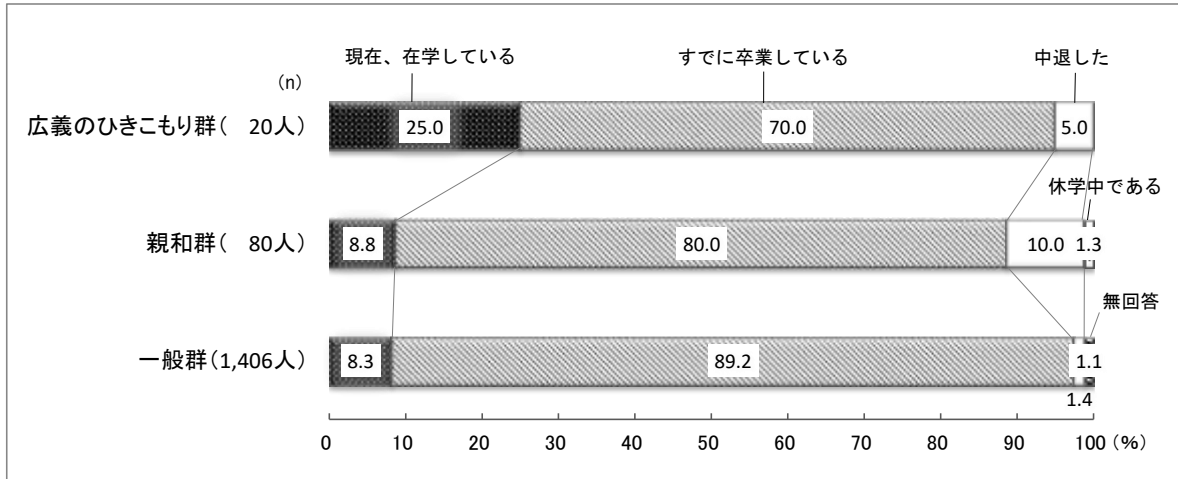


■ 学校のことについて

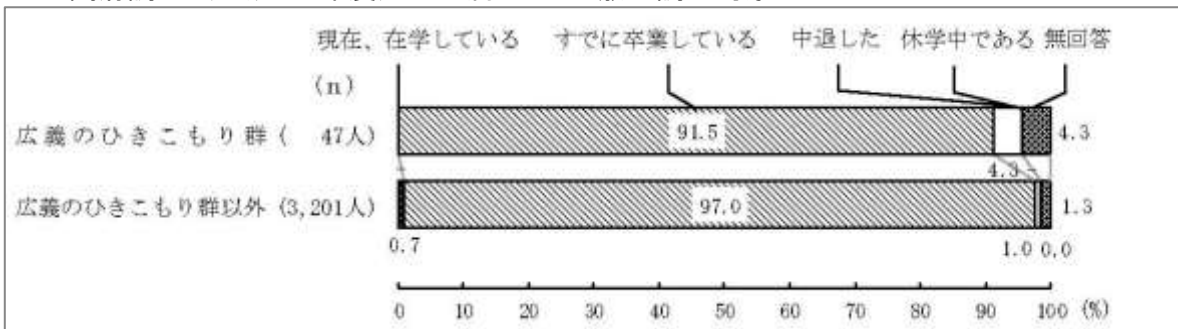
Q9 あなたは現在、学校に通っていますか。(単一回答)

- ・大田区のひきこもり群は「すでに卒業している」が70.0%、「現在、在学している」が25.0%となっている。

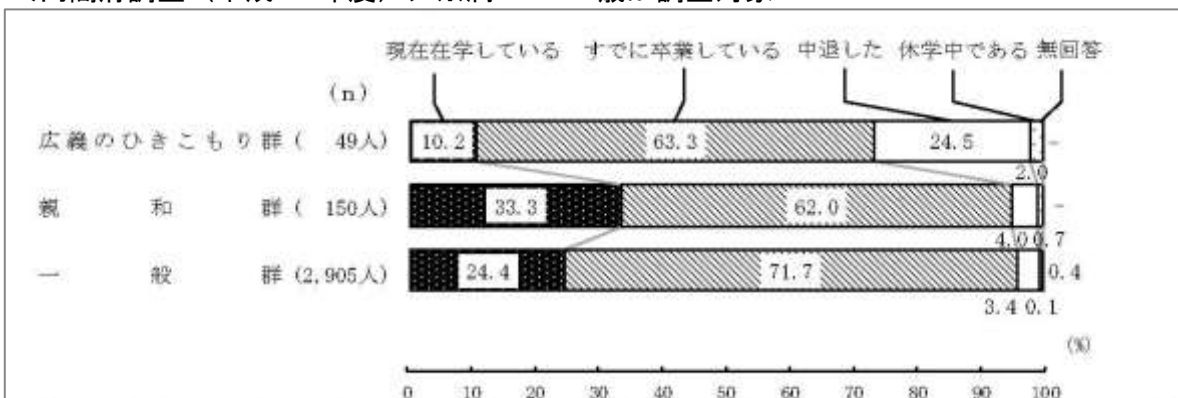
<大田区調査> ※満15~64歳が調査対象



<内閣府調査 (平成30年度)> ※満40~64歳が調査対象



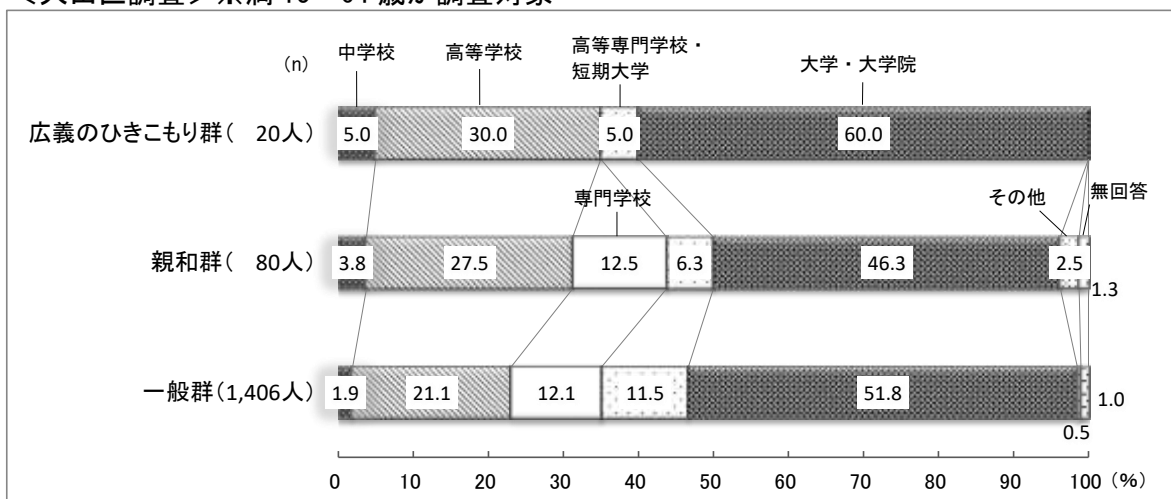
<内閣府調査 (平成27年度)> ※満15~39歳が調査対象



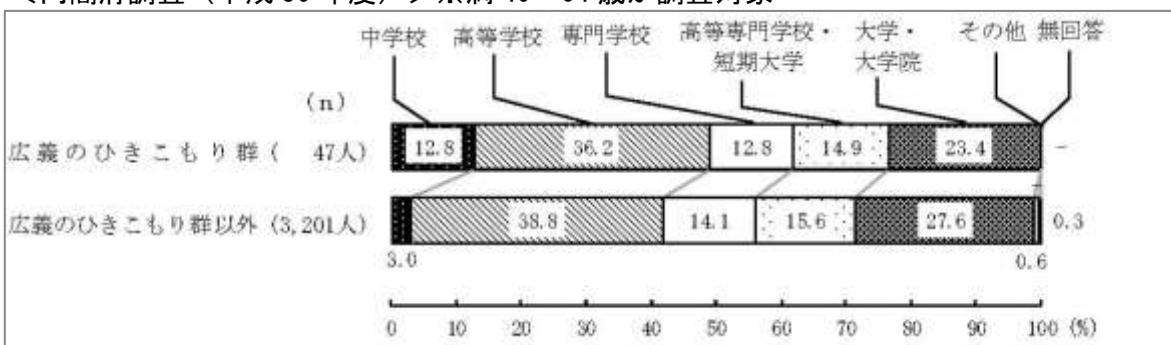
Q 10 あなたが最後に卒業（中退を含む）した、または現在、在学している学校はどれですか。
（単一回答）

- ・大田区のひきこもり群は「大学・大学院」が 60.0%、「高等学校」が 30.0%となっている。
- ・内閣府調査（平成 30・27 年度）のひきこもり群は「高等学校」の割合が高い。
- ・大田区では、内閣府調査（平成 30・27 年度）と比べて「大学・大学院」の割合が高い。

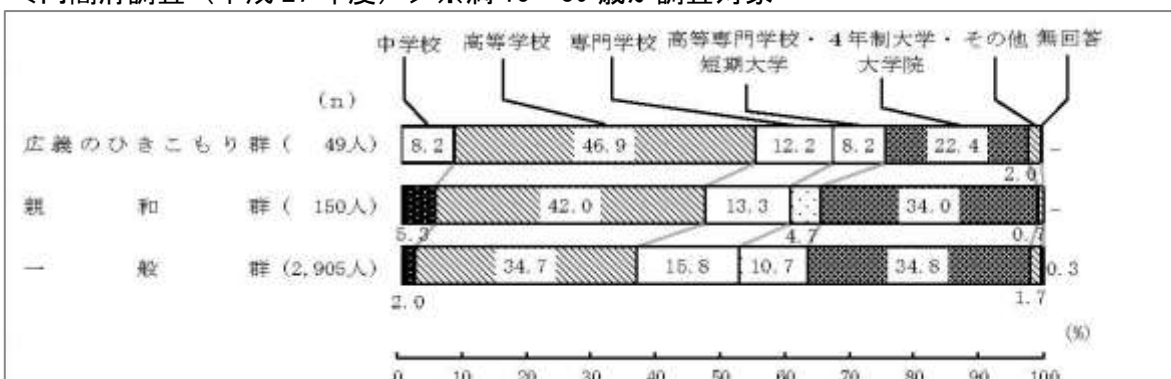
＜大田区調査＞※満 15～64 歳が調査対象



＜内閣府調査（平成 30 年度）＞※満 40～64 歳が調査対象



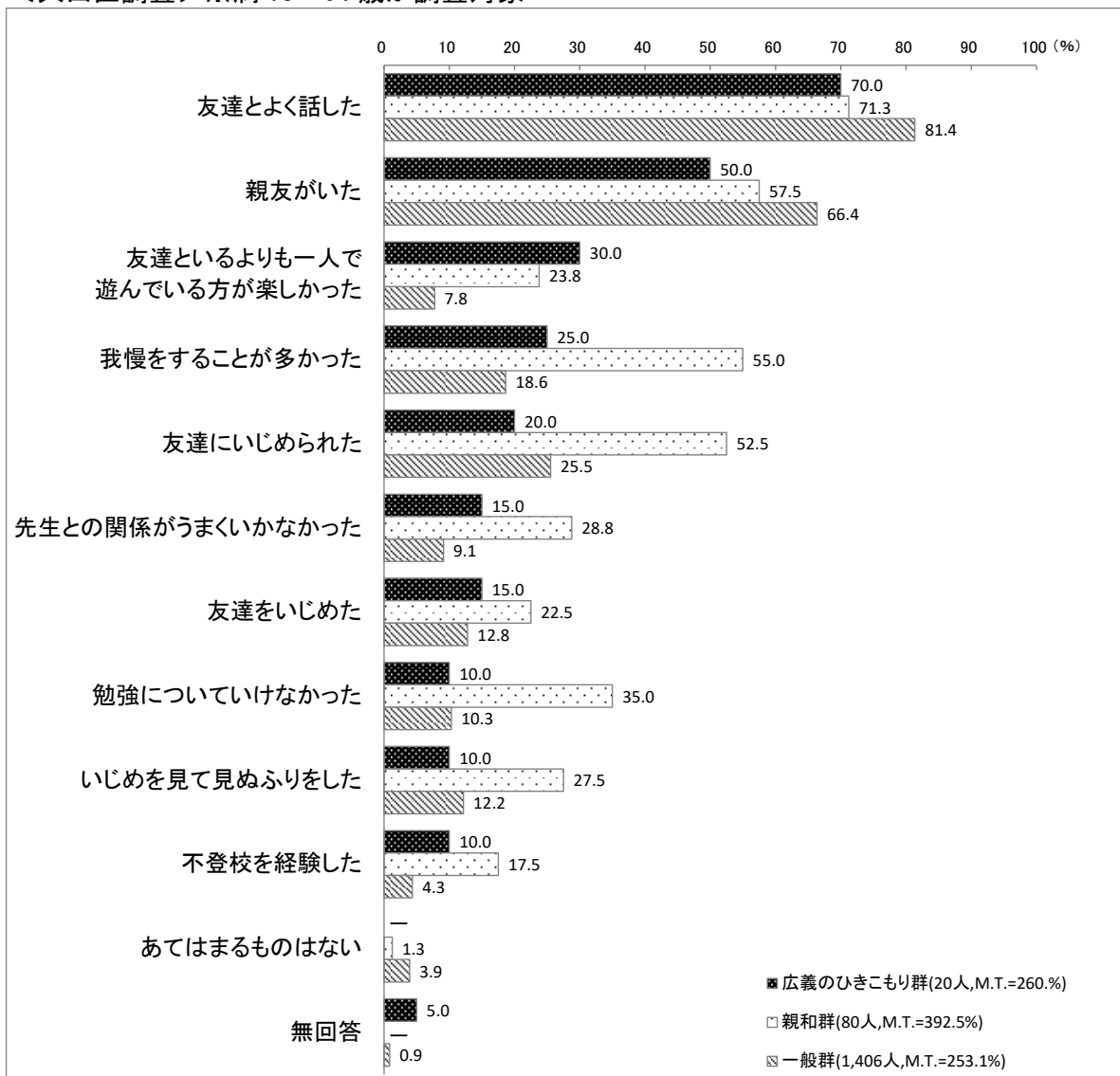
＜内閣府調査（平成 27 年度）＞※満 15～39 歳が調査対象



Q 1 1 あなたは小学校や中学校の頃に、学校で次のようなことを経験したことがありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(複数回答)

- 大田区のひきこもり群は「友達とよく話した」が70.0%、「親友がいた」が50.0%となっている。
- 内閣府調査(平成27年度)のひきこもり群は「友達とよく話した」や「親友がいた」の割合が高い。
- 大田区では、内閣府調査(平成27年度)と比べて上位の回答に大きな差はみられない。

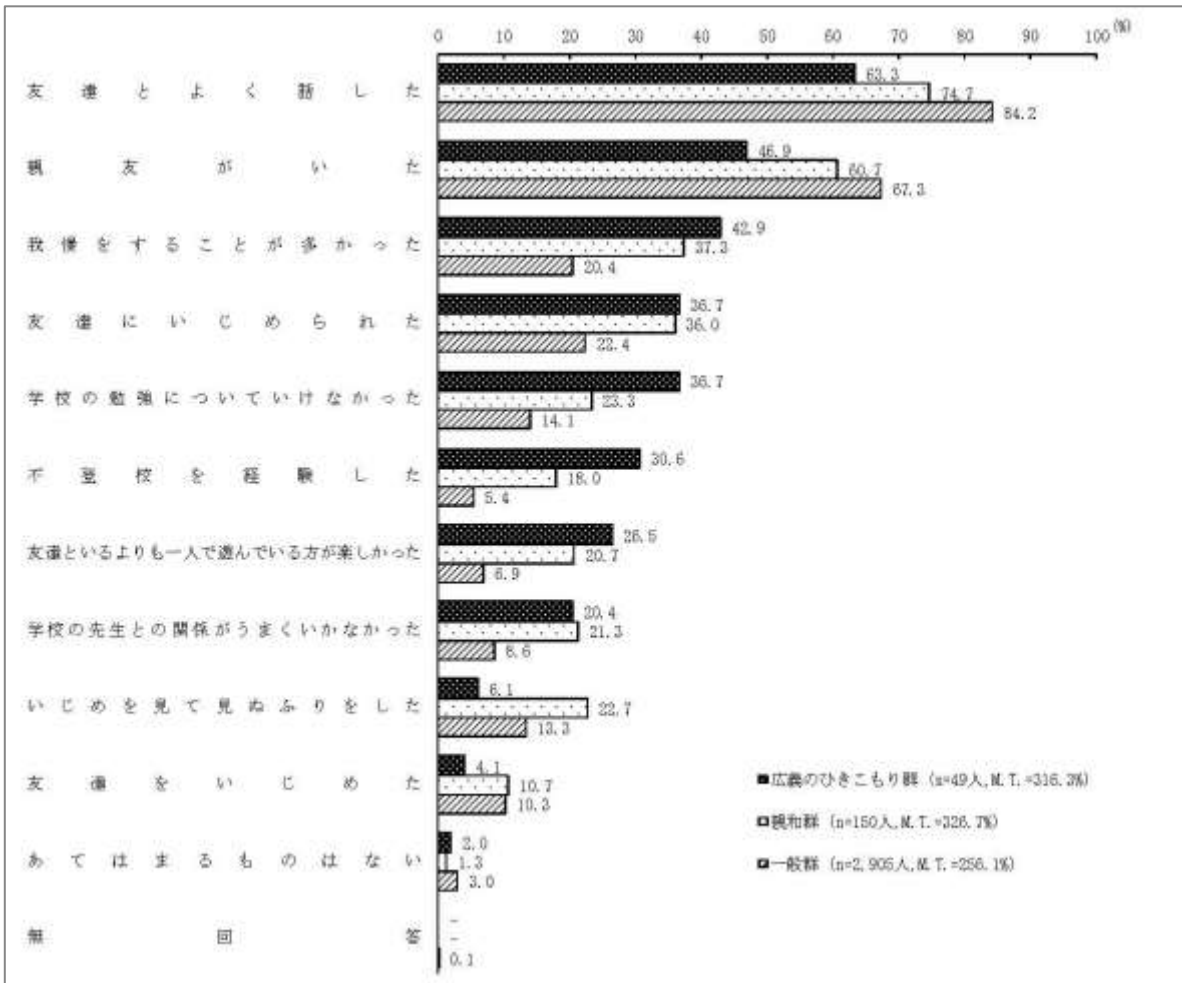
<大田区調査>※満15~64歳が調査対象



<内閣府調査（平成 30 年度）> ※満 40～64 歳が調査対象

設問なし

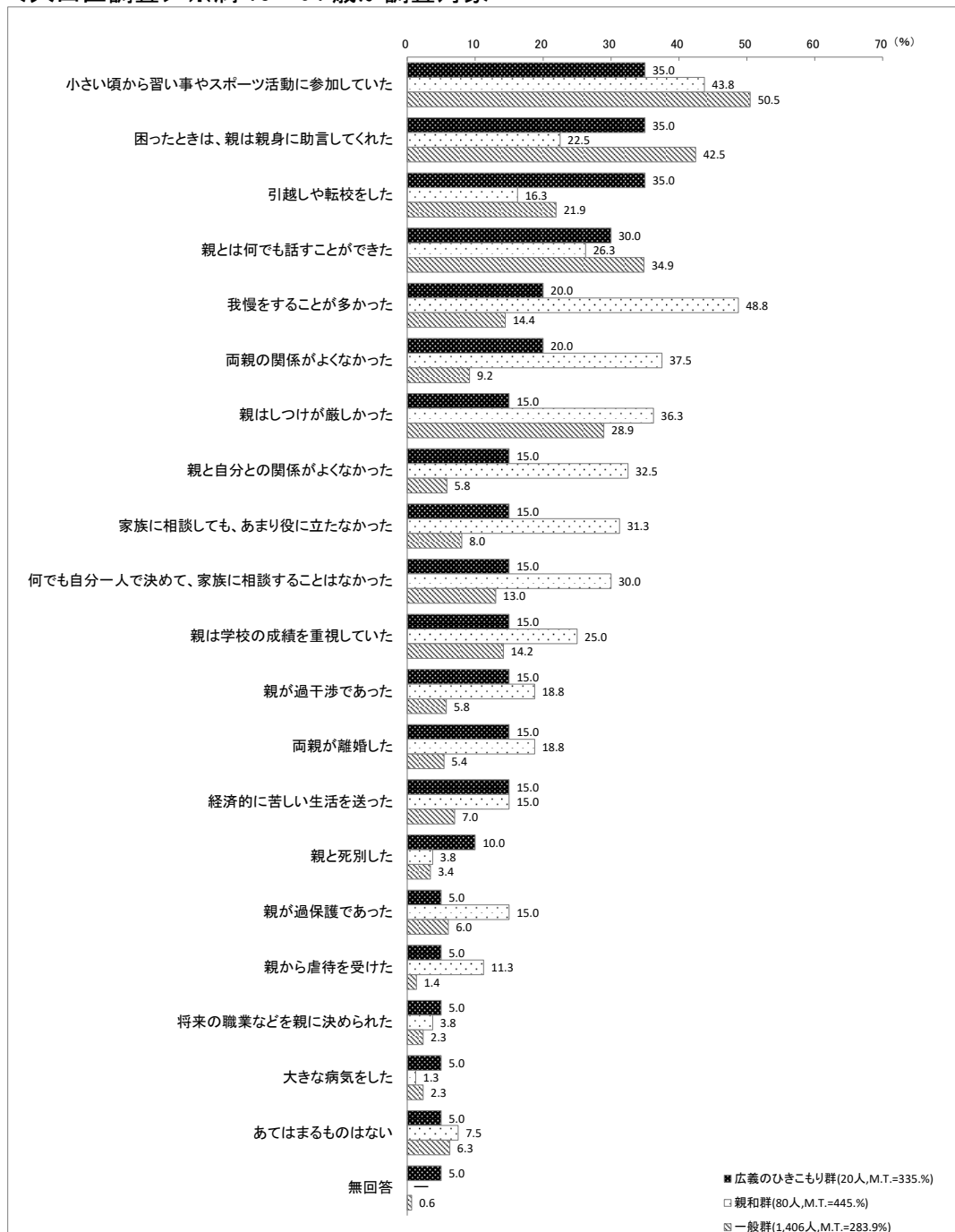
<内閣府調査（平成 27 年度）> ※満 15～39 歳が調査対象



Q 1 2 あなたは小学校や中学校の頃に、家庭で次のようなことを経験したことがありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(複数回答)

- ・大田区のひきこもり群は「小さい頃から習い事やスポーツ活動に参加していた」「困ったときは、親は親身に助言してくれた」「引越しや転校をした」がそれぞれ 35.0%、「親とはなんでも話すことができた」が 30.0%となっている。
- ・内閣府調査（平成 27 年度）のひきこもり群は「小さい頃から習い事やスポーツ活動に参加していた」や「困ったときは、親は親身に助言してくれた」の割合が高い。
- ・大田区では、内閣府調査（平成 27 年度）と比べて大きな差はみられない。

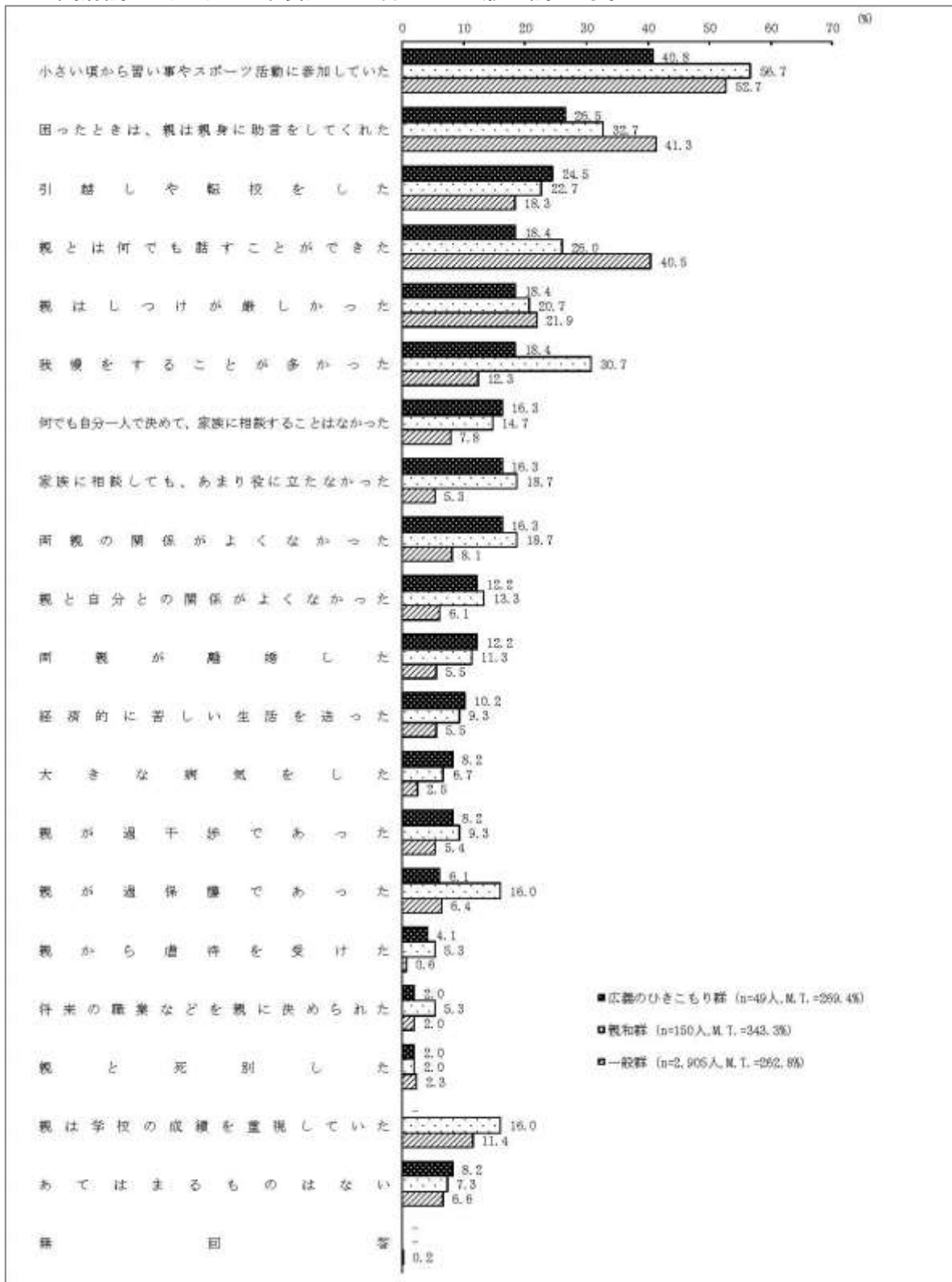
<大田区調査> ※満 15～64 歳が調査対象



<内閣府調査（平成 30 年度）> ※満 40～64 歳が調査対象

設問なし

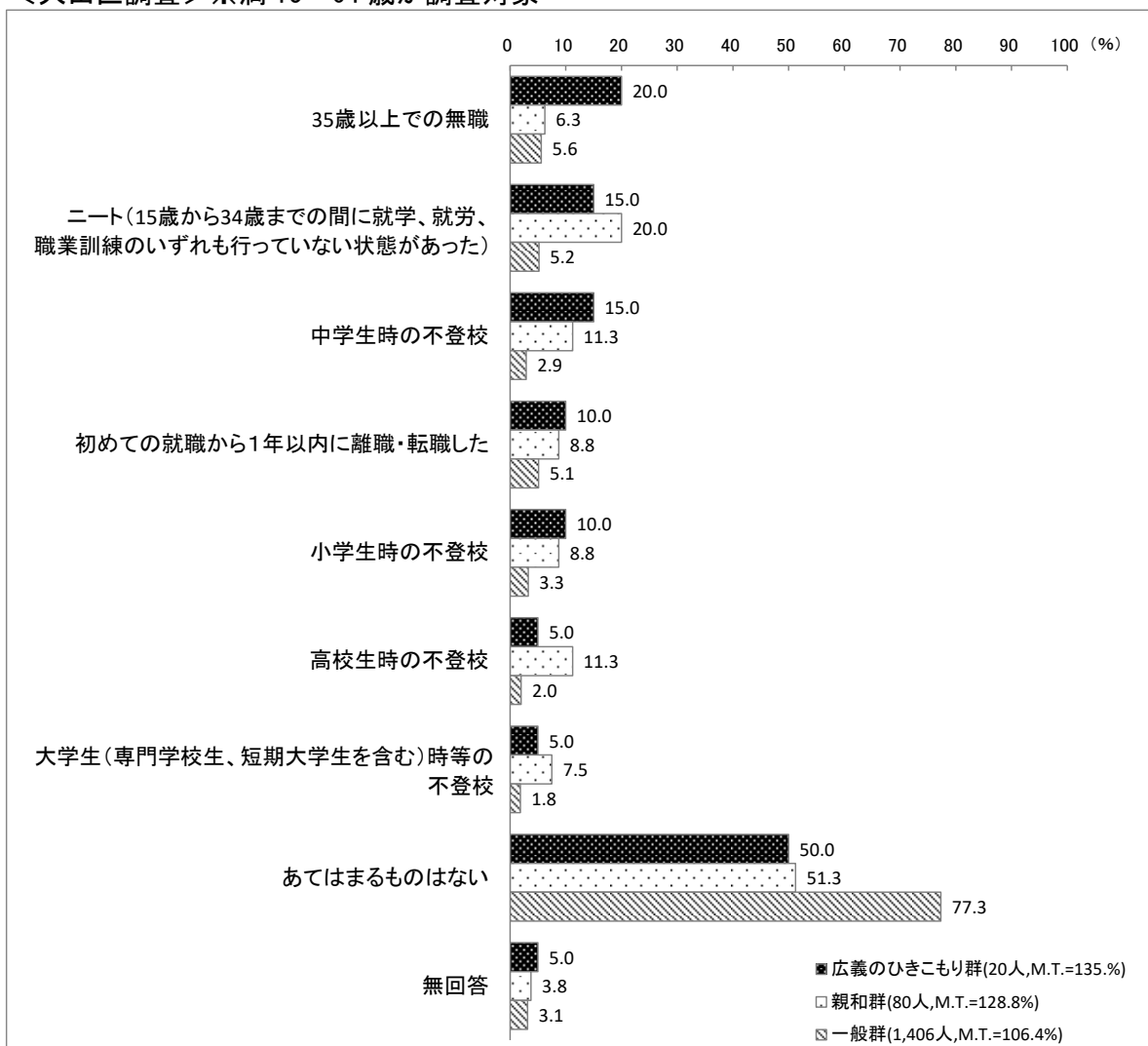
<内閣府調査（平成 27 年度）> ※満 15～39 歳が調査対象



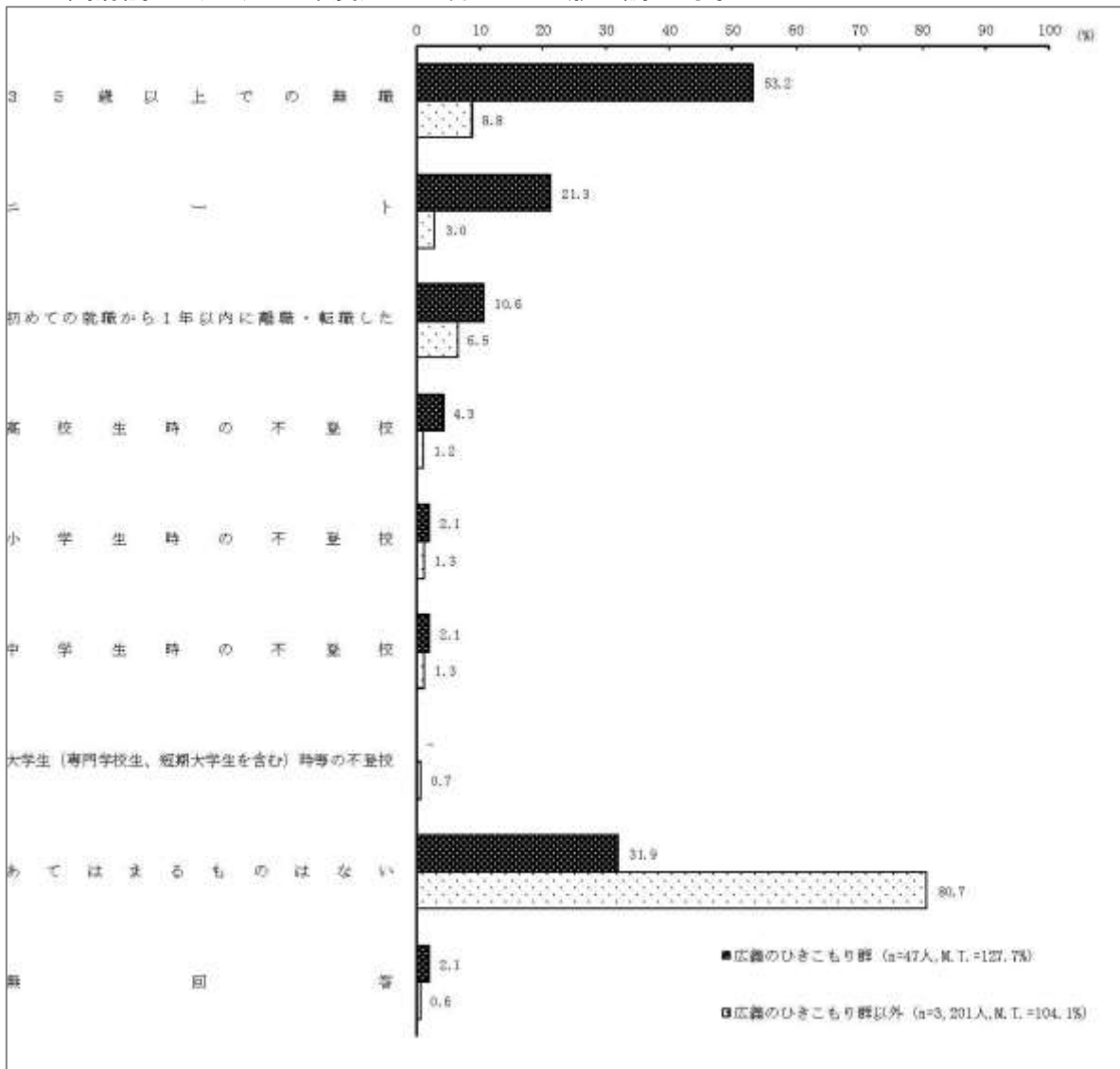
Q 13 これまでに、以下のようなことを経験したことがありますか。あてはまるものにすべて○をつけてください。(複数回答)

- 大田区のひきこもり群は「35歳以上での無職」が20.0%、「ニート（15歳から34歳までの間に就学、就労、職業訓練のいずれも行っていない状態があった）」「中学生時の不登校」がそれぞれ15.0%となっている。
- 内閣府調査（平成30年度）のひきこもり群は「35歳以上での無職」や「ニート」の割合が高い。
- 大田区では、内閣府調査（平成30年度）と同様の傾向にあるが、不登校の経験がある方が3割以上を占めている。

<大田区調査> ※満15～64歳が調査対象



＜内閣府調査（平成 30 年度）＞※満 40～64 歳が調査対象



＜内閣府調査（平成 27 年度）＞※満 15～39 歳が調査対象

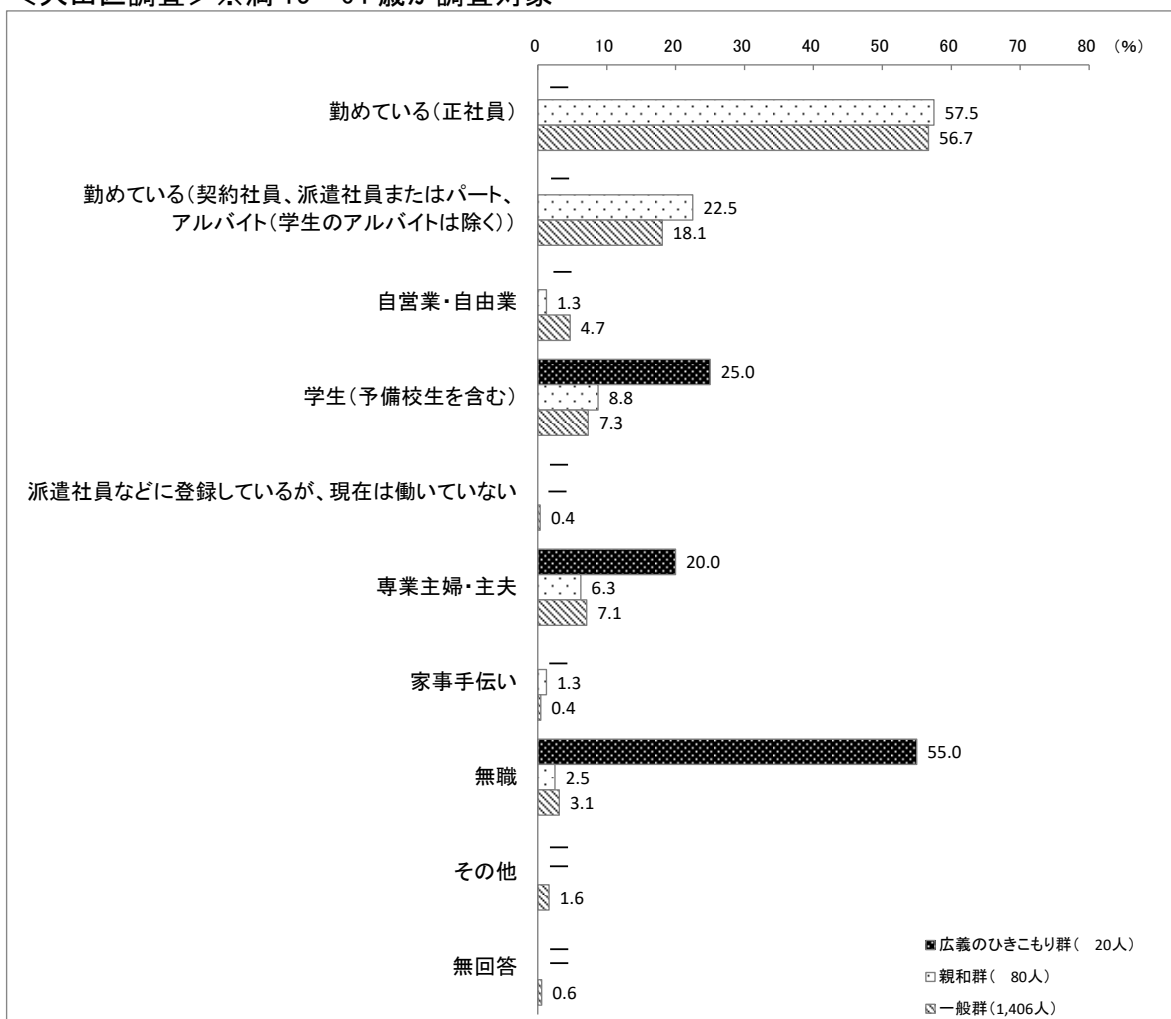
設問なし

■ 仕事のことについて

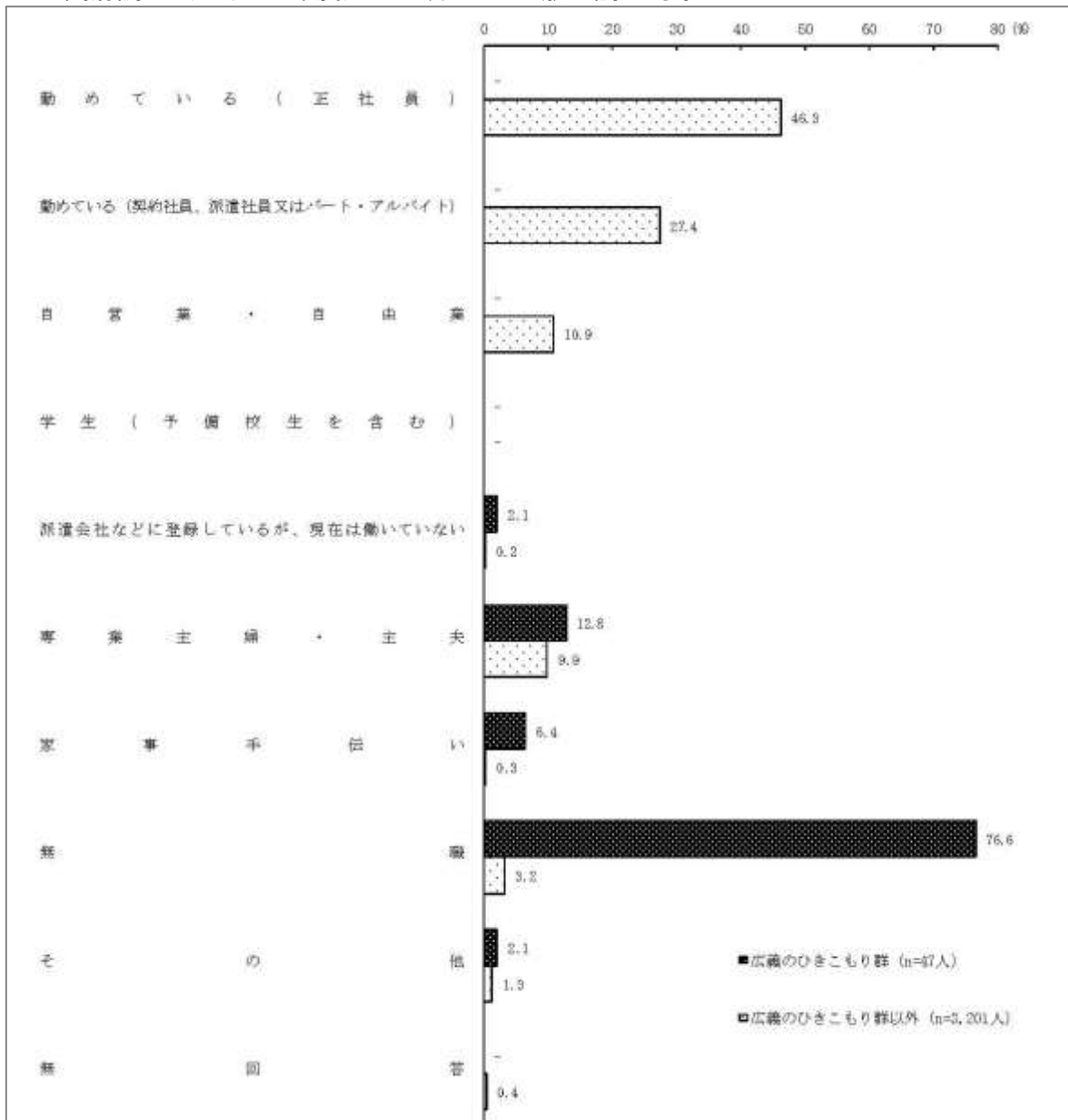
Q 1 4 あなたの現在の就労・就学等の状況についてお答えください。(単一回答)

- ・大田区のひきこもり群は「無職」が 55.0%、「学生（予備校生を含む）」が 25.0%、「専業主婦・主夫」が 20.0%となっている。
- ・内閣府調査（平成 30・27 年度）のひきこもり群は「無職」の割合が高い。
- ・大田区、内閣府調査（平成 30・27 年度）ともに、ひきこもり群では無職の割合が高い。

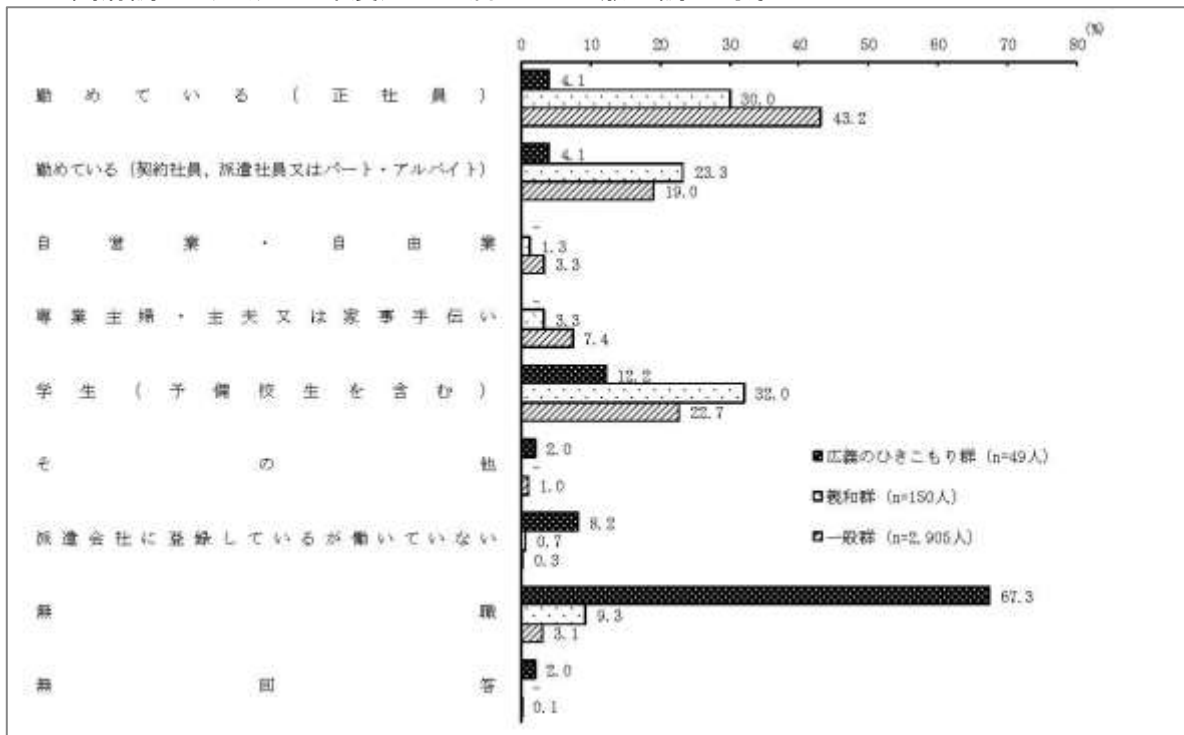
<大田区調査> ※満 15～64 歳が調査対象



<内閣府調査（平成30年度）> ※満40～64歳が調査対象



<内閣府調査（平成27年度）> ※満15～39歳が調査対象

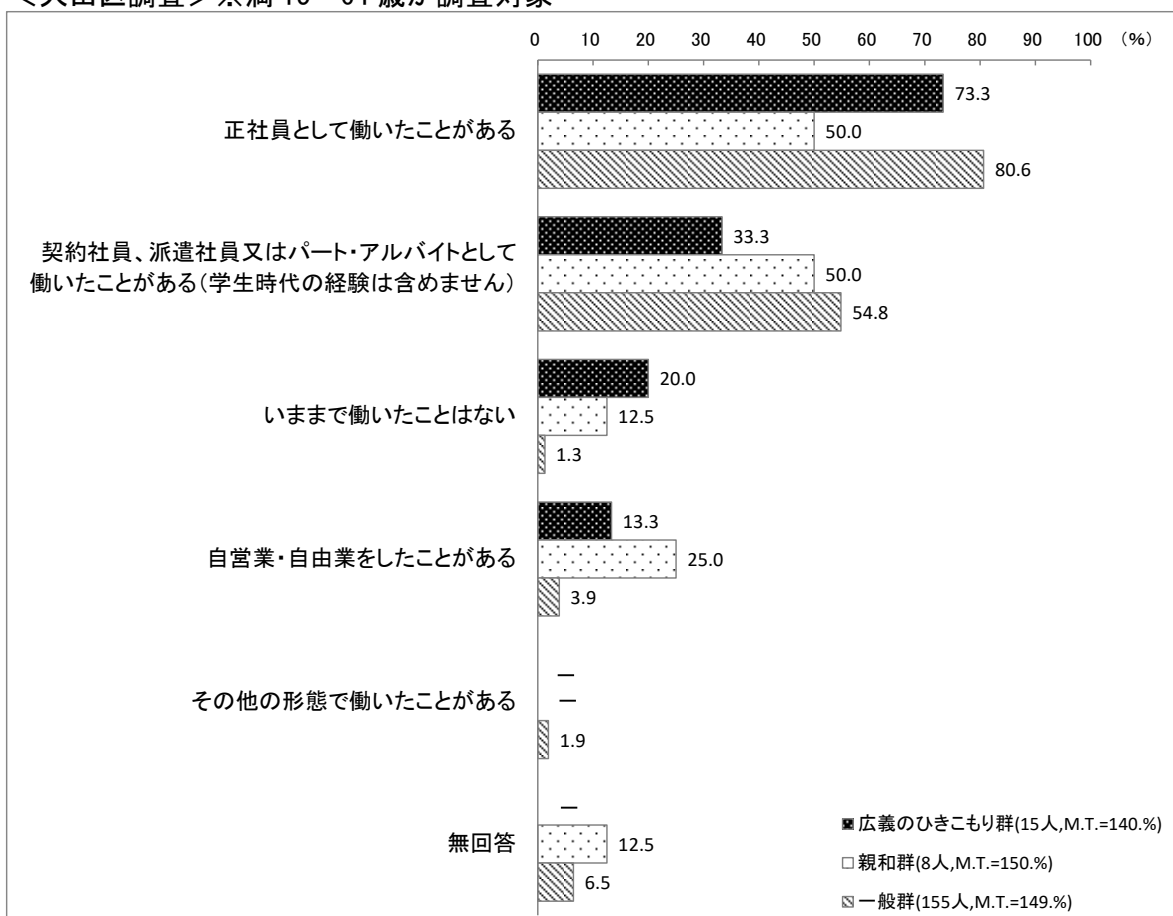


Q 15 あなたは、いままでに働いていたことはありますか。(複数回答)

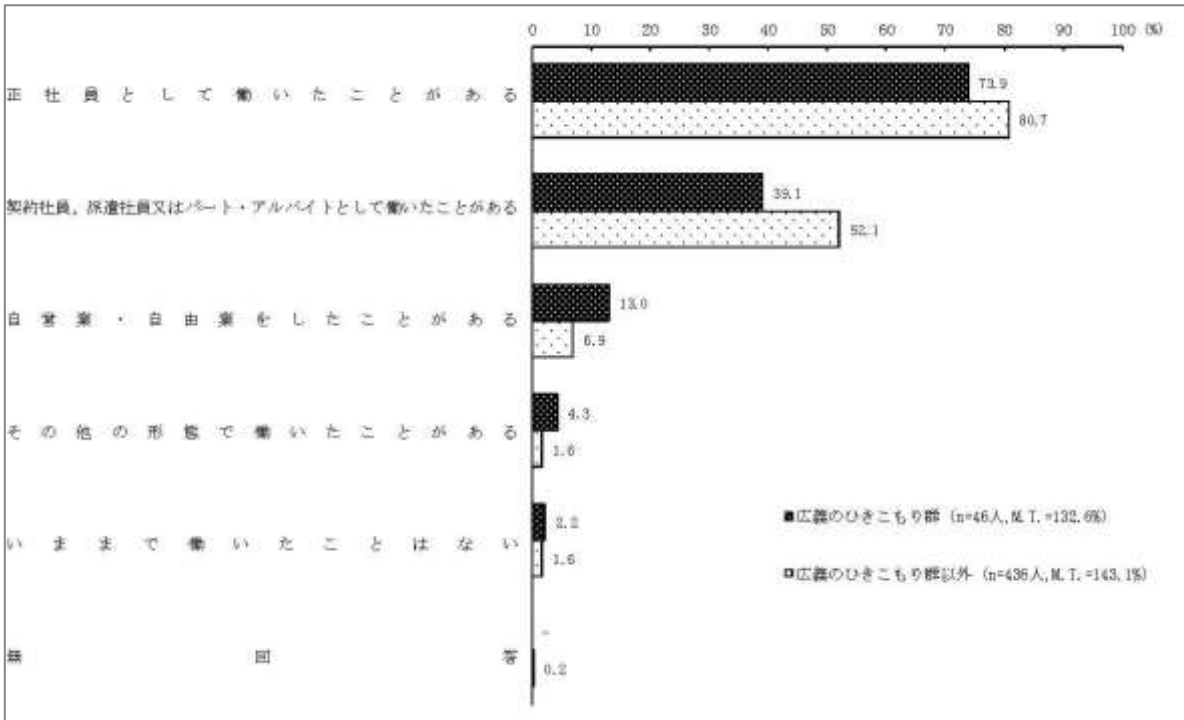
※Q 14 現在の就労・就学等の状況に関する設問で「5～8」の働いていない、専業主婦・主夫、家事手伝い、無職と選択した方のみ回答

- 大田区のひきこもり群は「正社員として働いたことがある」が73.3%、「契約社員、派遣社員又はパート・アルバイトとして働いたことがある(学生時代の経験は含めません)」が33.3%となっている。
- 内閣府調査(平成30年度)のひきこもり群は「正社員として働いたことがある」「契約社員、派遣社員又はパート・アルバイトとして働いたことがある」の割合が高い。
- 大田区では、内閣府調査(平成30年度)と同様の傾向にあり、過去に就労経験のある方が多いことがうかがえる。

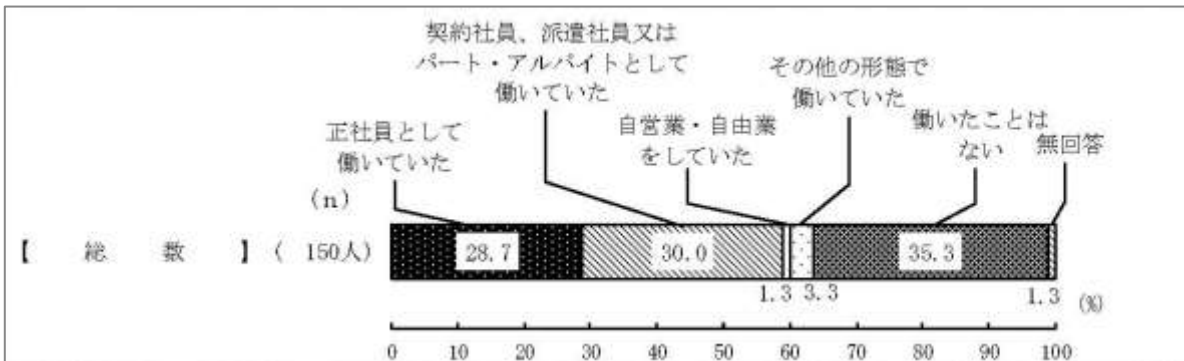
<大田区調査>※満15～64歳が調査対象



＜内閣府調査（平成 30 年度）＞※満 40～64 歳が調査対象



＜内閣府調査（平成 27 年度）＞※満 15～39 歳が調査対象

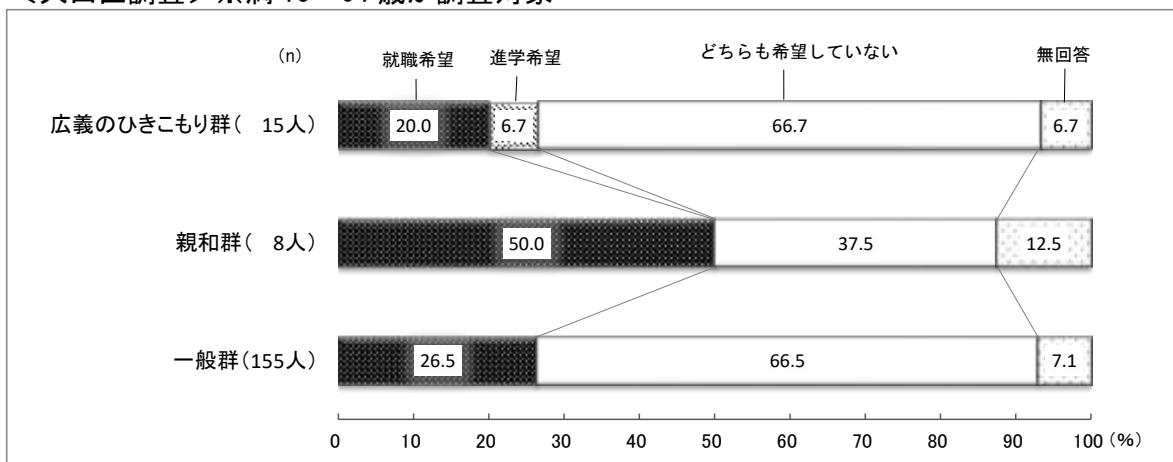


Q 1 6 現在、就職または進学を希望していますか。(単一回答)

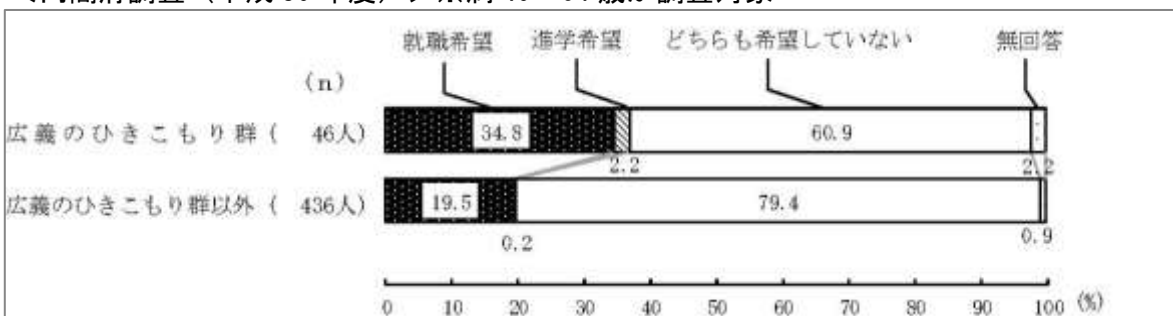
※Q 1 4 現在の就労・就学等の状況に関する設問で「5～8」の働いていない、専業主婦・主夫、家事手伝い、無職と選択した方のみ回答

- ・大田区のひきこもり群は「どちらも希望していない」が66.7%、「就職希望」が20.0%となっている。
- ・内閣府調査（平成 30 年度）のひきこもり群は、就職も進学も希望していない割合が高いが、4割は就労又は進学を希望している。
- ・大田区では、内閣府調査（平成 30 年度）と同様の傾向にある。

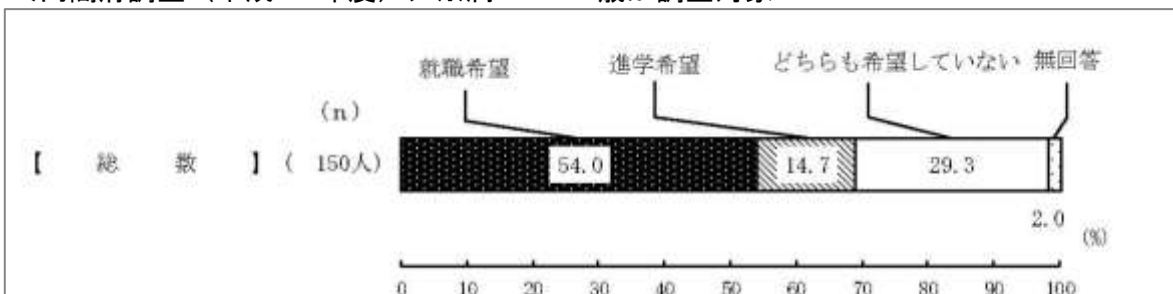
<大田区調査>※満 15～64 歳が調査対象



<内閣府調査（平成 30 年度）>※満 40～64 歳が調査対象



<内閣府調査（平成 27 年度）>※満 15～39 歳が調査対象

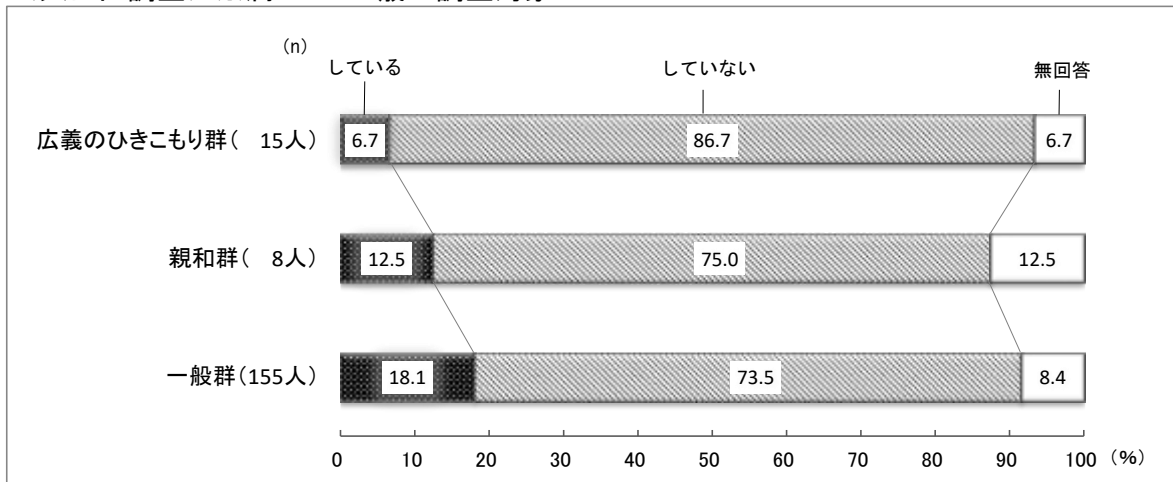


Q 1 7 現在、就職活動をしていますか。(単一回答)

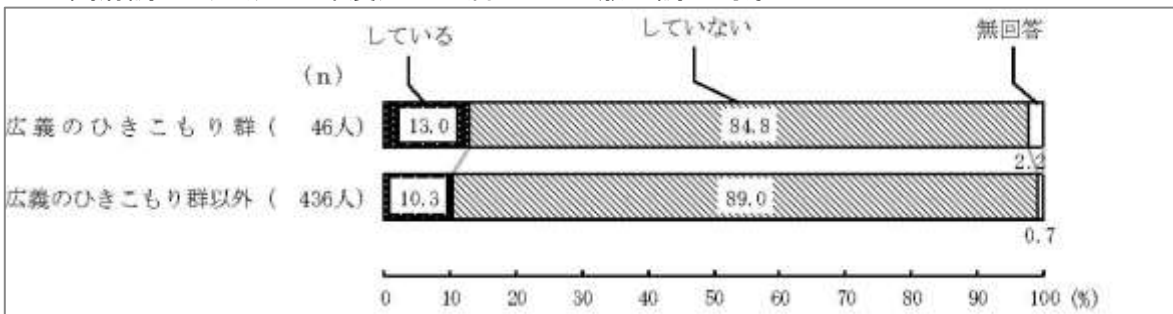
※Q 1 4 現在の就労・就学等の状況に関する設問で「5～8」の働いていない、専業主婦・主夫、家事手伝い、無職と選択した方のみ回答

- 大田区のひきこもり群は「就職活動をしていない」が86.7%となっている。
- 内閣府調査（平成30年度）のひきこもり群は就職活動をしていない割合が高い。
- 大田区では、内閣府調査（平成30年度）と同様の傾向にある。

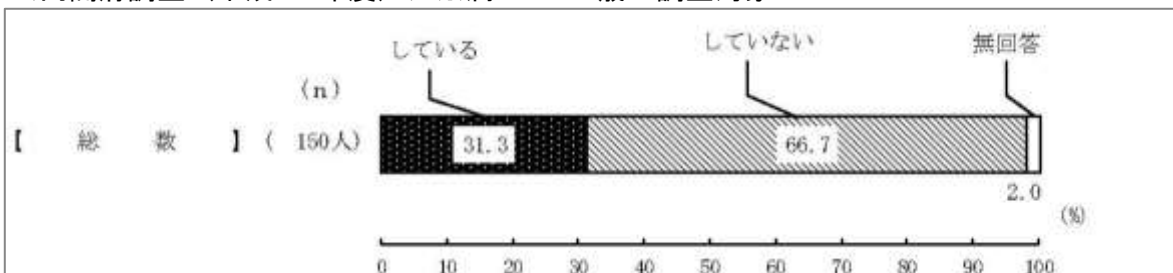
＜大田区調査＞※満15～64歳が調査対象



＜内閣府調査（平成30年度）＞※満40～64歳が調査対象



＜内閣府調査（平成27年度）＞※満15～39歳が調査対象

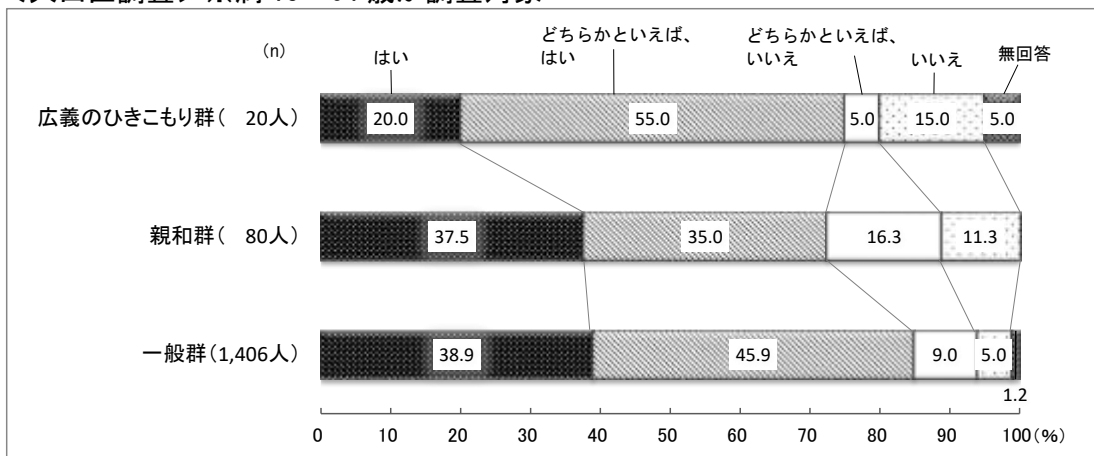


Q 1 8 次に挙げられた職業に関する意見の中で、あなたの考えにあてはまるものに○をつけてください。(単一回答)

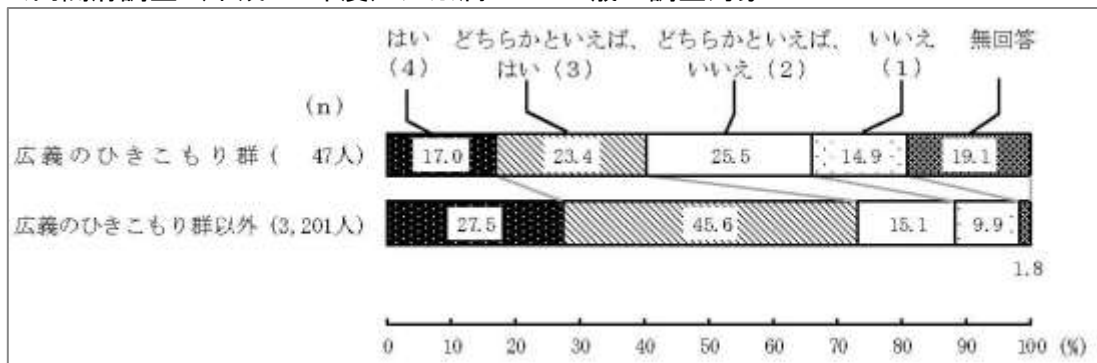
(1) 自分にふさわしい仕事はどこかにあると思う

- 大田区のひきこもり群は「どちらかといえば、はい」が55.0%、「はい」が20.0%となっている。
- 内閣府調査(平成30・27年度)のひきこもり群は「どちらかといえば、いいえ」の割合が高い。
- 大田区では、内閣府調査(平成30・27年度)と比べて、「はい」「どちらかといえば、はい」の割合が高く、就労への期待を高く持つ傾向にある。

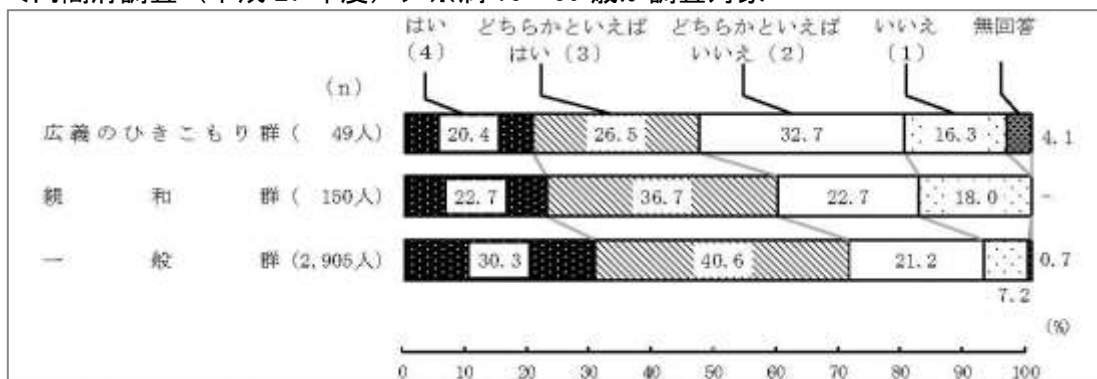
<大田区調査> ※満15~64歳が調査対象



<内閣府調査(平成30年度)> ※満40~64歳が調査対象



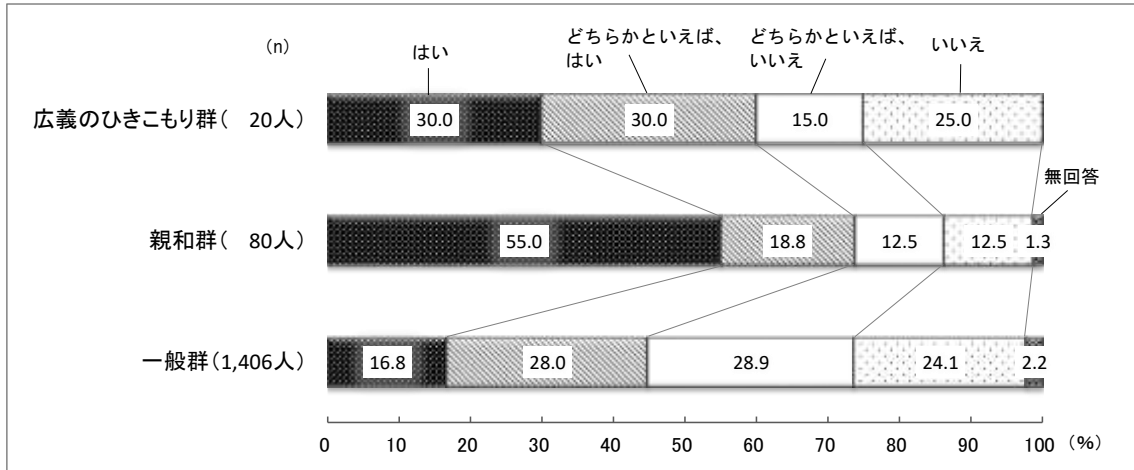
<内閣府調査(平成27年度)> ※満15~39歳が調査対象



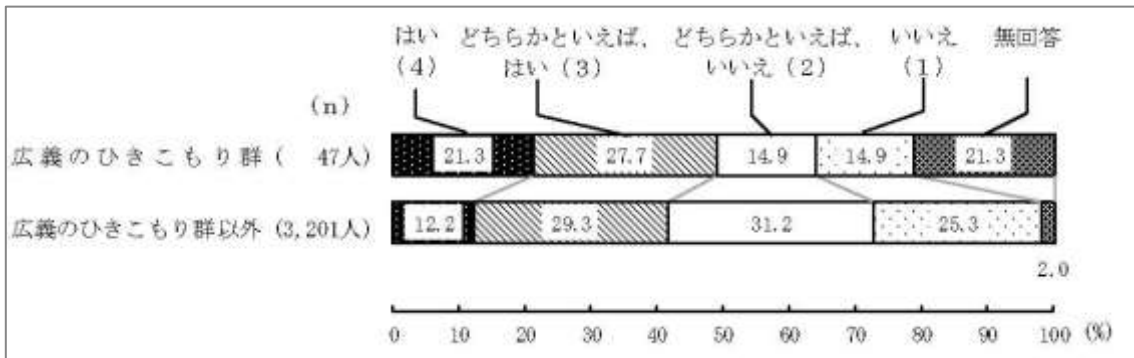
(2) まだ自分の夢を実現させる仕事に就けていないと思う

- 大田区のひきこもり群は「はい」「どちらかといえば、はい」がいずれも30.0%となっている。
- 内閣府調査（平成30・27年度）のひきこもり群は「はい」「どちらかといえば、はい」の割合が高い。
- 大田区では、内閣府調査（平成30・27年度）と比べて大きな差はみられず、「はい」「どちらかといえば、はい」が6割を占めており、就労への期待を高く持つ傾向にある。

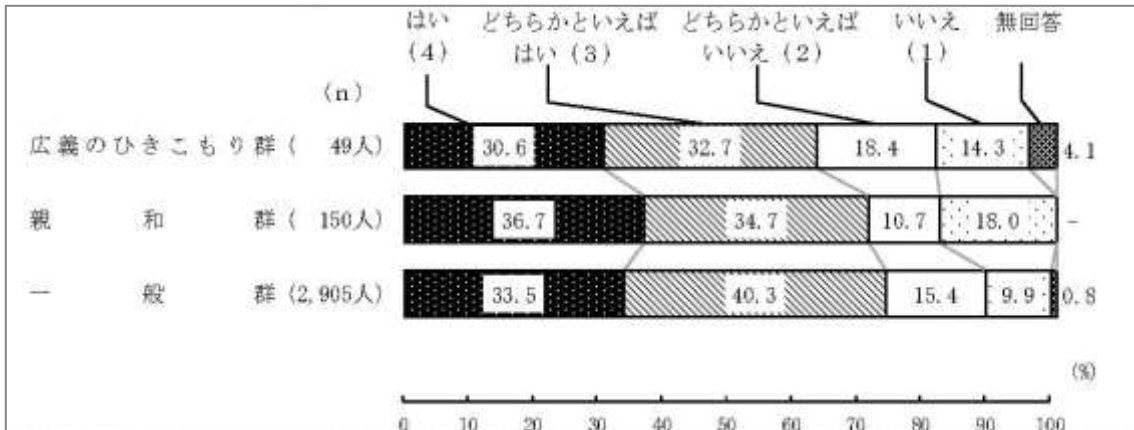
<大田区調査> ※満15～64歳が調査対象



<内閣府調査（平成30年度）> ※満40～64歳が調査対象



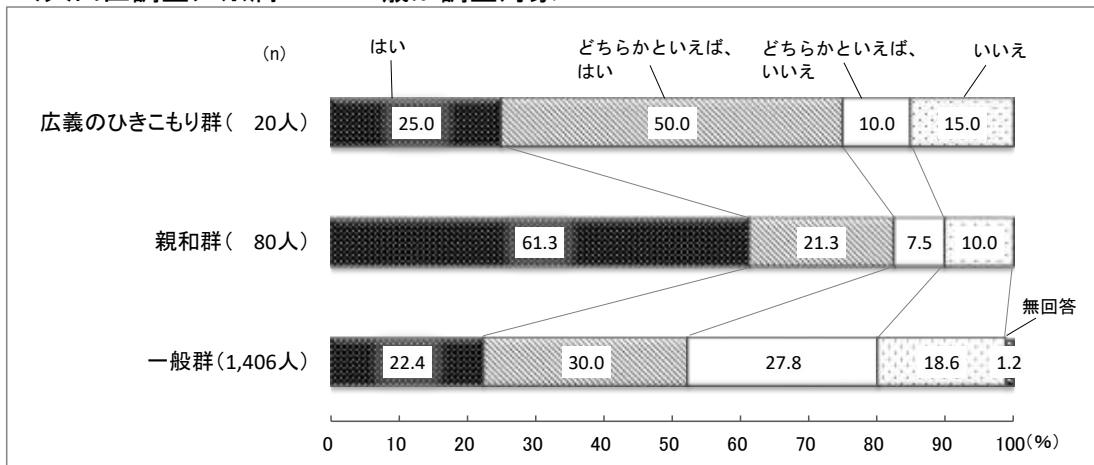
<内閣府調査（平成27年度）> ※満15～39歳が調査対象



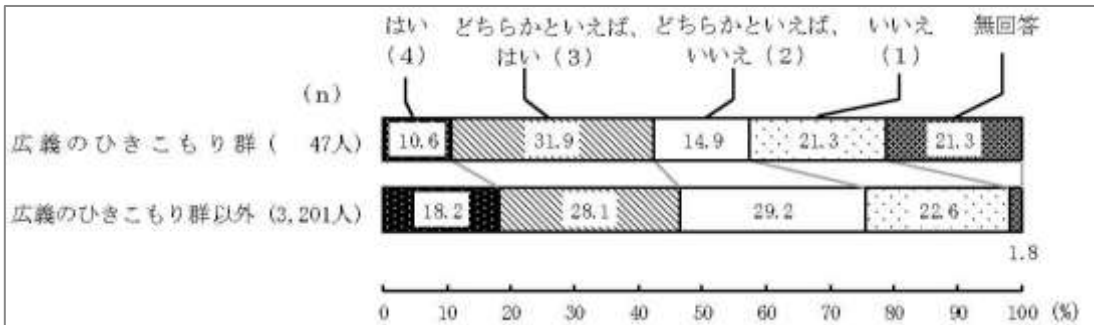
(3) 仕事をしなくても生活できるのならば、仕事はしたくない

- ・大田区のひきこもり群は「どちらかといえば、はい」が50.0%、「はい」が25.0%となっている。
- ・内閣府調査（平成30・27年度）のひきこもり群は「どちらかといえば、はい」の割合が高い。
- ・大田区では、内閣府調査（平成30・27年度）と比べて、「はい」「どちらかといえば、はい」が7割以上を占めており、就労意欲が乏しい傾向にある。

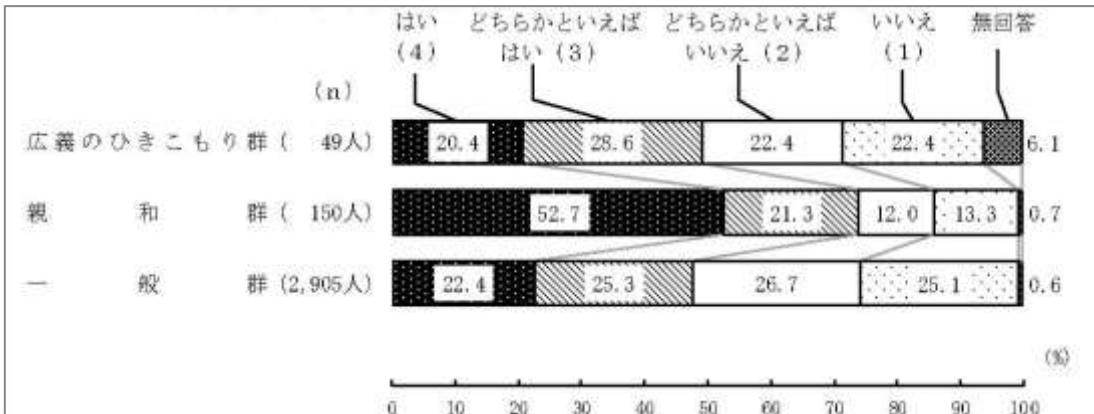
＜大田区調査＞※満15～64歳が調査対象



＜内閣府調査（平成30年度）＞※満40～64歳が調査対象



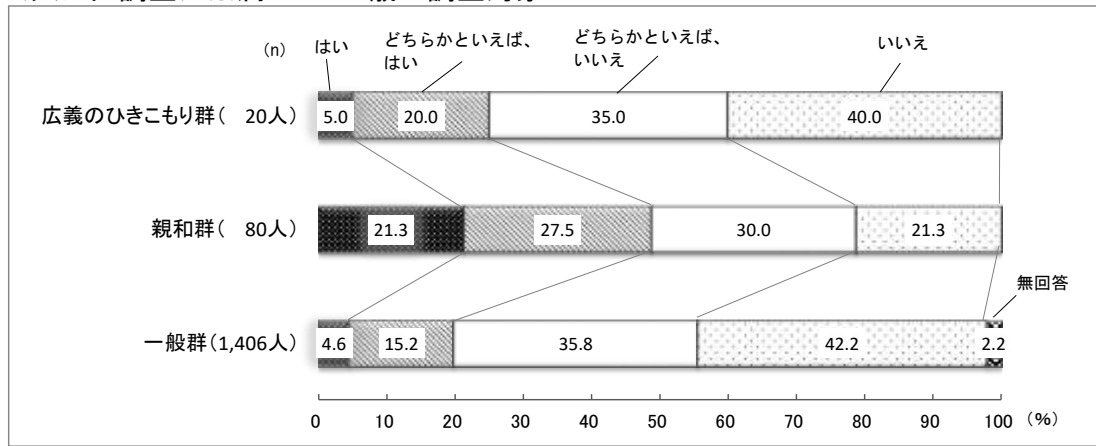
＜内閣府調査（平成27年度）＞※満15～39歳が調査対象



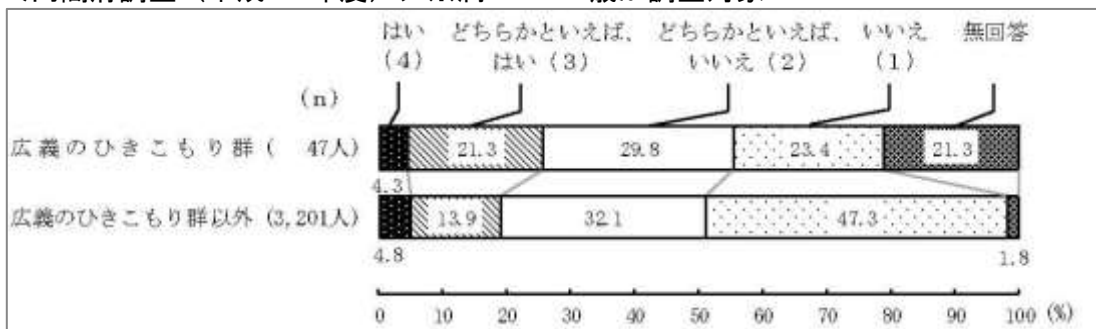
(4) 定職に就かない方が自由でいいと思う

- 大田区のひきこもり群は「いいえ」が40.0%、「どちらかといえば、いいえ」が35.0%となっている。
- 内閣府調査（平成30・27年度）のひきこもり群は「どちらかといえば、いいえ」「いいえ」の割合が高い。
- 大田区では、内閣府調査（平成30・27年度）と比べて大きな差はみられず、「どちらかといえば、いいえ」「いいえ」が7割以上を占めており、定職に就く必要性を感じている傾向にある。

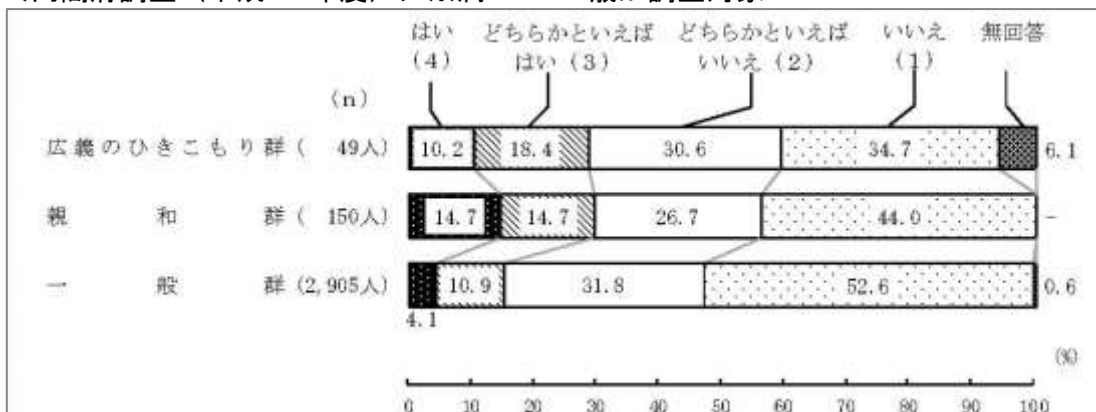
＜大田区調査＞※満15～64歳が調査対象



＜内閣府調査（平成30年度）＞※満40～64歳が調査対象



＜内閣府調査（平成27年度）＞※満15～39歳が調査対象

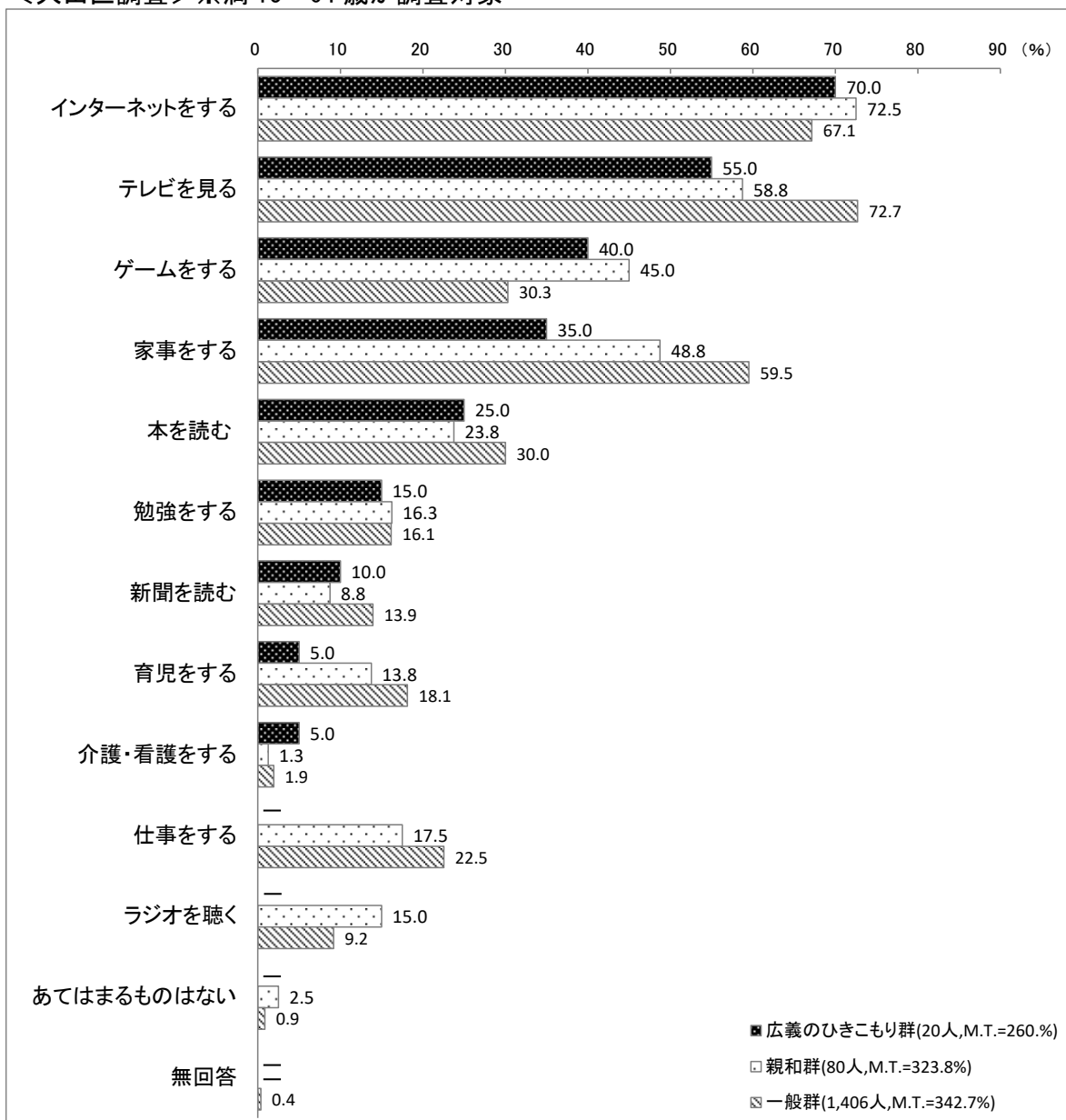


■ ふだんの生活について

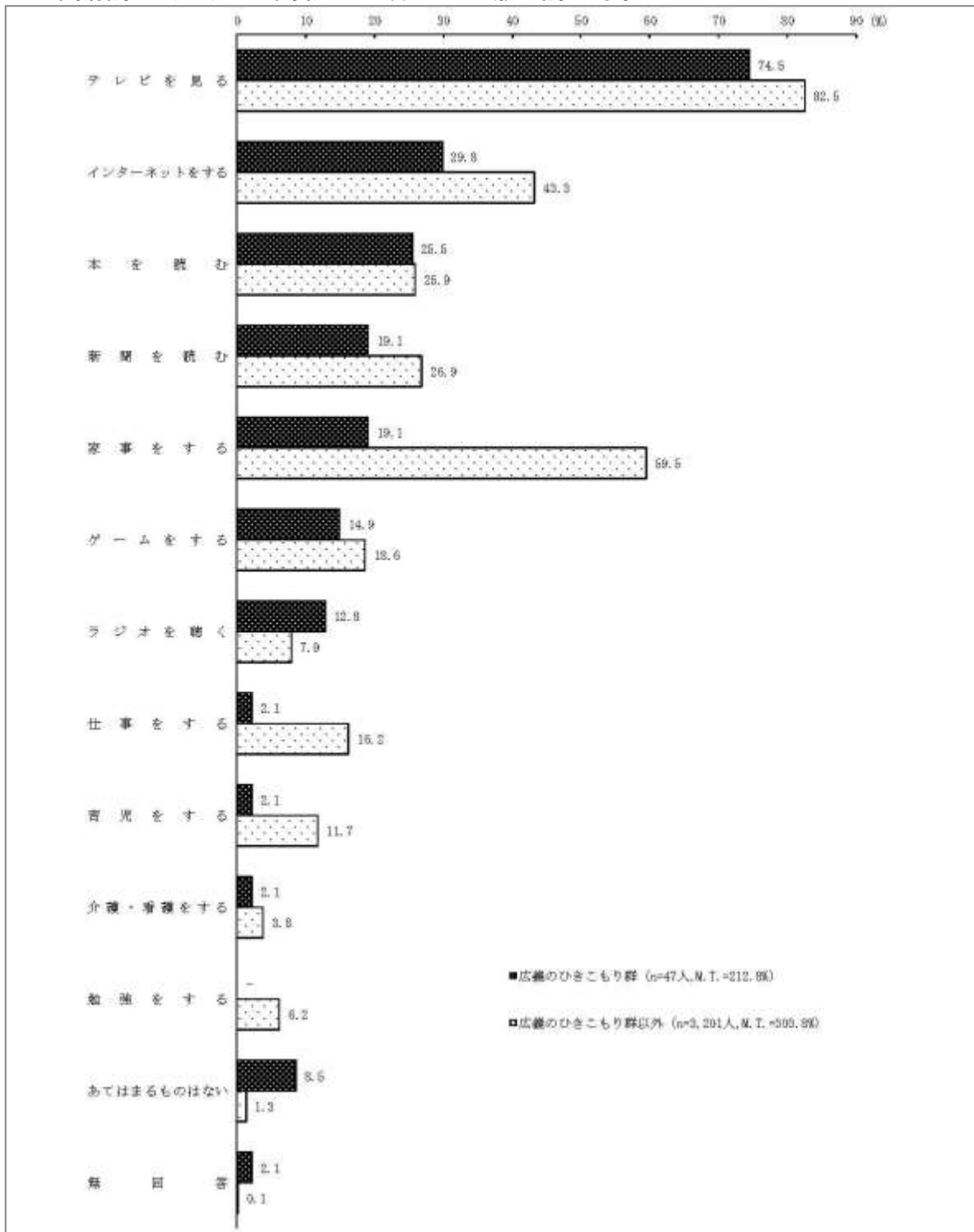
Q 19 ふだんご自宅にいるときに、よくしていることすべてに○をつけてください。(複数回答)

- ・大田区のひきこもり群は「インターネットをする」が70.0%、「テレビを見る」が55.0%となっている。
- ・内閣府調査(平成30・27年度)のひきこもり群は「テレビを見る」と「インターネットをする」の回答が上位となっている。
- ・大田区では、内閣府調査(平成30・27年度)と比べて上位の回答に大きな差はみられない。一方、「家事をする」の割合は高い傾向にある。

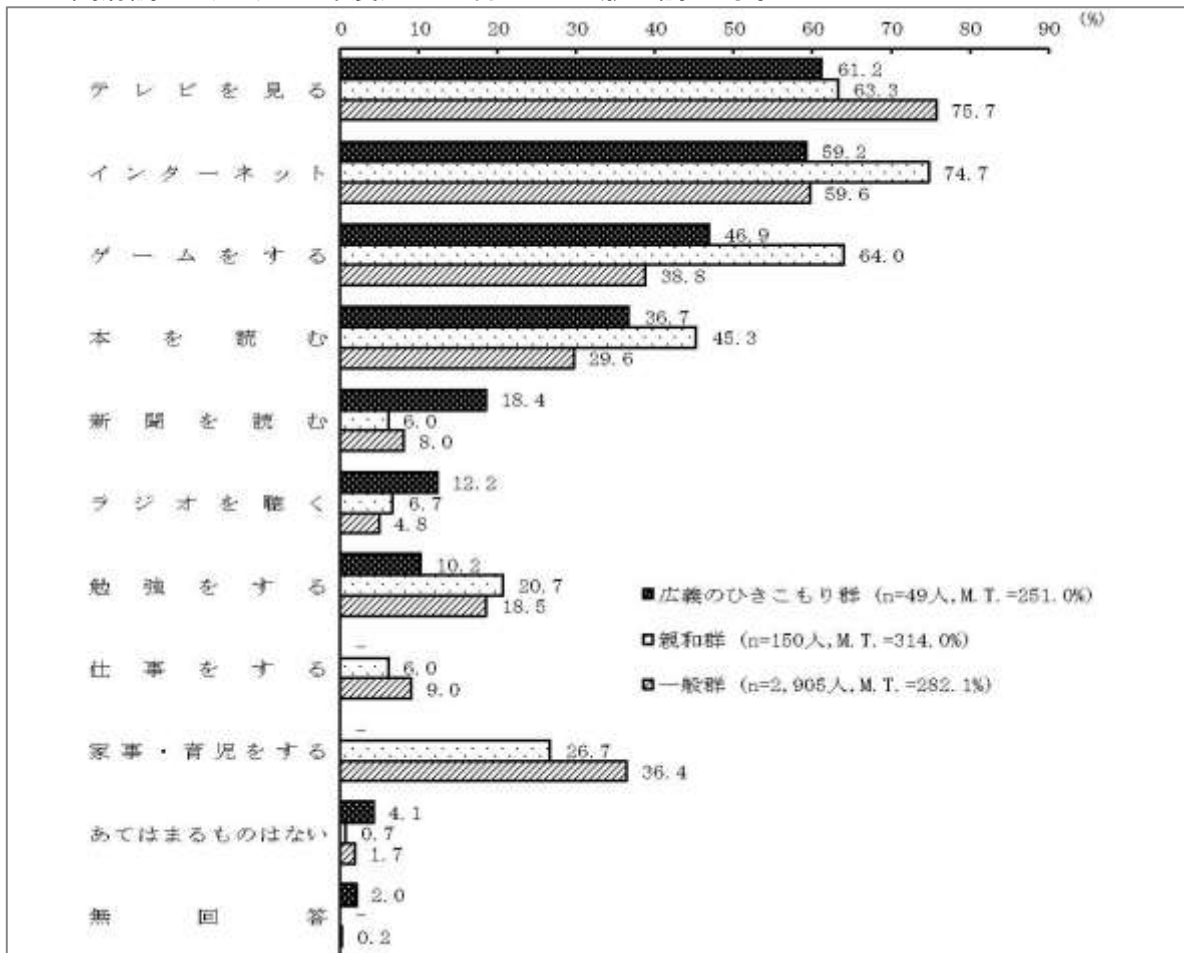
<大田区調査> ※満15～64歳が調査対象



<内閣府調査（平成 30 年度）> ※満 40～64 歳が調査対象



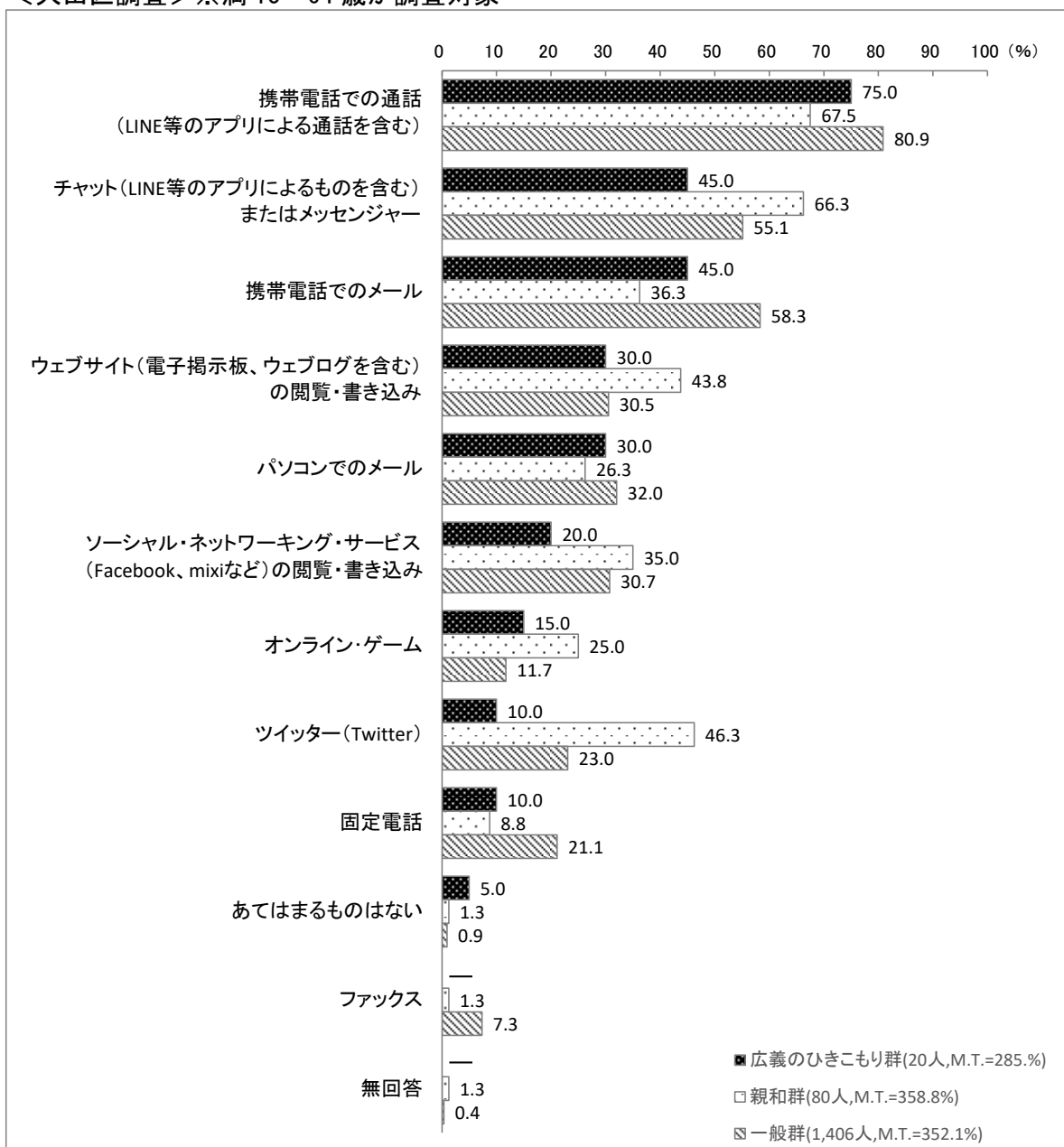
＜内閣府調査（平成 27 年度）＞※満 15～39 歳が調査対象



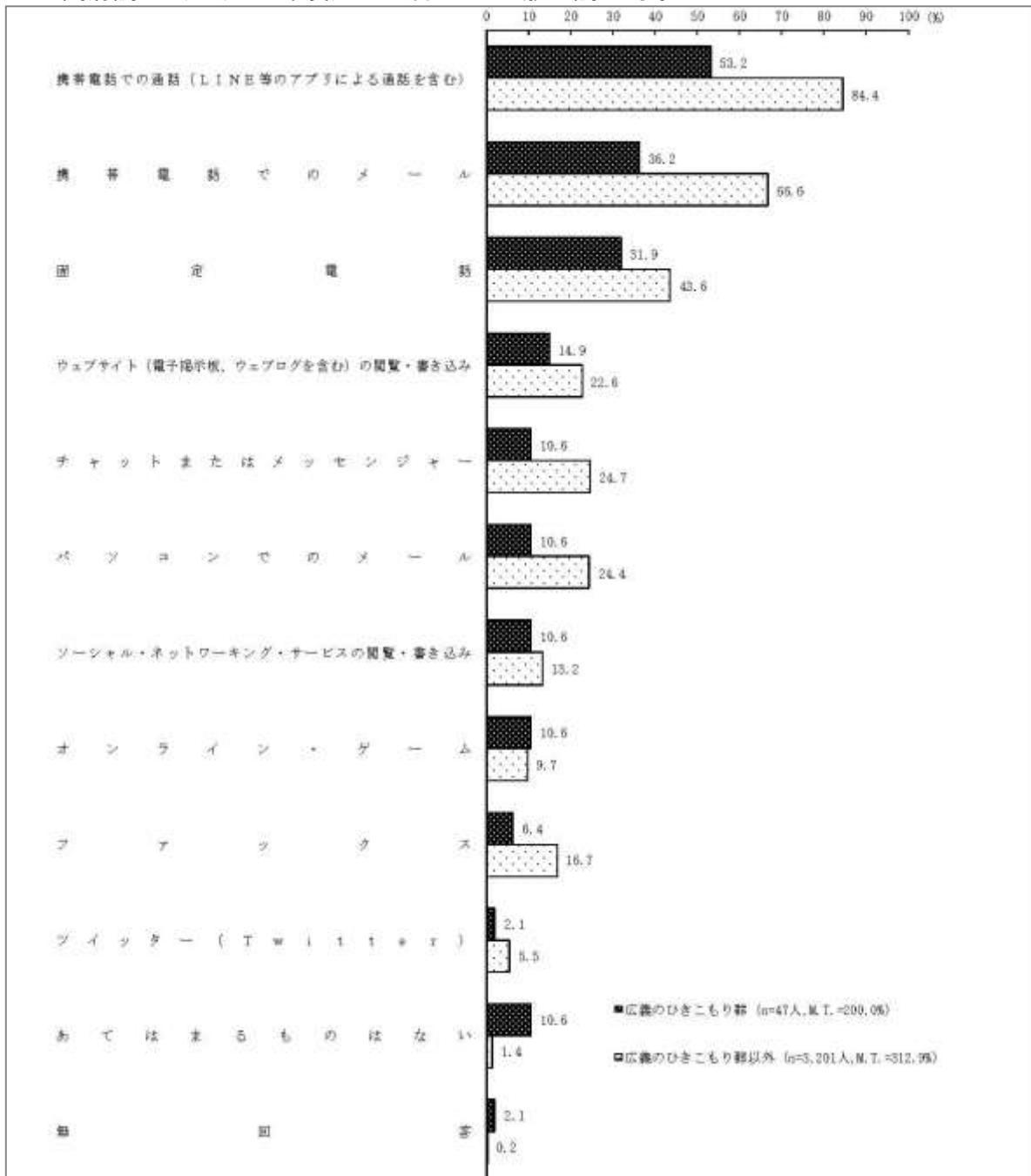
Q20 以下に挙げられた通信手段の中で、ふだん利用しているものすべてに○をつけてください。
(複数回答)

- ・大田区のひきこもり群は「携帯電話での通話(LINE等のアプリによる通話を含む)」が75.0%、「チャット(LINE等のアプリによるものを含む) またはメッセージ」「携帯電話でのメール」がそれぞれ45.0%となっている。
- ・内閣府調査(平成30・27年度)のひきこもり群は「携帯電話での通話(LINE等のアプリによる通話を含む)」「携帯電話でのメール」の回答が上位となっている。
- ・大田区では、内閣府調査(平成30・27年度)と同様の傾向にあり、携帯電話やSNSなどのインターネットを用いた通信手段を使用するとの回答が多い。

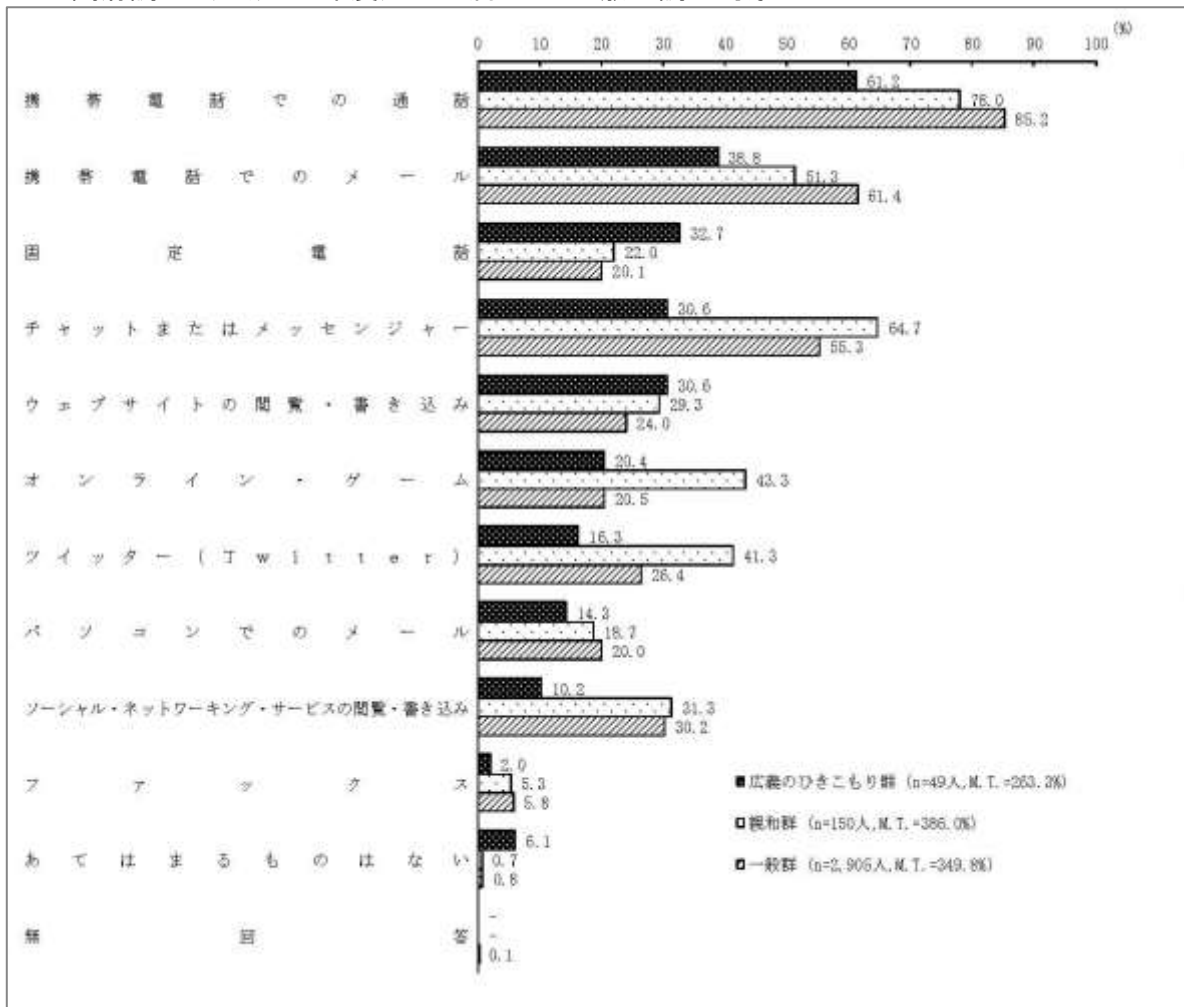
<大田区調査> ※満15~64歳が調査対象



<内閣府調査（平成30年度）> ※満40～64歳が調査対象



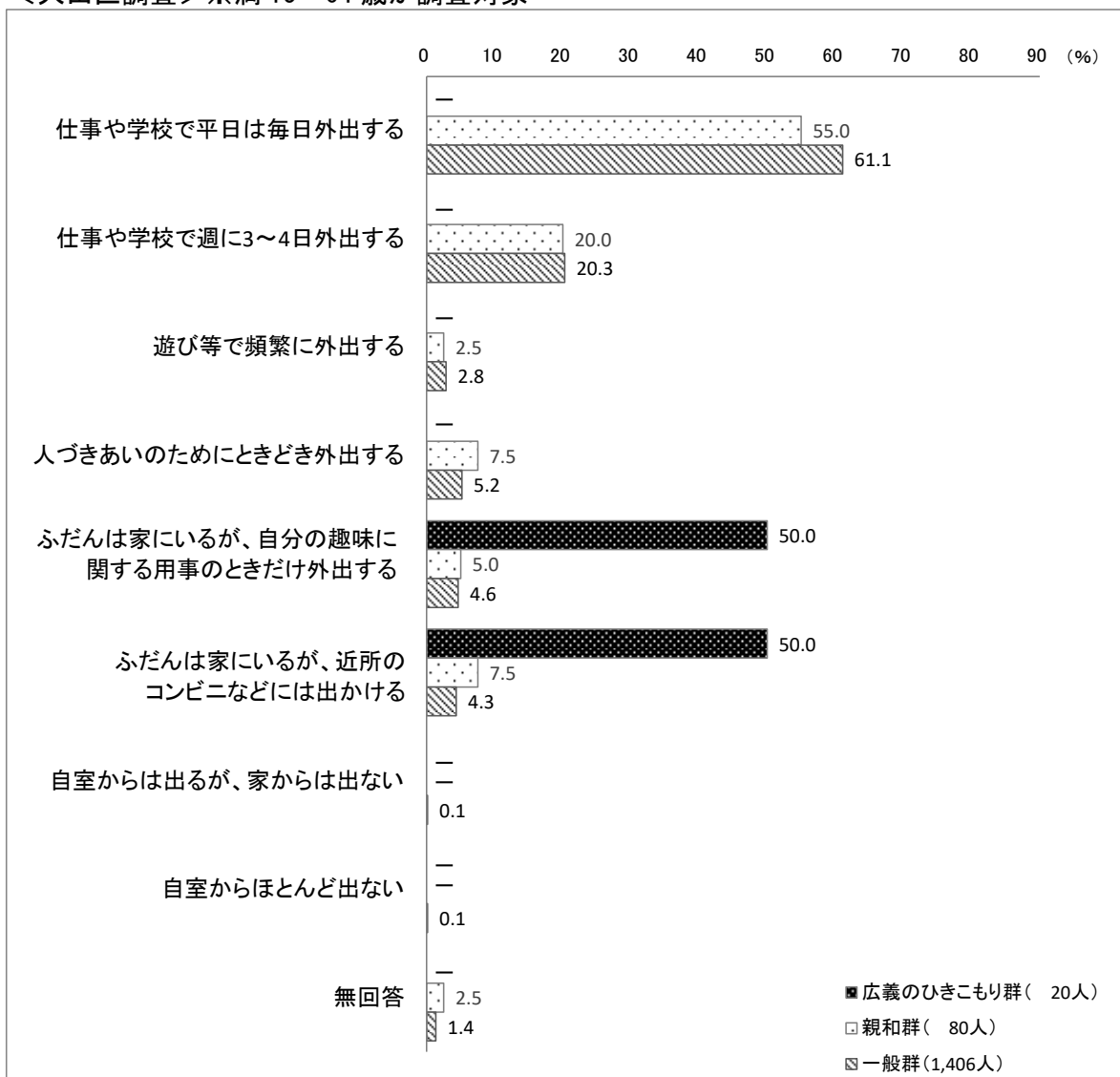
<内閣府調査（平成27年度）> ※満15～39歳が調査対象



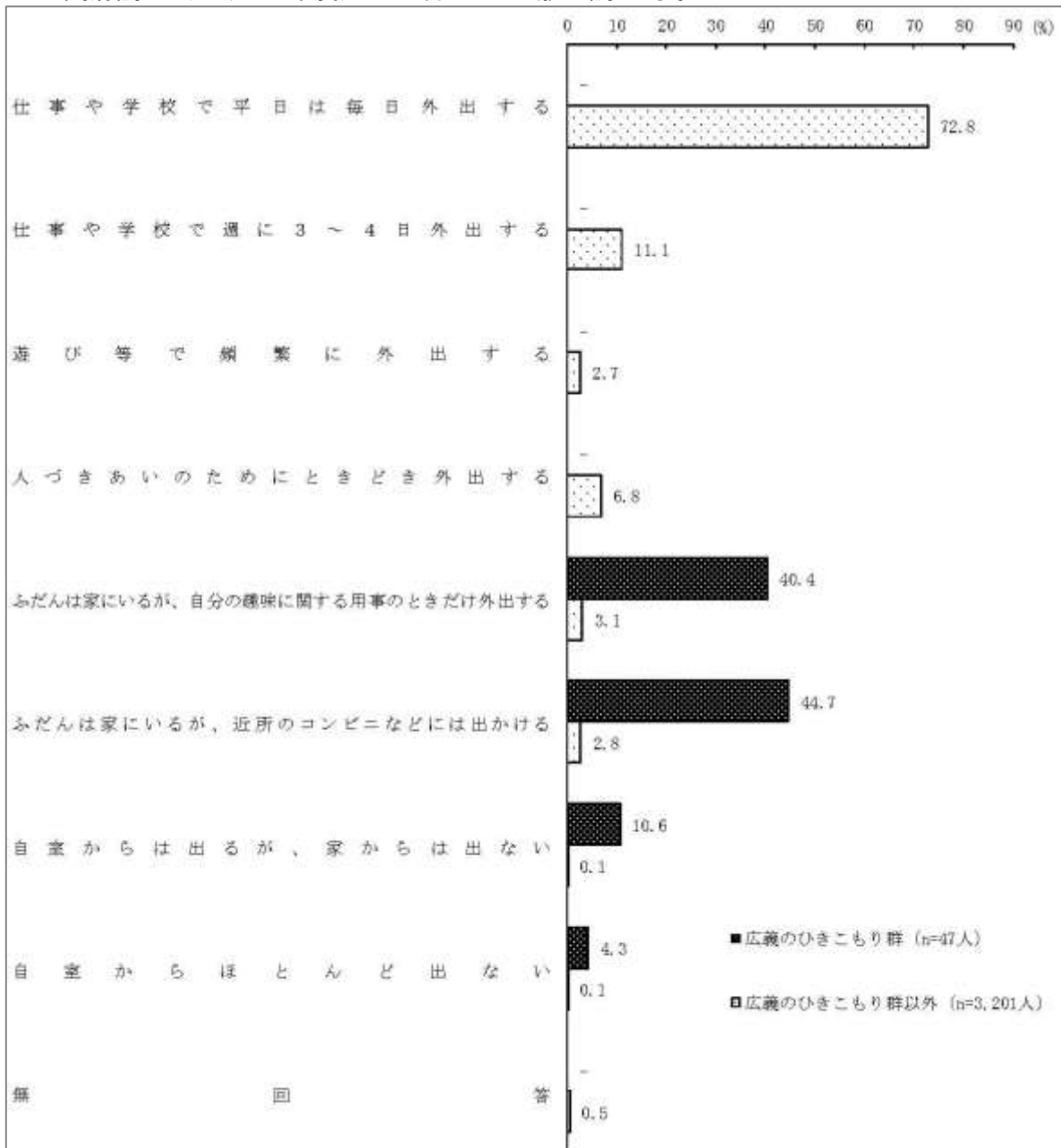
Q 2 1 ふだんどのくらい外出しますか。(単一回答)

- ・大田区のひきこもり群は「ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事的时候だけ外出する」「ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける」がいずれも 50.0%となっている。
- ・内閣府調査（平成 30・27 年度）のひきこもり群は「ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事的时候だけ外出する」「ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける」の割合が高い。
- ・大田区では、内閣府調査（平成 30・27 年度）と同様の傾向にあるが、自室もしくは自宅から出ないとの回答はみられない。

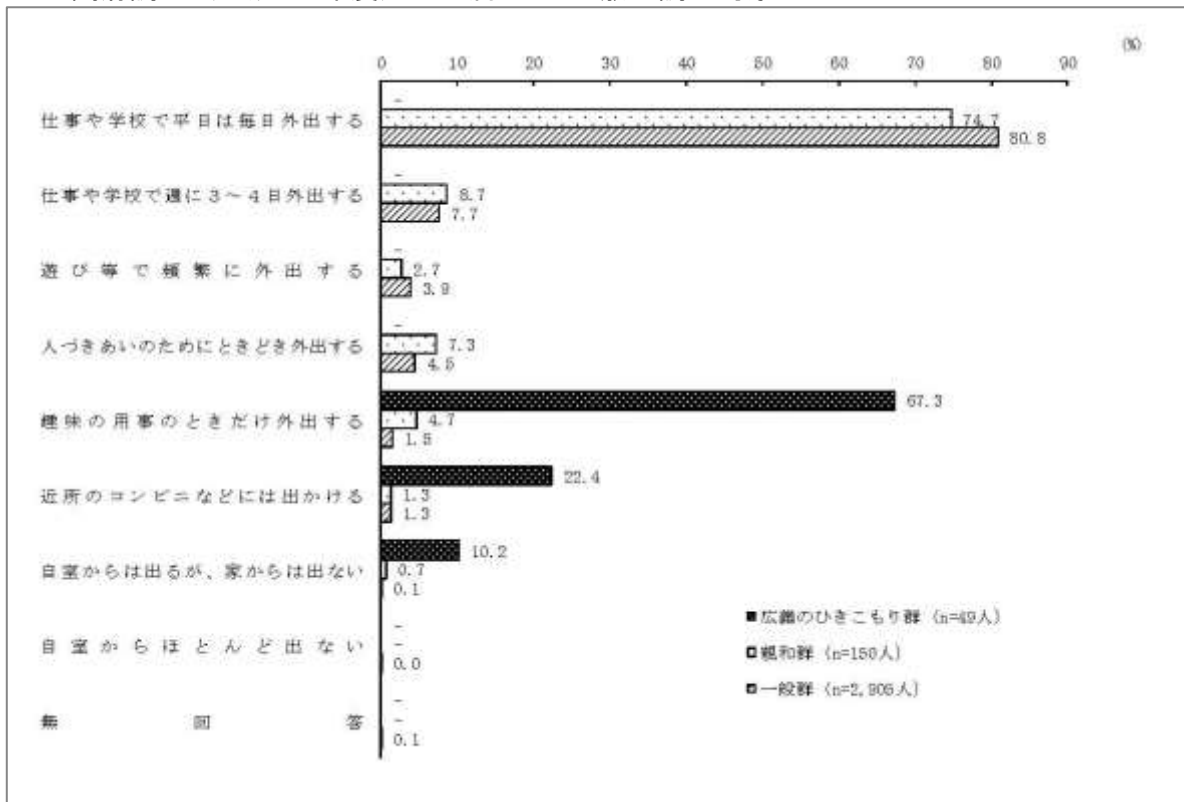
<大田区調査> ※満 15～64 歳が調査対象



<内閣府調査（平成30年度）> ※満40～64歳が調査対象



<内閣府調査（平成27年度）> ※満15～39歳が調査対象

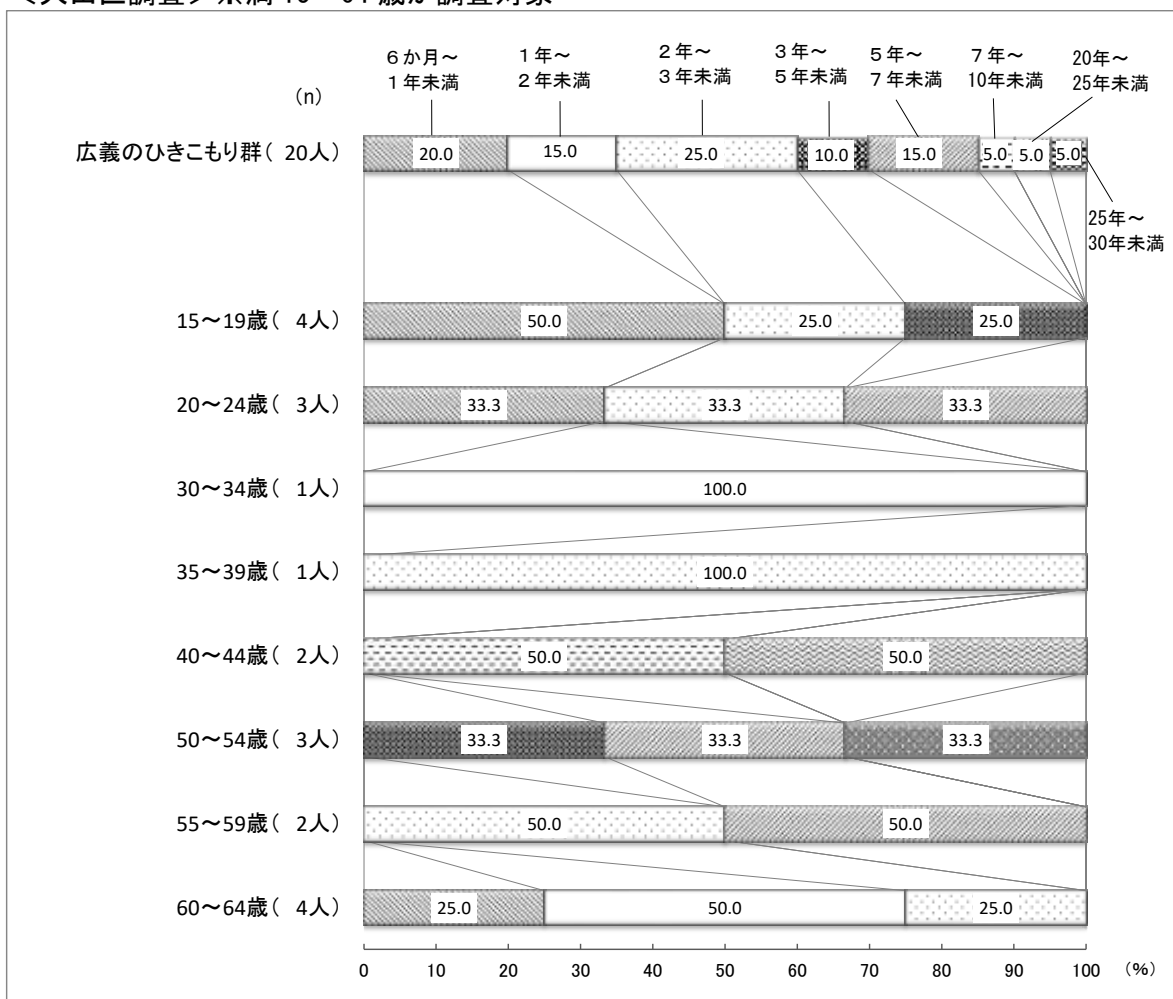


Q 2 2 現在の状態となってどのくらい経ちますか。(単一回答)

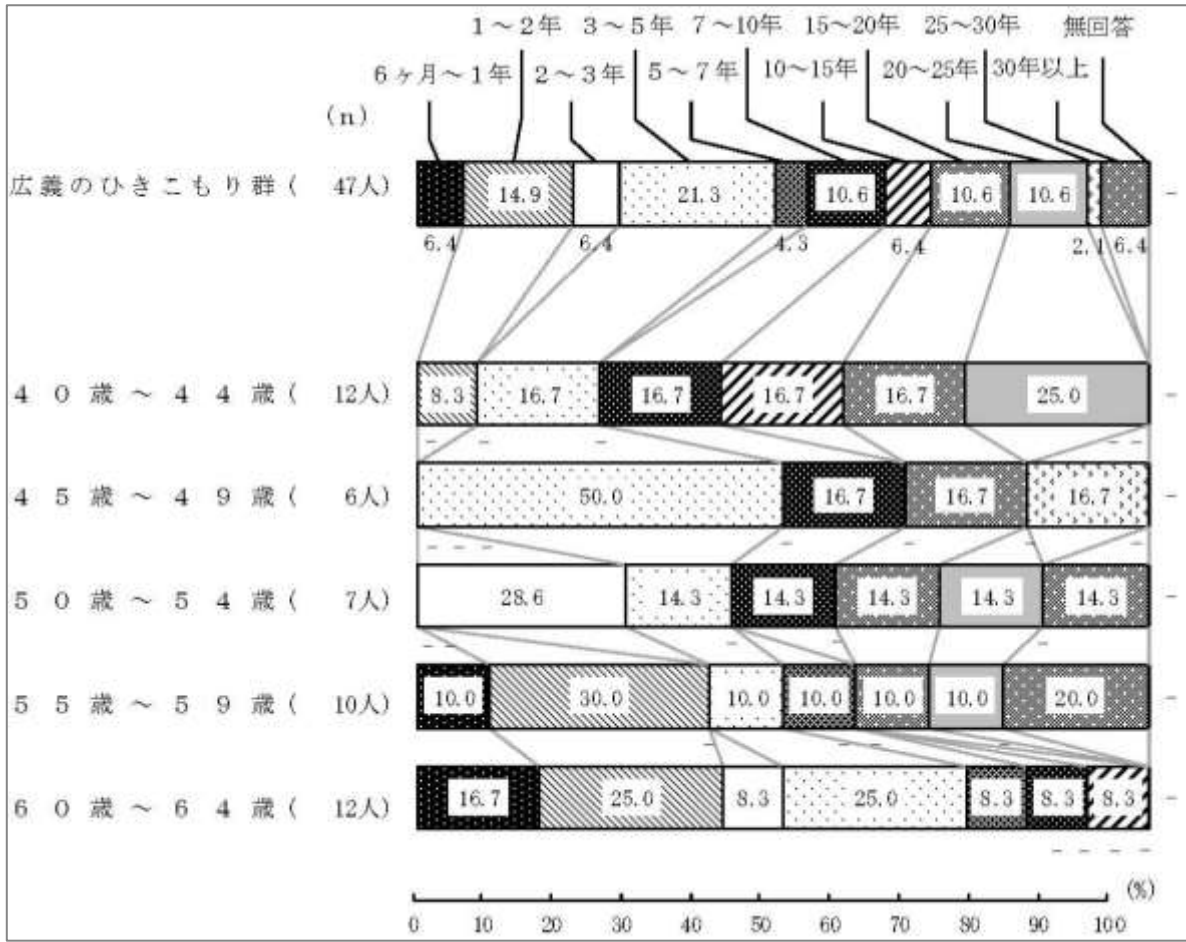
※Q 2 1 ふだんの外出状況に関する設問で「5～8」の趣味や近所への外出又は家から出ないと選択した方のみ回答

- 大田区のひきこもり群は「2年～3年未満」が25.0%、「6か月～1年未満」が20.0%となっている。
- 内閣府調査（平成30年度）のひきこもり群は「3～5年未満」の割合が高く、内閣府調査（平成27年度）では「7年以上」の割合が高い。
- 大田区では、「3年未満」が6割を占めており、内閣府調査（平成30・27年度）と比べて現在の状態となった期間が短い傾向にある。

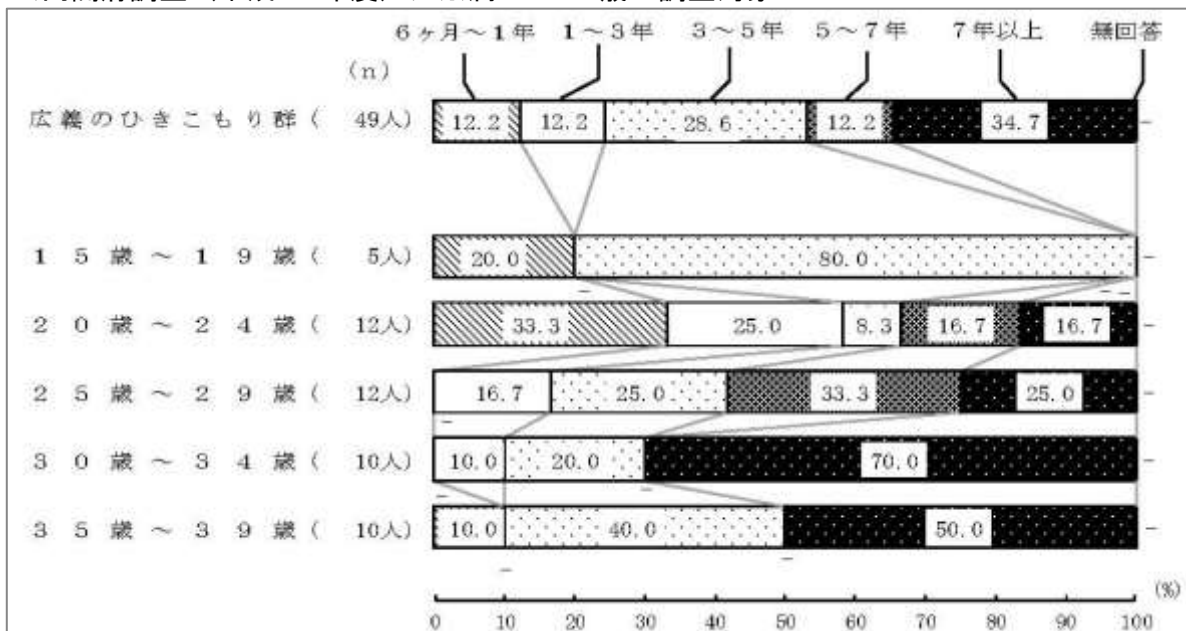
＜大田区調査＞※満15～64歳が調査対象



<内閣府調査（平成 30 年度）> ※満 40～64 歳が調査対象



<内閣府調査（平成 27 年度）> ※満 15～39 歳が調査対象

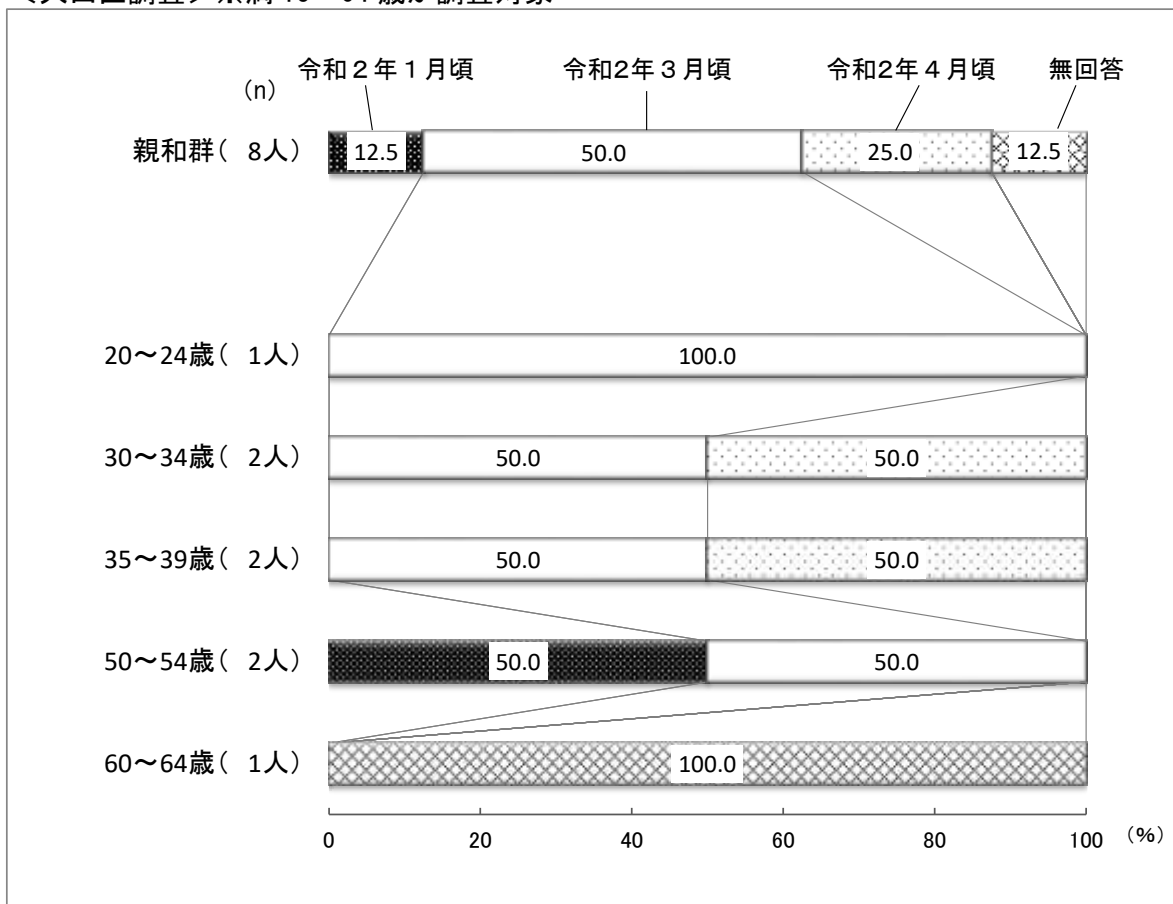


Q 2 3 おおよその時期を記入してください。(数字で具体的に)

※Q 2 1 ふだんの外出状況に関する設問で「5～8」の趣味や近所への外出又は家から出ないと選択した方かつ、Q 2 2 現在の状況になってからの期間に関する設問で「1～2」の6か月未満又は6か月～1年未満と選択した方のみ回答

- 大田区のひきこもり群の回答はなし。
- 親和群は全体では「令和2年3月頃」が50.0%、「令和2年4月頃」が25.0%となっている。これについては、新型コロナウイルスの影響が考えられる。

<大田区調査>※満15～64歳が調査対象

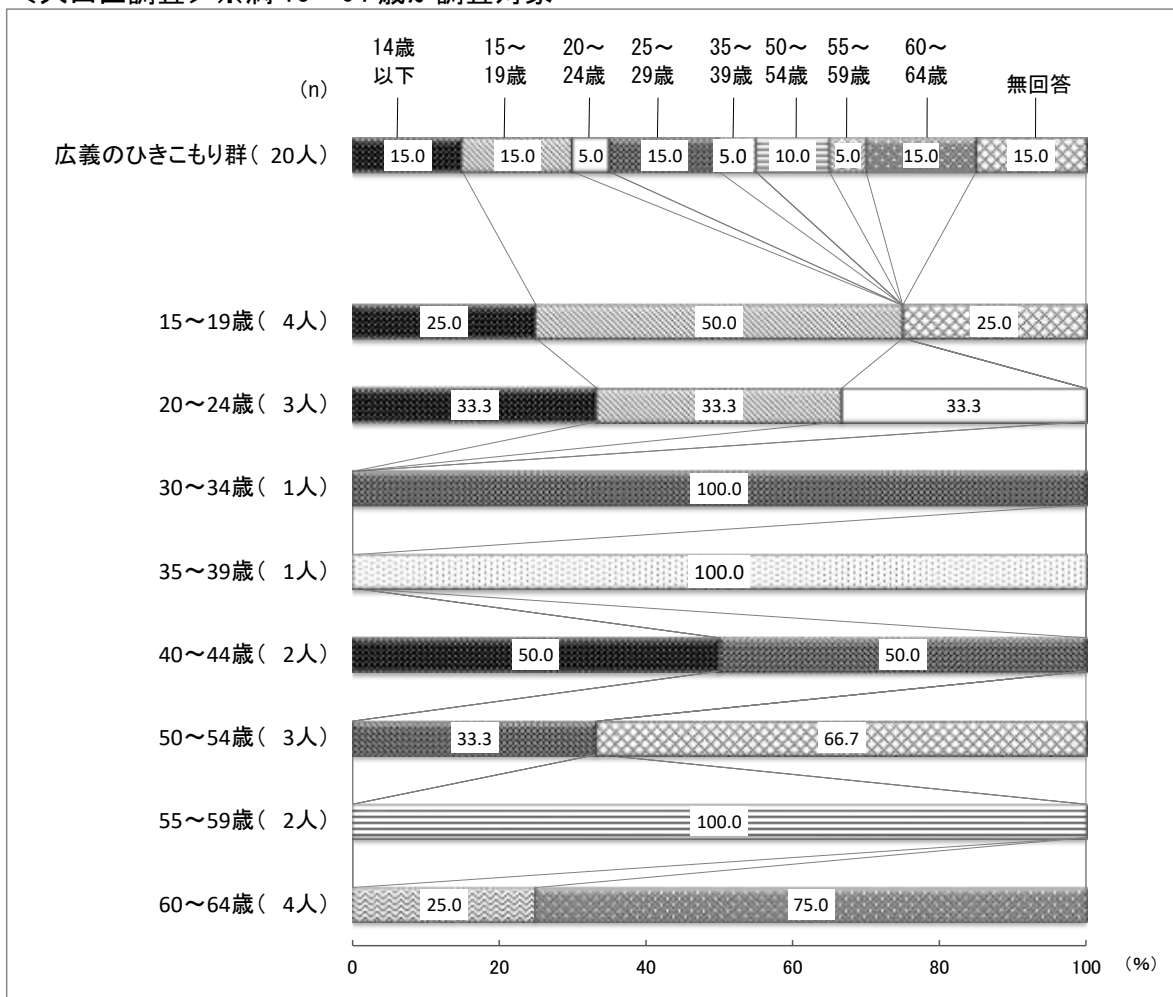


Q 2 4 初めて現在の状態になったのは、あなたが何歳の頃ですか。(数字で具体的に)

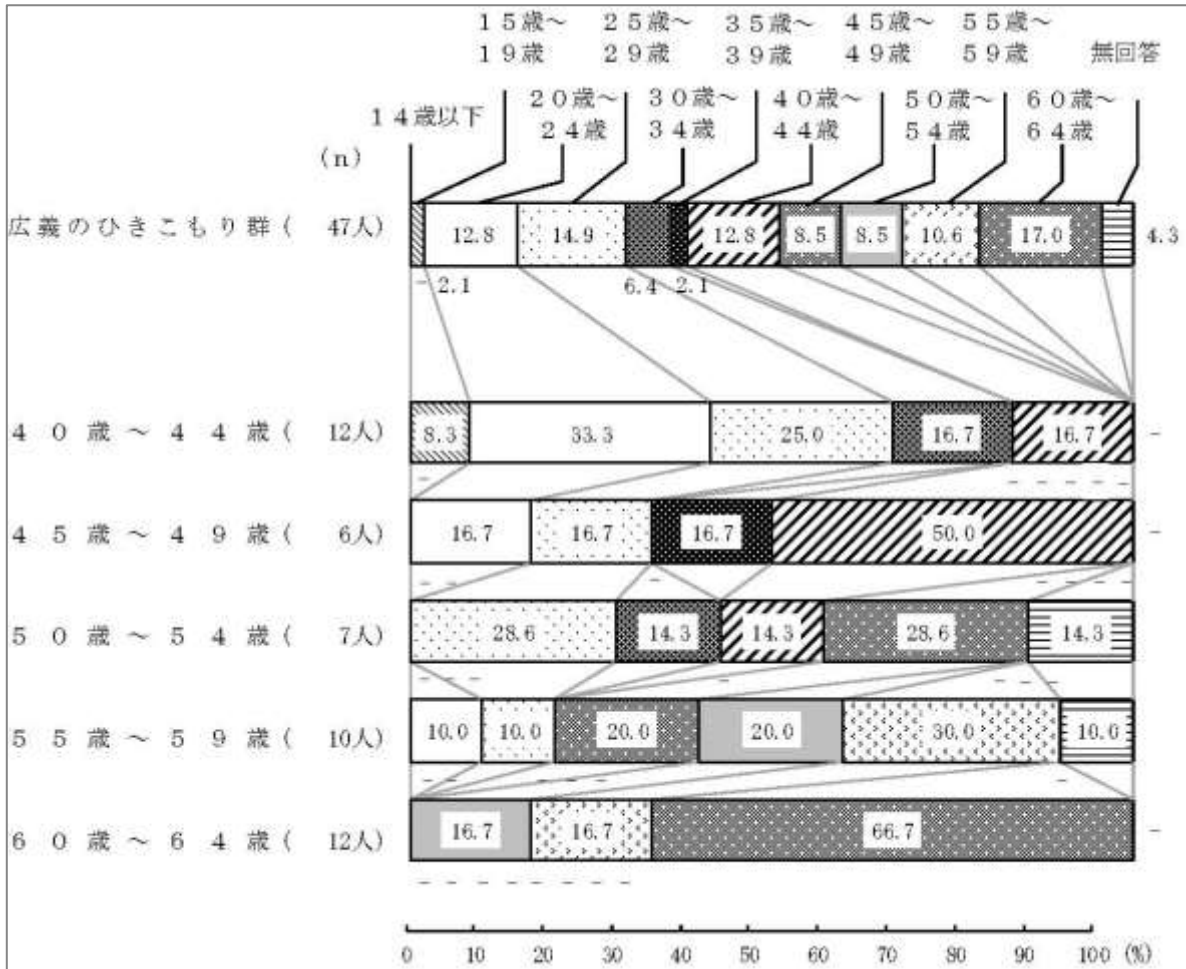
※Q 2 1 ふだんの外出状況に関する設問で「5～8」の趣味や近所への外出又は家から出ないと選択した方のみ回答

- 大田区のひきこもり群は「14歳以下」「15～19歳」「25～29歳」「60～64歳」がそれぞれ15.0%となっている。
- 内閣府調査（平成30年度）のひきこもり群では「60～64歳」が17.0%、「25～29歳」が14.9%、内閣府調査（平成27年度）では「20～24歳」が34.7%、「15～19歳」が30.6%となっている。
- 大田区、内閣府調査（平成30・27年度）ともに現在の状態になった年齢は分散しているが、10～20代との回答が5割を占めており、きっかけが若年の時期にあることがうかがえる。

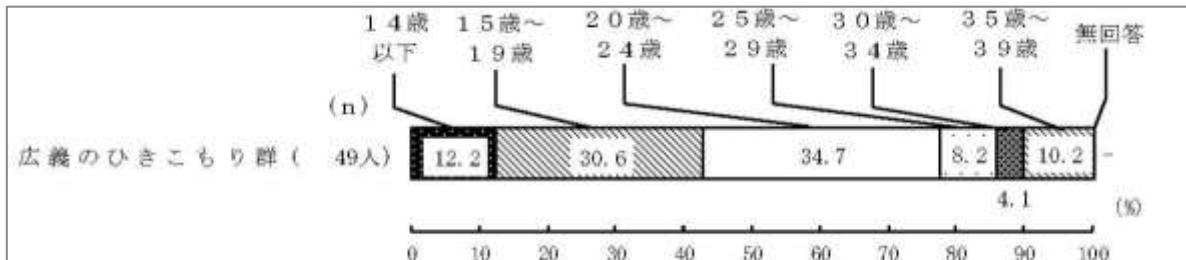
<大田区調査>※満15～64歳が調査対象



<内閣府調査（平成 30 年度）> ※満 40～64 歳が調査対象



<内閣府調査（平成 27 年度）> ※満 15～39 歳が調査対象

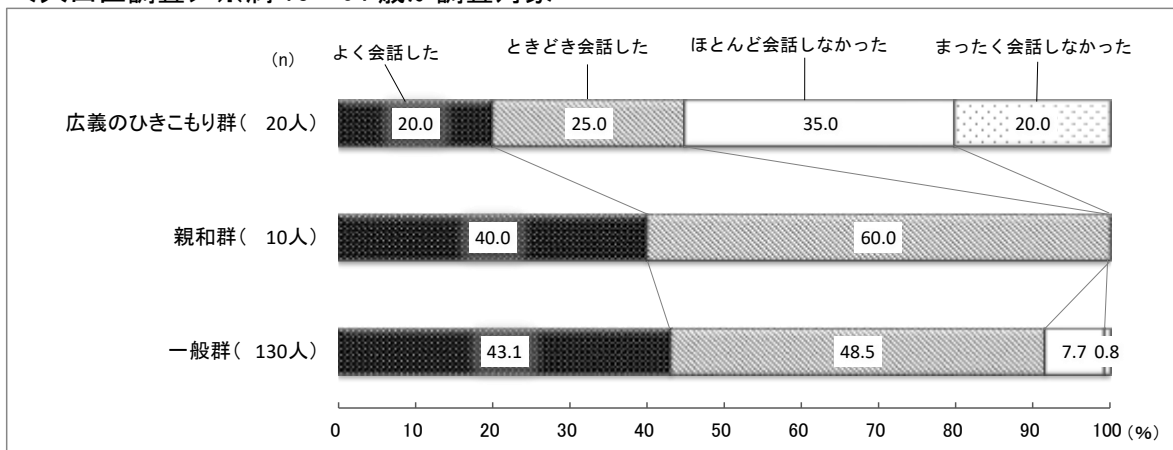


Q 2 5 最近 6 ヶ月間に家族以外の人と会話しましたか。(単一回答)

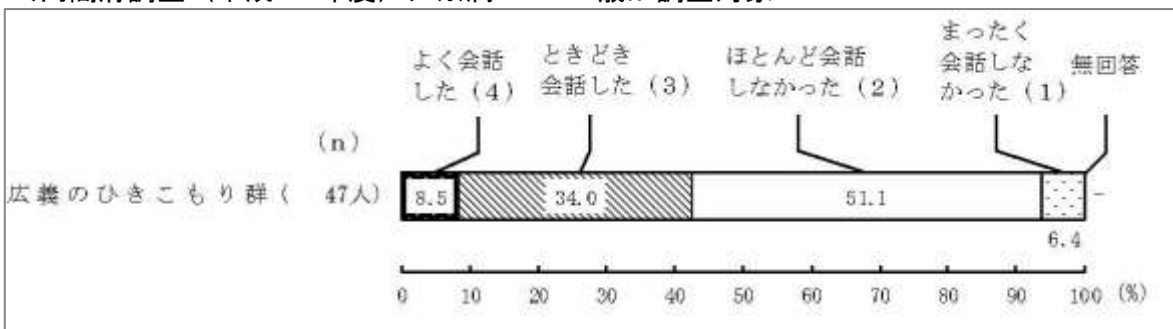
※Q 2 1 ふだんの外出状況に関する設問で「5～8」の趣味や近所への外出又は家から出ないと選択した方のみ回答

- 大田区のひきこもり群は「ほとんど会話しなかった」が 35.0%、「ときどき会話した」が 25.0% となっている。
- 内閣府調査（平成 30 年度）のひきこもり群は「ほとんど会話しなかった」の割合が高い。
- 内閣府調査（平成 30 年度）と同様、4 割以上の方が家族以外の人との交流があり、特に大田区では「よく会話した」の割合が高い。

<大田区調査>※満 15～64 歳が調査対象



<内閣府調査（平成 30 年度）>※満 40～64 歳が調査対象



<内閣府調査（平成 27 年度）>※満 15～39 歳が調査対象

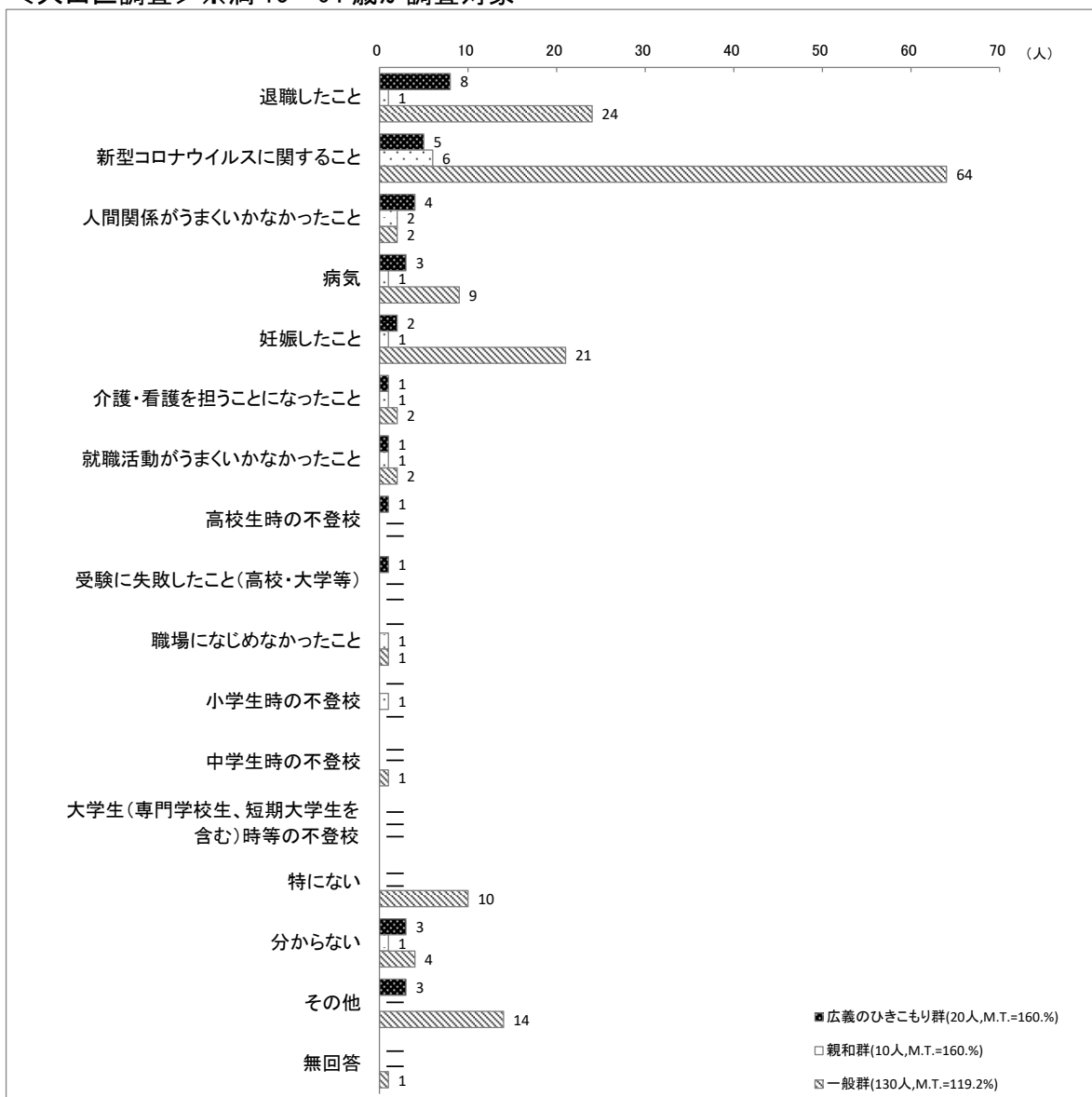
設問なし

Q 2 6 現在の状態になったきっかけは何ですか。(複数回答)

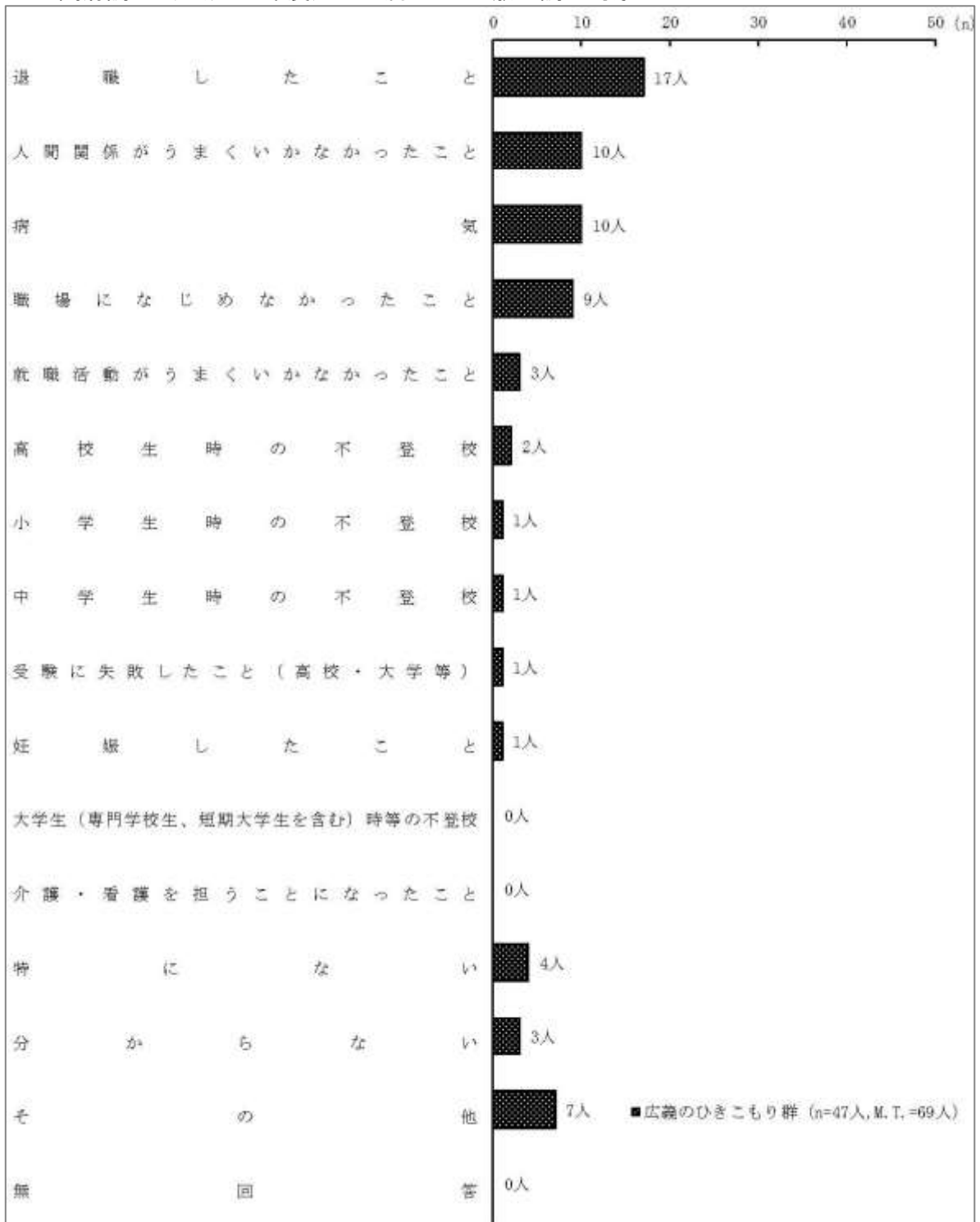
※Q 2 1 ふだんの外出状況に関する設問で「5～8」の趣味や近所への外出又は家から出ないと選択した方のみ回答

- 大田区のひきこもり群は「退職したこと」が最も多い。
- 内閣府調査（平成 30 年度）のひきこもり群は「退職したこと」が、内閣府調査（平成 2 7 年度）では「不登校（小学校・中学校・高校）」「職場になじめなかった」が多い。
- 大田区では、内閣府調査（平成 30 年度）と同様の傾向にある。

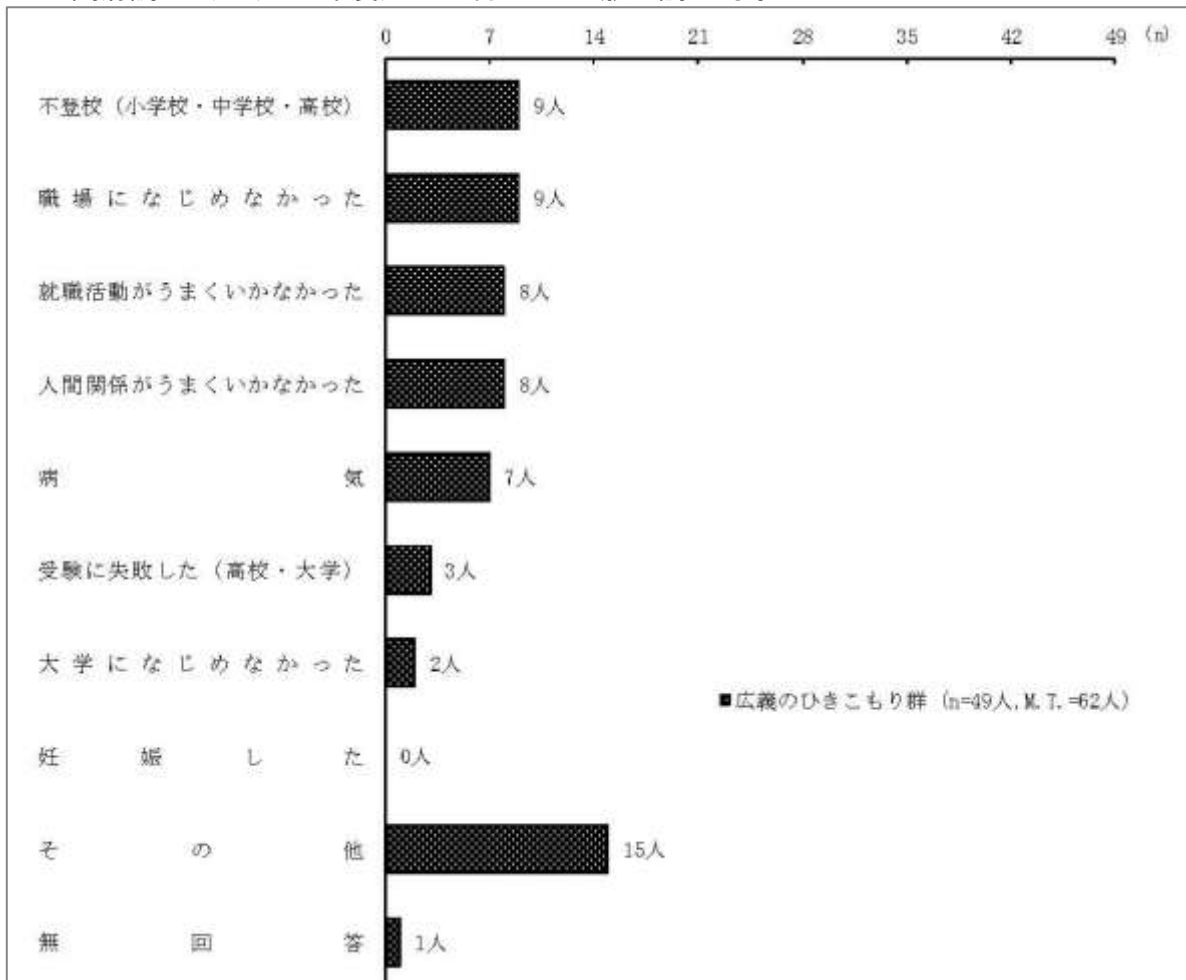
＜大田区調査＞※満 15～64 歳が調査対象



<内閣府調査（平成30年度）> ※満40～64歳が調査対象



<内閣府調査（平成 27 年度）> ※満 15～39 歳が調査対象

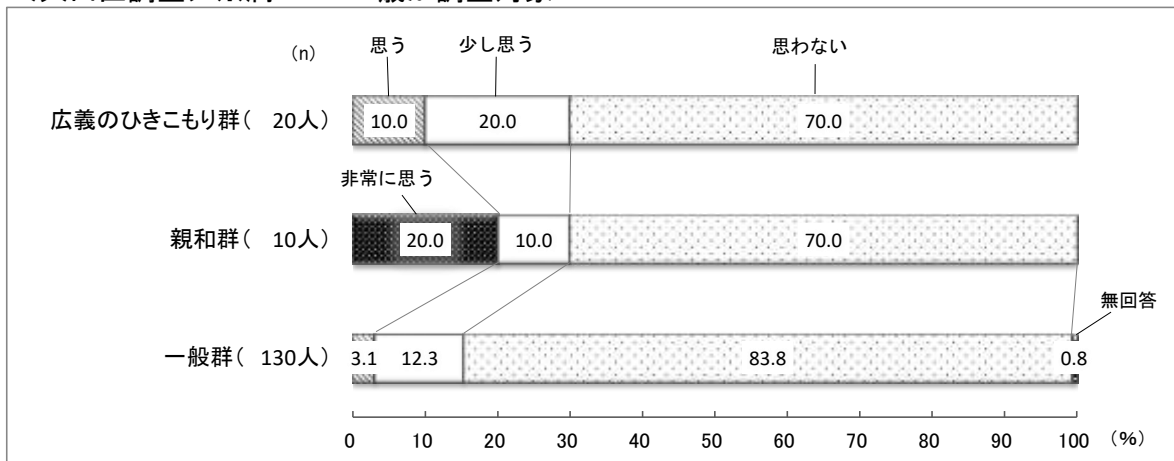


Q 2 7 現在の状態について、関係機関に相談したいと思いませんか。(単一回答)

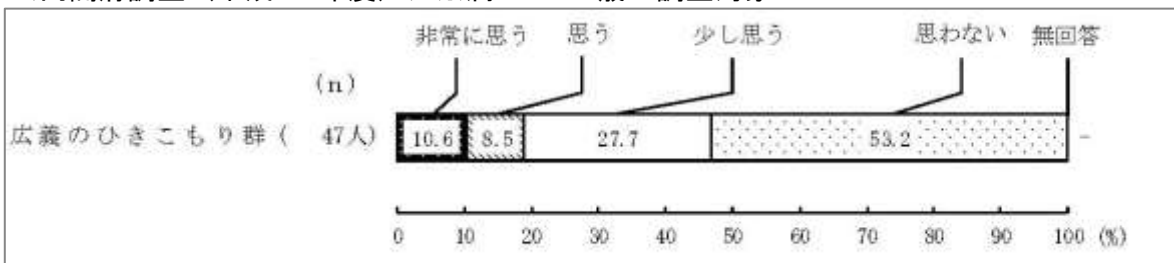
※Q 2 1 ふだんの外出状況に関する設問で「5～8」の趣味や近所への外出又は家から出ないと選択した方のみ回答

- 大田区のひきこもり群は「思わない」が70.0%となっている。
- 内閣府調査（平成30・27年度）のひきこもり群は「思わない」の割合が高い。
- 大田区では、内閣府調査（平成30・27年度）と同様の傾向にあるが、「思う」「少し思う」を合わせて3割の方が相談を希望している。

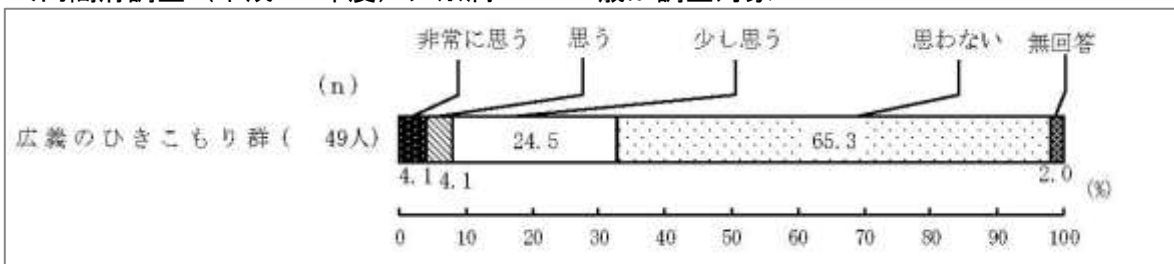
＜大田区調査＞※満15～64歳が調査対象



＜内閣府調査（平成30年度）＞※満40～64歳が調査対象



＜内閣府調査（平成27年度）＞※満15～39歳が調査対象

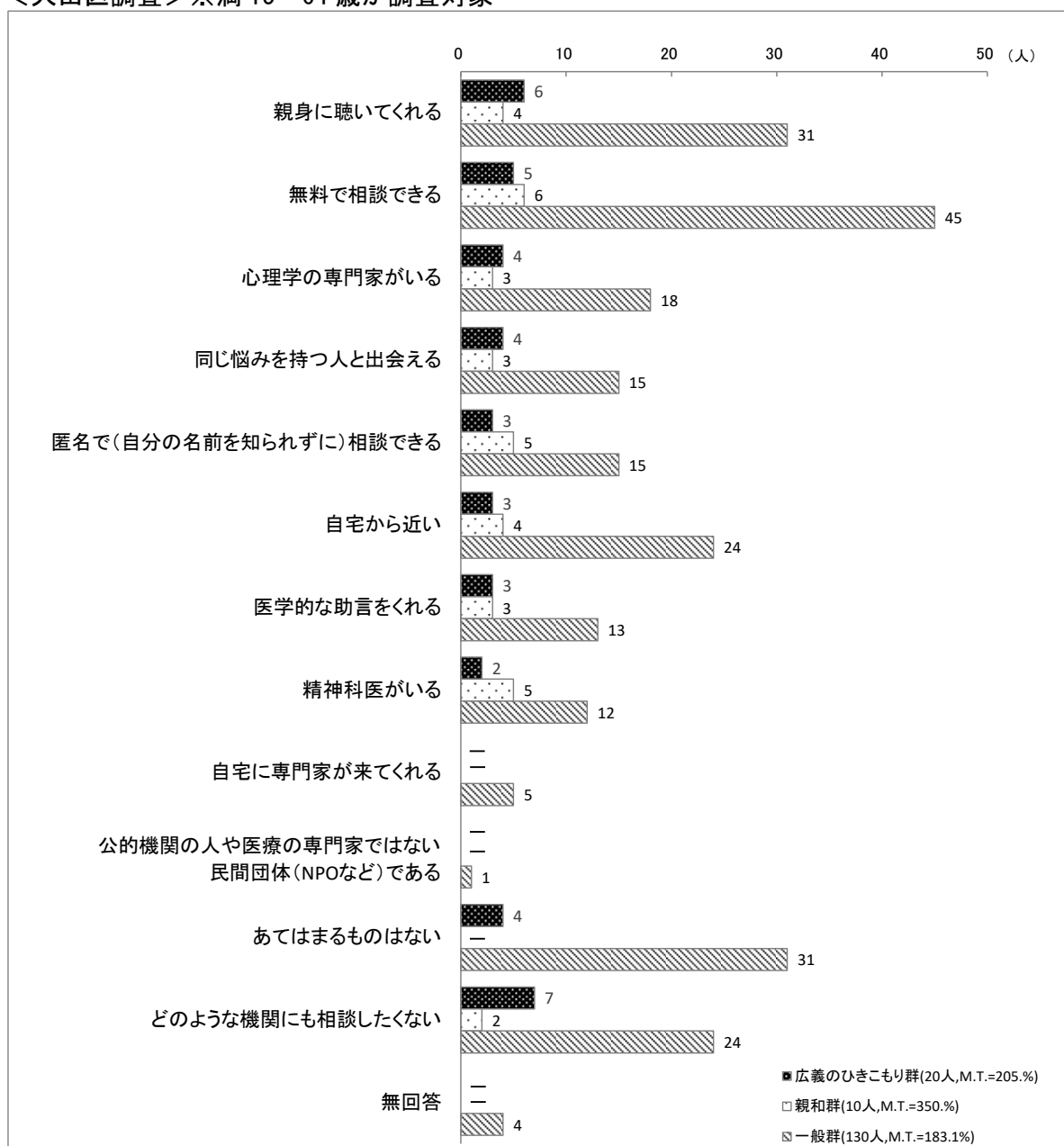


Q 2 8 現在の状態について、関係機関に相談するとすれば、どのような機関なら、相談したいと思いますか。(複数回答)

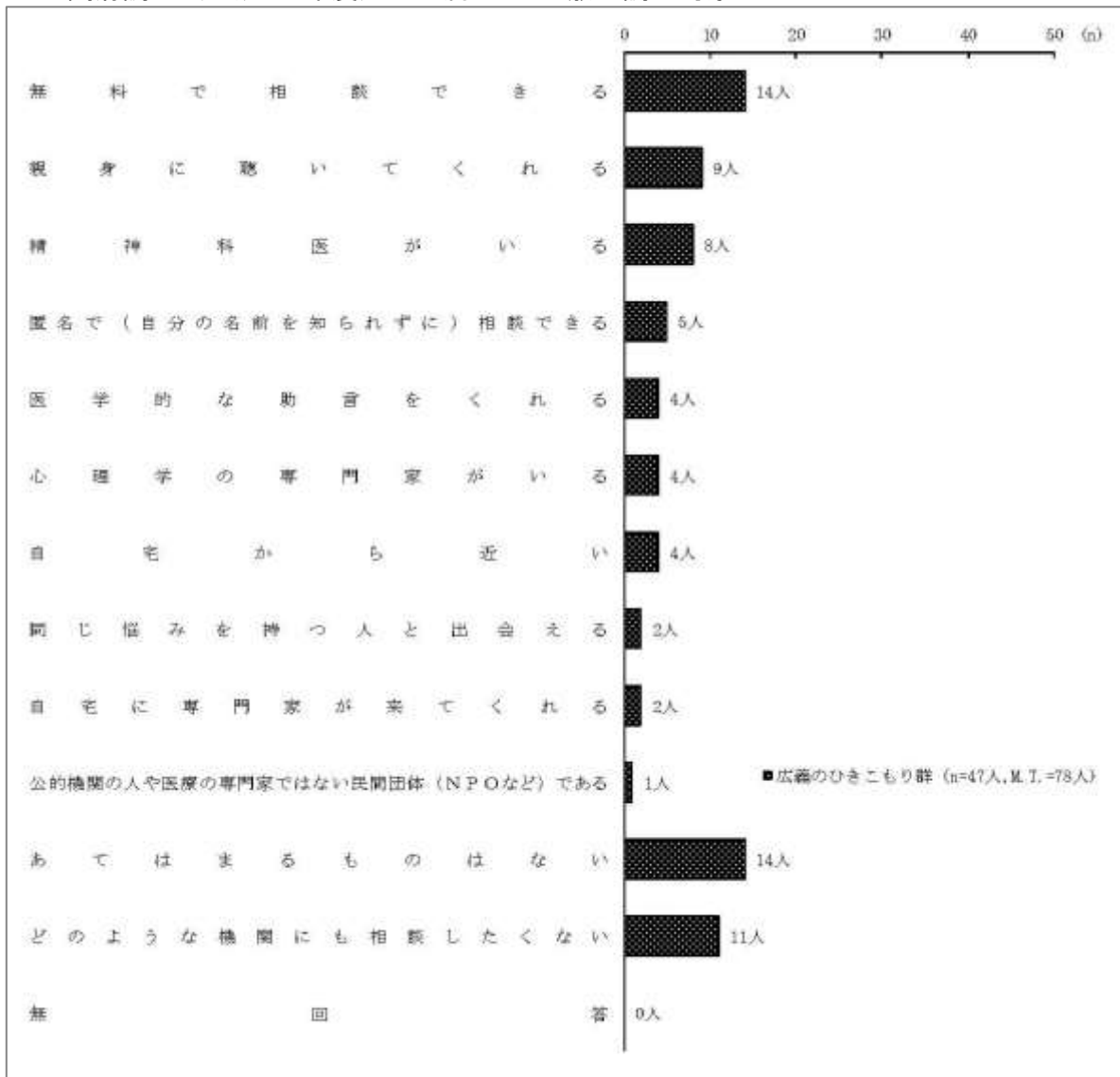
※Q 2 1 ふだんの外出状況に関する設問で「5～8」の趣味や近所への外出又は家から出ないと選択した方のみ回答

- ・大田区のひきこもり群は「親身に聴いてくれる」「無料で相談できる」の順に回答が多い。
- ・内閣府調査（平成 30・27 年度）のひきこもり群は「無料で相談できる」「親身に聴いてくれる」が上位となっている。
- ・大田区では、内閣府調査（平成 30・27 年度）と同様に「親身に聴いてくれる」「無料で相談できる」の回答が上位にみられ、気兼ねなく相談できる場を求めていることがうかがえる。

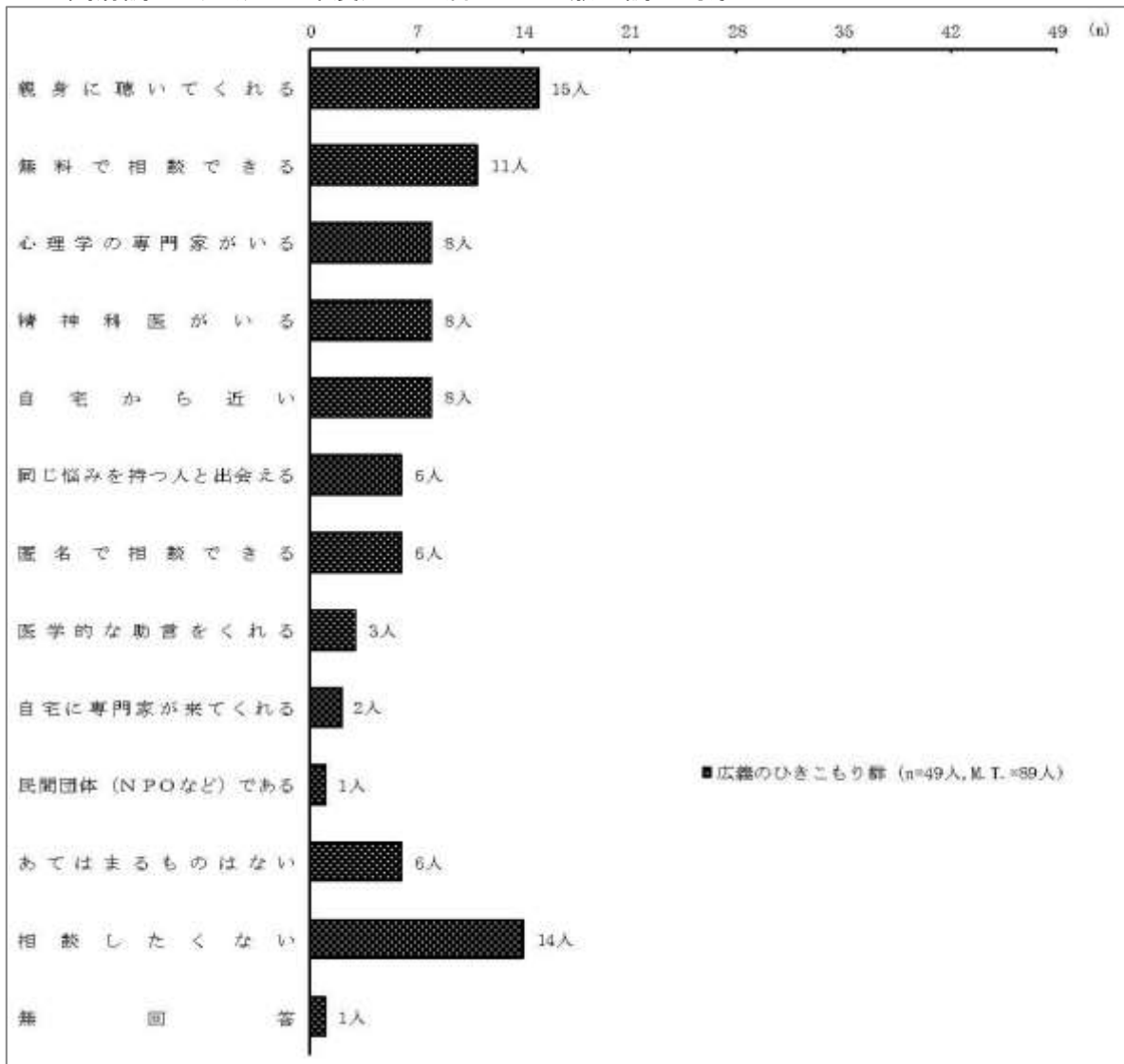
<大田区調査>※満 15～64 歳が調査対象



<内閣府調査（平成30年度）> ※満40～64歳が調査対象



<内閣府調査（平成 27 年度）> ※満 15～39 歳が調査対象

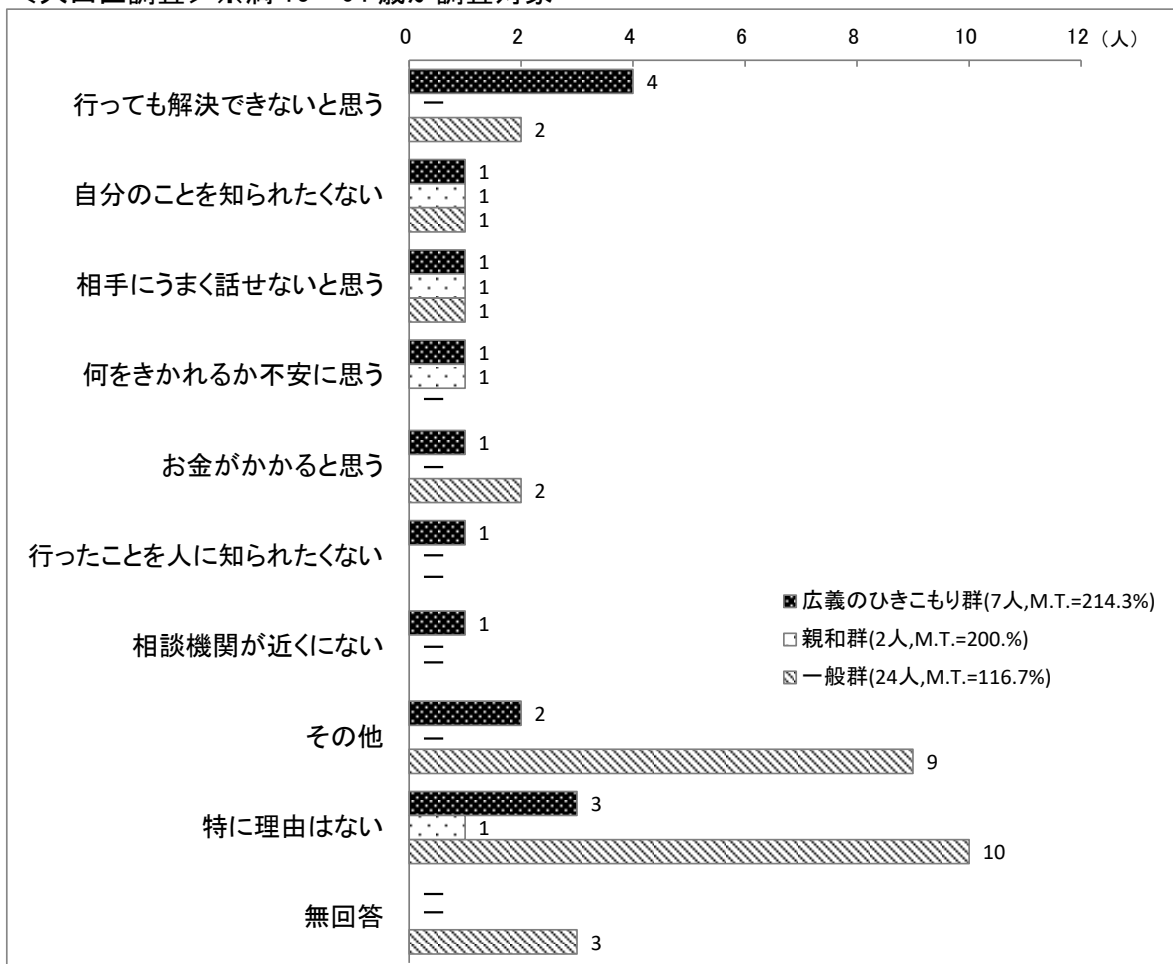


Q 2 9 相談したくないと思う理由は何ですか。(複数回答)

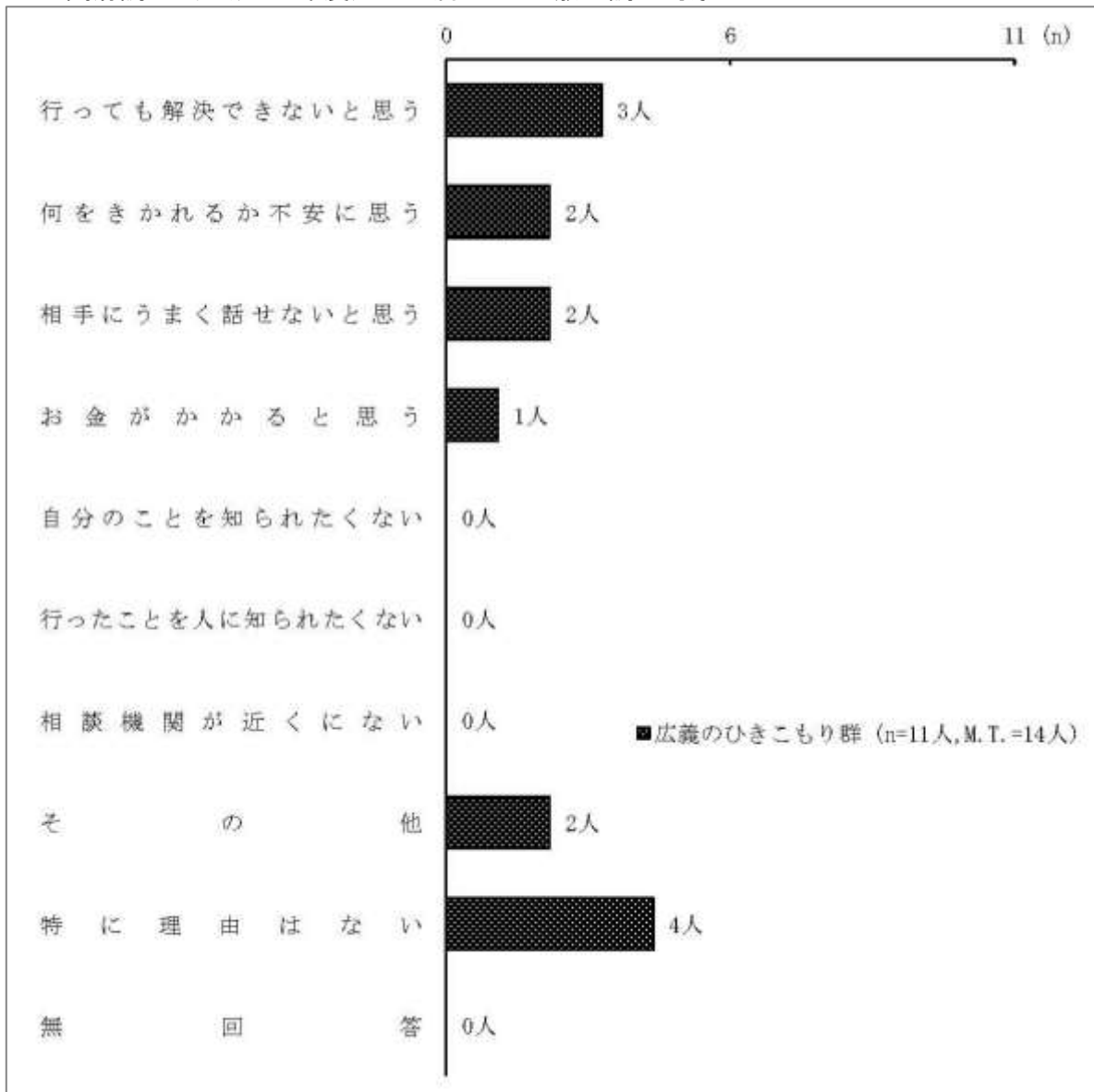
※Q 2 1 ふだんの外出状況に関する設問で「5～8」の趣味や近所への外出又は家から出ないと選択した方かつ、Q 2 8 現在の状態について、どのような関係機関に相談したいかという設問で「12」のどのような機関にも相談したくないと選択した方のみ回答

- 大田区のひきこもり群は「行っても解決できないと思う」が最も多いが、「相手にうまく話せないと思う」「何をきかれるか不安に思う」との回答もみられる。
- 内閣府調査（平成 30 年度）のひきこもり群は「行っても解決できないと思う」が、内閣府調査（平成 27 年度）では「相手にうまく話せないと思う」が最も多い。
- 大田区では、内閣府調査（平成 30 年度）と同様の傾向にあり、相談への不安に関する回答をする方もおり、安心して相談できる場所や方法を求めていることがうかがえる。

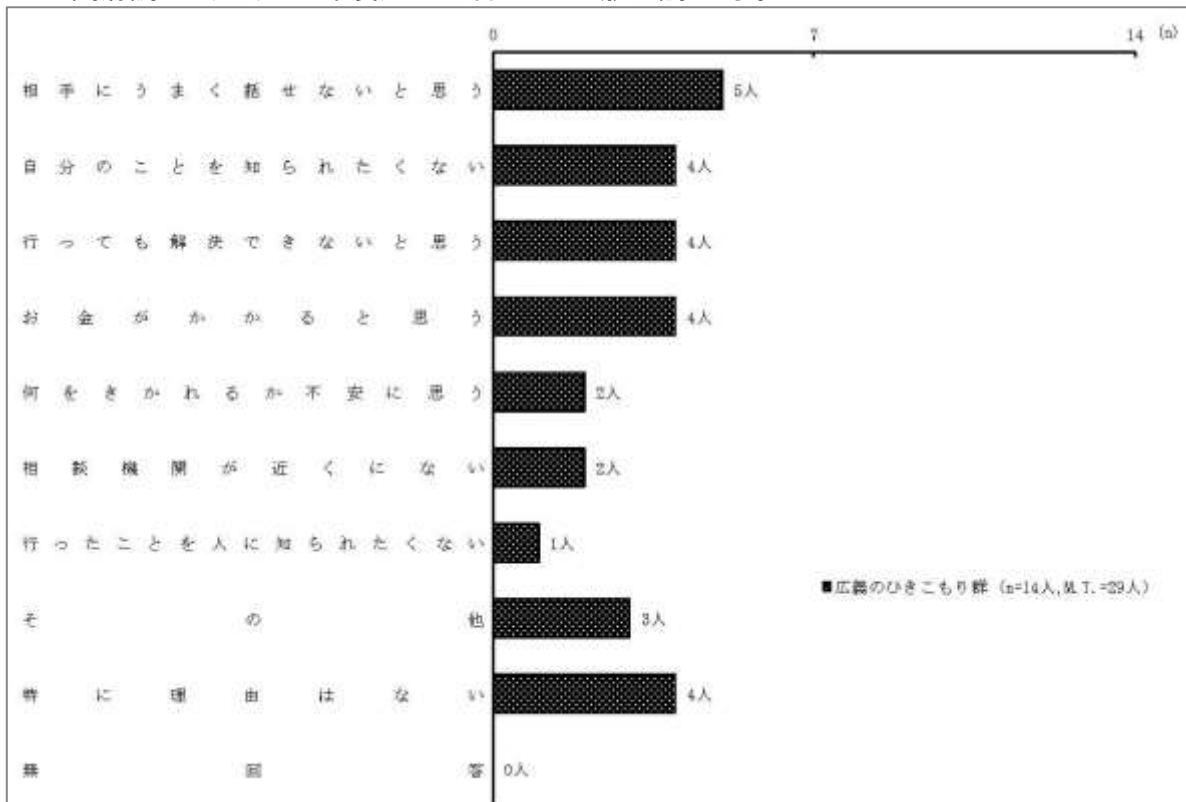
<大田区調査>※満 15～64 歳が調査対象



<内閣府調査（平成30年度）> ※満40～64歳が調査対象



<内閣府調査（平成 27 年度）> ※満 15～39 歳が調査対象

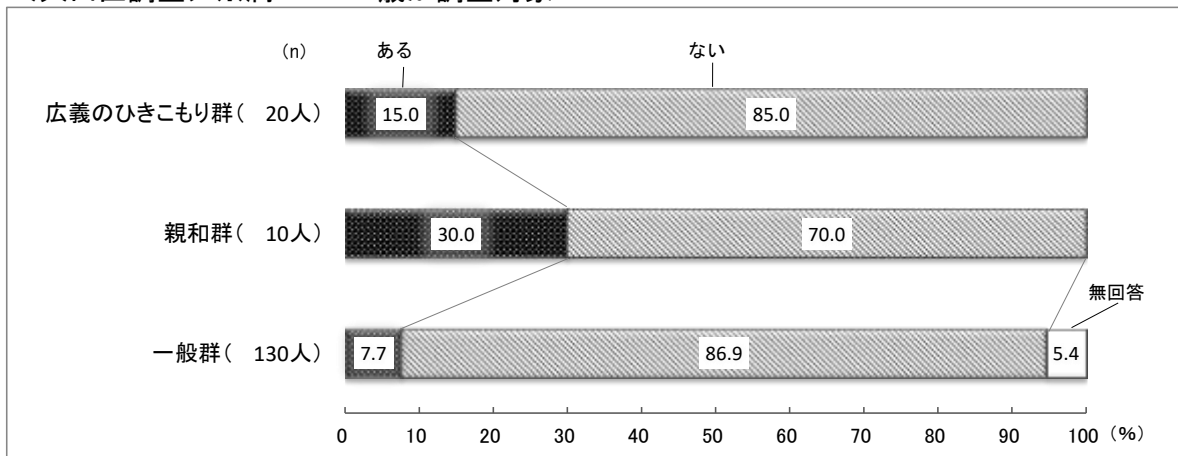


Q30 現在の状態について、関係機関に相談したことはありますか。(単一回答)

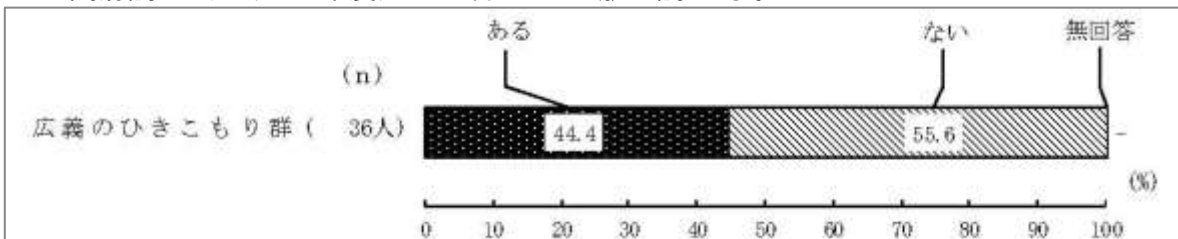
※Q21ふだんの外出状況に関する設問で「5～8」の趣味や近所への外出又は家から出ないと選択した方のみ回答

- ・大田区のひきこもり群は「ない」が85.0%となっている。
- ・内閣府調査（平成30・27年度）のひきこもり群は「ない」が概ね6割程度となっている。
- ・大田区では、内閣府調査（平成30・27年度）と比べて相談したことがない割合が高いが、一方、「ある」との回答もあり、当事者の状況によって相談につながっていることがうかがえる。

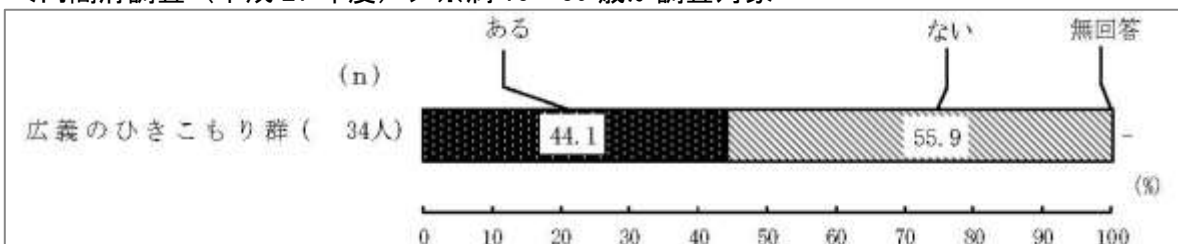
＜大田区調査＞※満15～64歳が調査対象



＜内閣府調査（平成30年度）＞※満40～64歳が調査対象



＜内閣府調査（平成27年度）＞※満15～39歳が調査対象

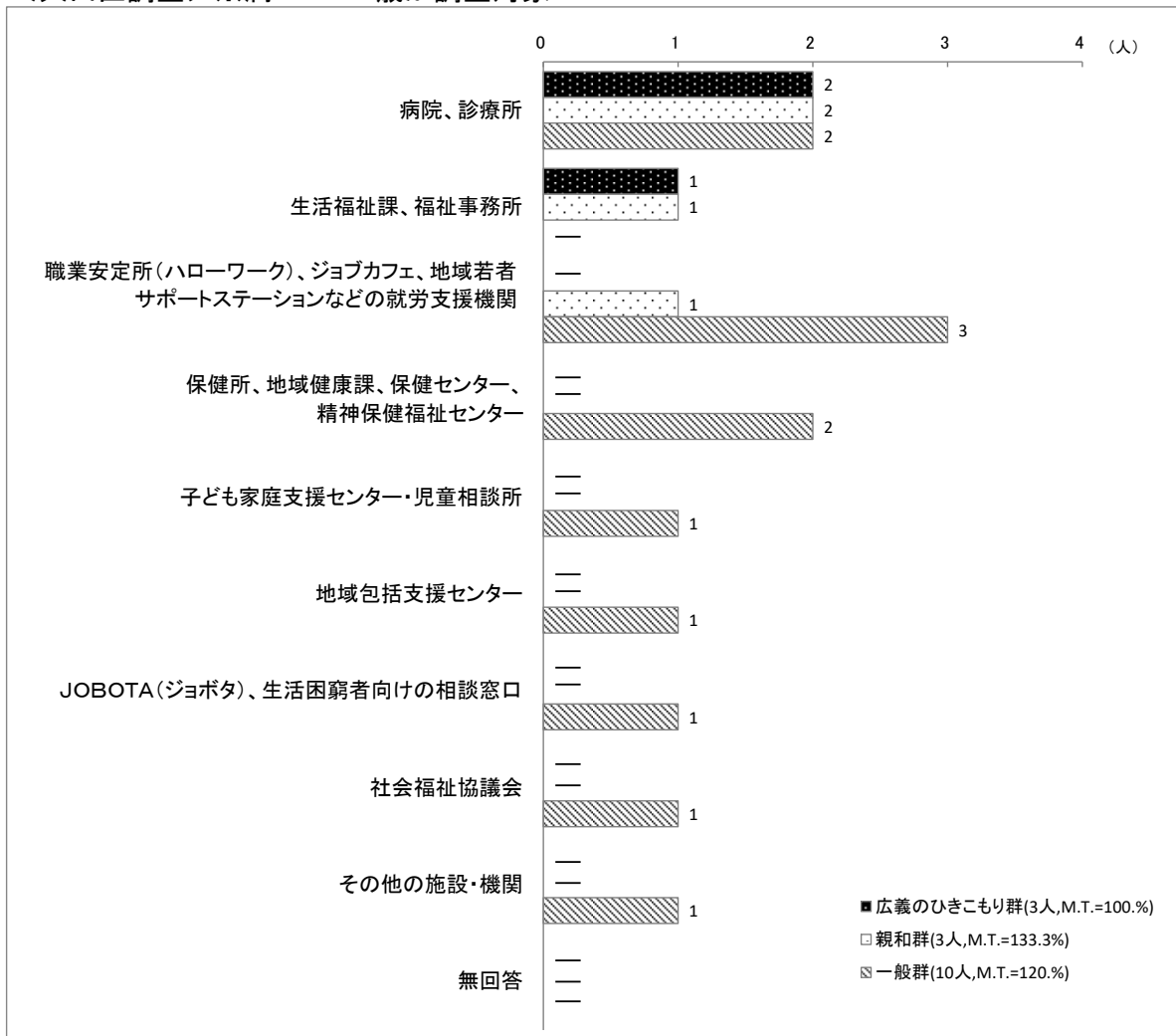


Q 3 1 どのような相談機関等に相談しましたか。相談したことのある機関に○をつけてください。
 (複数回答)

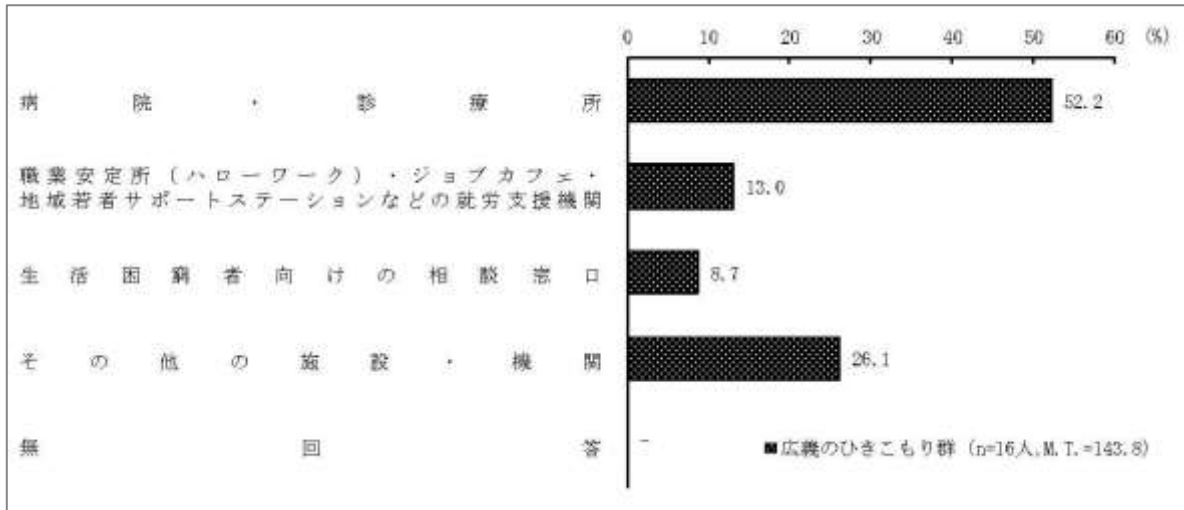
※Q 2 1 ふだんの外出状況に関する設問で「5～8」の趣味や近所への外出又は家から出ないと選択した方かつ、Q 3 0 現在の状態について関係機関への相談の有無に関する設問で「1」のあると選択した方のみ回答

- ・大田区のひきこもり群、親和群では「病院」「福祉事務所」「就労支援機関」の回答がみられた。心身の不調や生活困窮の悩みが相談のきっかけとなっていることがうかがえる。

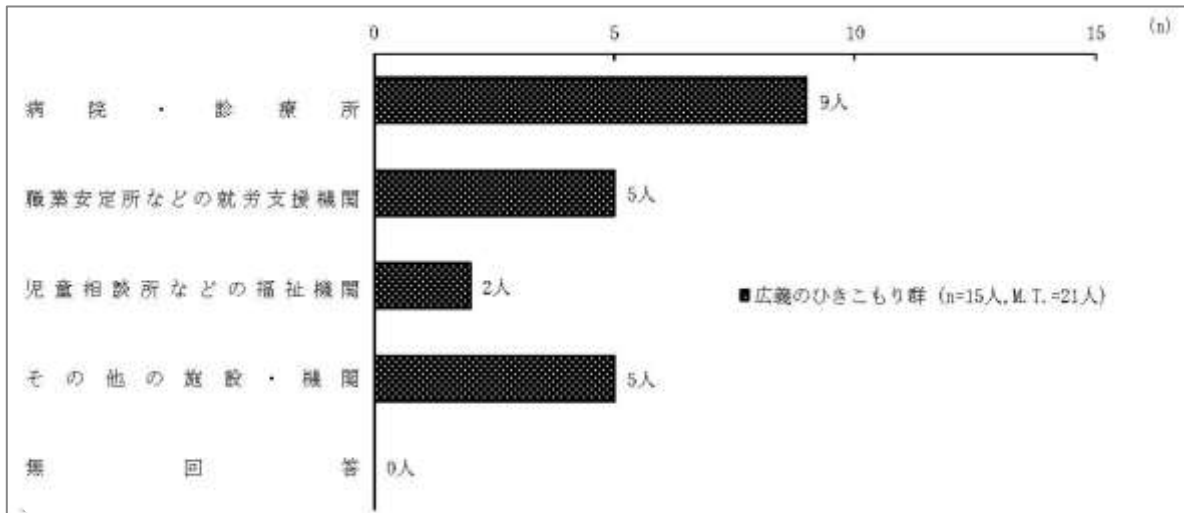
＜大田区調査＞※満 15～64 歳が調査対象



<内閣府調査（平成 30 年度）> ※満 40～64 歳が調査対象



<内閣府調査（平成 27 年度）> ※満 15～39 歳が調査対象



Q 3 2 相談機関に相談した結果について、どのようにお考えですか。ご自由にお書きください。

※Q 2 1 ふだんの外出状況に関する設問で「5～8」の趣味や近所への外出又は家から出ないと選択した方かつ、Q 3 0 現在の状態について関係機関への相談の有無に関する設問で「1」のあると選択した方のみ回答

- 相談した結果について、「良い方向に向かっている」「不安を感じている」との回答が多くみられた。

<大田区調査> ※満 15～64 歳が調査対象

記述概要	回答数
良い方向に向かっている	6
不安を感じている	5
特に変わりはない	1
コロナにより通院を中止した	1
	13